

平成28年度
秋田県学習状況調査

調査結果報告書

平成29年2月
秋田県教育委員会

ま え が き

県教育委員会では、平成28年11・12月に、小学校第4学年から中学校第2学年までの全ての児童生徒を対象として秋田県学習状況調査を実施いたしました。

この調査のねらいは、①学習指導要領の内容等の定着の程度を把握すること、②本県が進める少人数学習の成果や課題を捉えること、③各学校が児童生徒の学力や学習状況を把握し、学習指導の工夫・改善を図ること、④全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用した学習指導における検証改善サイクルを確立すること等、本県の児童生徒の学力向上に役立てるところにあります。

この調査では、小学校第4学年が国語、算数、理科の3教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、小学校第5学年、第6学年が国語、社会、算数、理科の4教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査、中学校第1学年、第2学年が国語、社会、数学、理科、英語の5教科及び学習の意欲等に関する質問紙調査を実施いたしました。教科の調査における特色として、全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題を全ての教科で出題するとともに、県の課題の改善状況を明らかにするために複数学年にわたる共通問題や、本県で重視している「「問い」を発する子ども」の育成に関する問題、高校入試と関連した問題を出題いたしました。また、学習の意欲等に関する質問紙調査を、全国学力・学習状況調査の質問項目と対応させて出題することにより、各学校が調査結果を比較・分析して自校の児童生徒の学習に対する意識等を明確に捉え、学習指導の一層の改善に役立てることができるようにいたしました。

本報告書は、平成28年度の学習状況調査の結果に基づき、全県的な状況や教科における授業改善のポイント等をまとめたものです。平成28年度の全国学力・学習状況調査の学校質問紙の結果からは、各学校が全国学力・学習状況調査及び県学習状況調査を併せて分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等へ生かしていることがうかがわれます。今後も各学校や教育委員会においては、本報告書及び調査問題を日常の学習指導や教育施策の改善・充実に積極的に活用していただきたいと思います。

最後に、本調査の実施に当たり御協力いただきました県内全ての市町村教育委員会、各小・中学校の皆様に心から御礼申し上げます。

平成29年2月

秋田県教育委員会

目 次

1	調査の概要 -----	1
2	調査の特徴、用語等 -----	2
3	調査結果の概要 -----	3
	(1) 教科に関する調査の結果	
	① 設定通過率との比較 -----	3
	② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較 -----	4
	③ 類似問題との比較 -----	5
	④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較 -----	6
	(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果	
	① 学習全般についての結果概要 -----	11
	② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要 -----	11
	③ 学習全般について -----	12
	④ 生活全般について -----	14
	⑤ 家庭学習について -----	18
	⑥ 授業について -----	19
	⑦ 各教科等の学習に対する意識について -----	21
	⑧ 読書について -----	30
4	結果と考察 -----	31
本章は、各学年とも、「評価規準と評価の観点」「小問別通過率と設定通過率」「小問別反応率、小問別通過率度数分布表」「調査結果の考察」で構成されています。		
	(1) 国語	
	・小学校第4学年 -----	32
	・小学校第5学年 -----	36
	・小学校第6学年 -----	40
	・中学校第1学年 -----	44
	・中学校第2学年 -----	48
	(2) 社会	
	・小学校第5学年 -----	52
	・小学校第6学年 -----	56
	・中学校第1学年 -----	60
	・中学校第2学年 -----	64
	(3) 算数、数学	
	・小学校第4学年 -----	68
	・小学校第5学年 -----	72
	・小学校第6学年 -----	76
	・中学校第1学年 -----	80
	・中学校第2学年 -----	84
	(4) 理科	
	・小学校第4学年 -----	88
	・小学校第5学年 -----	92
	・小学校第6学年 -----	96
	・中学校第1学年 -----	100
	・中学校第2学年 -----	104
	(5) 英語	
	・中学校第1学年 -----	108
	・中学校第2学年 -----	112

平成28年度
秋田県学習状況調査

- 1 調査の概要
- 2 調査の特徴・用語等
- 3 調査結果の概要

1 調査の概要

(1) 学習状況調査実施の趣旨

学習指導要領の内容の定着度等を把握し、本県が進める少人数学習の成果や課題を捉え、学習指導の工夫改善を図るとともに、全国学力・学習状況調査及び本調査、高校入試を活用して、学習指導における検証改善サイクルを確立し、児童生徒の学力向上に資する。

(2) 調査対象学年、実施教科等、調査参加児童生徒数

校種・学年 実施教科等	小 学 校 (人)			中 学 校 (人)	
	第4学年	第5学年	第6学年	第1学年	第2学年
国 語	7 4 6 1	7 3 7 9	7 6 6 1	7 5 9 9	7 7 9 8
社 会		7 3 7 1	7 6 6 2	7 5 9 7	7 8 0 0
算数・数学	7 4 5 9	7 3 7 7	7 6 5 8	7 5 9 5	7 8 0 0
理 科	7 4 6 2	7 3 7 4	7 6 6 1	7 5 9 7	7 8 0 2
英 語				7 5 9 6	7 7 9 9
学習の意欲等に関するアンケート	7 4 6 2	7 3 8 2	7 6 6 6	7 6 1 6	7 8 0 7
参 加 者	7 4 6 2	7 3 8 2	7 6 6 6	7 6 1 6	7 8 0 7
小・中ごとの参加者計	2 2 5 1 0			1 5 4 2 3	
参加者合計	3 7 9 3 3				

(3) 出題内容

① 基本的な考え方

学習指導要領で求められている資質や能力の定着度、指導上の問題点を明らかにするとともに、学習指導の工夫改善に資することができるよう、「ペーパーテストで調査を行うことが適当な内容・項目」について出題する。

② 出題の範囲

調査対象学年の児童生徒が、前学年の後半で履修した教科の内容及び当該学年の前半で履修した教科の内容を基本とする。

ただし、これまで明らかになった課題の改善状況を把握するため、それ以前の学年で履修した内容が含まれる場合もある。

(4) 調査実施日

小学校 平成28年11月30日(水)

中学校 平成28年12月 1日(木)

2 調査の特徴、用語等

(1) 特徴

- ① 評価規準の設定
 - ・観点別評価の実施
 - ・調査する基礎・基本の明確化
- ② 設定通過率の設定
 - ・県として「おおむね満足できる状況」と判断する基準の設定
- ③ 教科に関する調査と学習への意欲等に関する質問紙による総合的な学習状況の把握
 - ・多面的な学力の把握
- ④ 過去に実施した国や県の調査問題の類似問題による経年比較
 - ・学力の経年変化の把握
- ⑤ 複数学年にわたる共通問題
 - ・身に付けておかなければ後の学年の学習内容に影響を及ぼす内容の定着度の把握
 - ・県の課題についての改善状況の把握
- ⑥ 思考力、判断力、表現力に関する問題
 - ・全国学力・学習状況調査B問題の出題趣旨を踏まえた問題
 - ・“「問い」を発する子ども”の基盤づくりに資する問題
- ⑦ 秋田県公立高等学校における学力検査の現状分析に基づいた問題
 - ・改善状況の把握
- ⑧ 調査結果の活用の工夫
 - ・各学校における結果分析に基づいた指導の改善
 - ・報告書の作成

(2) 用語

- ① 通過率
 - ・各問題ごとの正答した児童生徒の人数の割合
(各学校の通過率の例：50人中30人が正答していれば60%)
- ② 平均通過率
 - ・全問題の通過率の平均
(100点満点に換算したときの平均点とみることができる。)
- ③ 設定通過率
 - ・問題ごとに、どの程度の通過率であれば「おおむね満足」な状況とするかをあらかじめ定めた値(本県が独自に取り入れているもので、分析する上で参考として示している。)
- ④ 正答数別度数分布
 - ・正答数ごとの児童生徒数の度数分布を示したグラフ
- ⑤ 小問別通過率度数分布表
 - ・各小問における通過率ごとの学校数を示した表

(3) データ処理の方法

採点、データ入力・集約

- ・本調査は、各校において採点を行い、その結果を学習状況調査集計・分析システムに登録することにより、全県データを集約している。
- ・各校の教科に関する調査結果及び学習への意欲等に関する質問紙調査の結果は、学習状況調査集計・分析システムの登録状況を閲覧することにより、自校の結果と全県データを比較することができる。

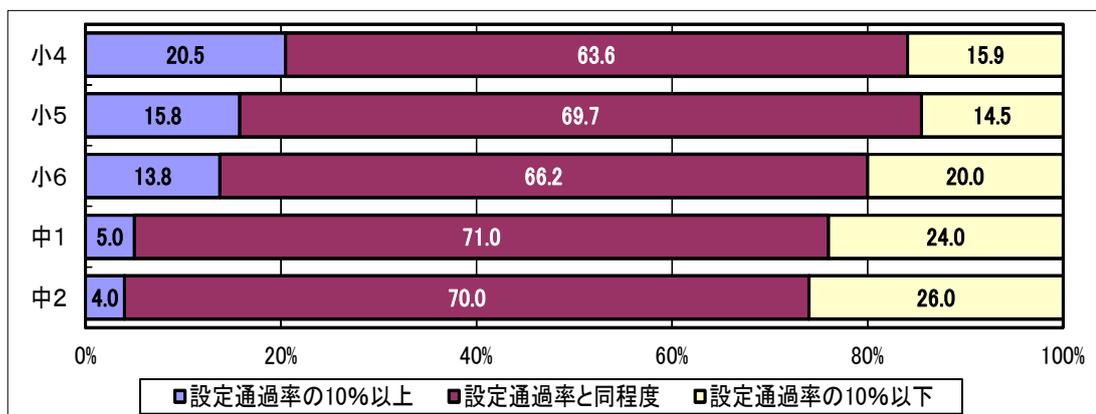
3 調査結果の概要

(1) 教科に関する調査の結果

① 設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）を学年別に見ると、小学校第4学年が84.1%、小学校第5学年が85.5%、小学校第6学年が80.0%、中学校第1学年が76.0%、中学校第2学年が74.0%であった。中学校の通過割合が小学校よりも低くなっているが、昨年度に比べて、中学校第1学年は2.3ポイント、第2学年は7.0ポイント高くなっている。
- ・平均通過率が設定通過率の平均を上回っている学年・教科は、小学校では第5、6学年社会、第4、5学年算数、第4～6学年理科、中学校では第1、2学年国語であった。一方、10ポイント以上下回っている学年・教科は、中学校第2学年社会であった。

学年別の通過割合



学年別の平均通過率と設定通過率の平均との比較

校種	教科	学年	平均通過率	設定通過率の平均	差	通過割合
小学校	国語	第4学年	70.0	72.5	-2.5	75.0%
		第5学年	70.2	71.3	-1.1	68.8%
		第6学年	69.7	71.5	-1.8	70.0%
	社会	第5学年	76.2	72.0	4.2	90.0%
		第6学年	80.5	75.0	5.5	95.0%
	算数	第4学年	74.9	72.3	2.6	85.0%
		第5学年	75.4	73.0	2.4	90.0%
		第6学年	60.2	70.0	-9.8	65.0%
	理科	第4学年	82.7	75.0	7.7	91.7%
第5学年		78.6	74.8	3.8	90.0%	
第6学年		78.7	73.8	4.9	90.0%	
中学校	国語	第1学年	76.3	73.8	2.5	80.0%
		第2学年	73.9	72.3	1.6	80.0%
	社会	第1学年	64.0	70.0	-6.0	75.0%
		第2学年	58.2	70.0	-11.8	65.0%
	数学	第1学年	62.4	70.5	-8.1	70.0%
		第2学年	62.9	70.5	-7.6	75.0%
	理科	第1学年	68.0	70.8	-2.8	80.0%
		第2学年	61.7	70.0	-8.3	70.0%
	英語	第1学年	73.2	74.0	-0.8	75.0%
		第2学年	69.1	70.8	-1.7	80.0%

※通過割合：全小問のうち、設定通過率と同程度（±10%の範囲内）及びそれ以上（+10%より高い）の小問の割合

② 各教科の観点又は領域別の設定通過率との比較

- ・通過割合（通過率が設定通過率を上回るか同程度である問題数の割合）が75%以上であるのは、小学校では国語の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の全観点、算数の「技能」と「知識・理解」、理科の全観点であった。中学校では、国語の「話すこと・聞くこと」と「書くこと」と「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」、社会の「知識・理解」、数学の「考え方」、理科の「技能」と「知識・理解」、英語の「理解の能力」であった。
- ・通過率が設定通過率を下回る問題は、小・中学校ともに、国語では「読むこと」、他教科においては「思考・判断・表現」の観点の内容が多かった。

<小学校>

教科名	観点又は領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	3	0 (0.0%)	3 (100.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	17	0 (0.0%)	9 (52.9%)	8 (47.1%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	26	2 (7.7%)	18 (69.2%)	6 (23.1%)
社会	思考・判断・表現	14	2 (14.3%)	10 (71.4%)	2 (14.3%)
	技能	10	3 (30.0%)	7 (70.0%)	0 (0.0%)
	知識・理解	16	3 (18.8%)	12 (75.0%)	1 (6.3%)
算数	考え方	21	2 (9.5%)	12 (57.1%)	7 (33.3%)
	技能	20	3 (15.0%)	14 (70.0%)	3 (15.0%)
	知識・理解	19	2 (10.5%)	15 (78.9%)	2 (10.5%)
理科	思考・表現	24	7 (29.2%)	14 (58.3%)	3 (12.5%)
	技能	9	1 (11.1%)	7 (77.8%)	1 (11.1%)
	知識・理解	19	6 (31.6%)	12 (63.2%)	1 (5.3%)

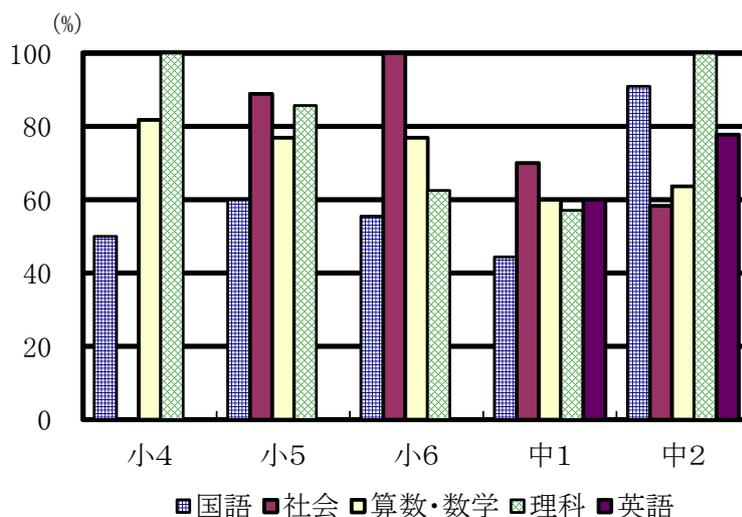
<中学校>

教科名	観点又は領域	問題数	+10%より高い	±10%の範囲内	-10%より低い
国語	話すこと・聞くこと	5	1 (20.0%)	4 (80.0%)	0 (0.0%)
	書くこと	2	0 (0.0%)	2 (100.0%)	0 (0.0%)
	読むこと	11	2 (18.2%)	6 (54.5%)	3 (27.3%)
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	22	0 (0.0%)	17 (77.3%)	5 (22.7%)
社会	思考・判断・表現	13	0 (0.0%)	8 (61.5%)	5 (38.5%)
	技能	7	0 (0.0%)	5 (71.4%)	2 (28.6%)
	知識・理解	20	0 (0.0%)	15 (75.0%)	5 (25.0%)
数学	考え方	11	0 (0.0%)	9 (81.8%)	2 (18.2%)
	技能	17	0 (0.0%)	12 (70.6%)	5 (29.4%)
	知識・理解	12	1 (8.3%)	7 (58.3%)	4 (33.3%)
理科	思考・表現	18	1 (5.6%)	12 (66.7%)	5 (27.8%)
	技能	8	0 (0.0%)	6 (75.0%)	2 (25.0%)
	知識・理解	14	0 (0.0%)	11 (78.6%)	3 (21.4%)
英語	表現の能力	8	0 (0.0%)	5 (62.5%)	3 (37.5%)
	理解の能力	26	3 (11.5%)	19 (73.1%)	4 (15.4%)
	言語や文化についての知識・理解	6	1 (16.7%)	3 (50.0%)	2 (33.3%)

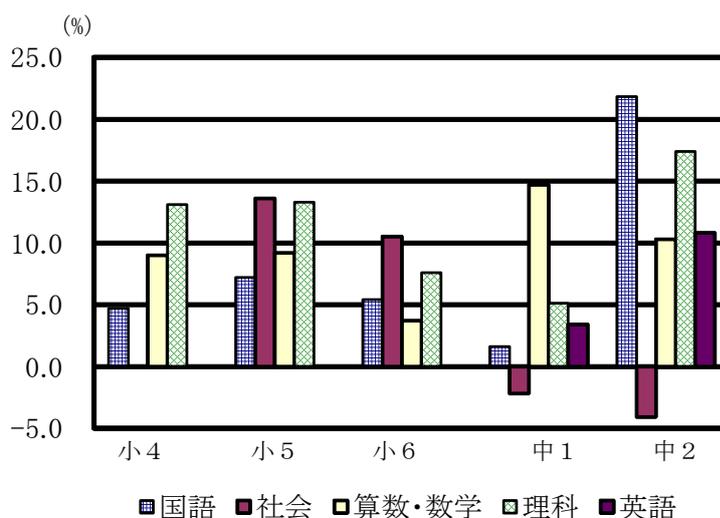
③ 類似問題との比較

- ・類似問題において過去の通過率を上回った問題数は、小学校では98問中76問（77.6%）、中学校では95問中64問（67.2%）であり、全体では昨年度より1.6ポイント高くなっている。学年・教科別に見ると、類似問題における過去の通過率を上回った問題数の割合が70%以上だったのは、小学校では第4学年の算数、理科、第5学年の社会、算数、理科、第6学年の社会、算数であった。中学校では第1学年の社会、第2学年の国語、理科、英語であった。
- ・類似問題の通過率の平均で比較すると、ほとんどの学年・教科で過去の通過率の平均を上回っている。

類似問題において過去の通過率を上回った問題数の割合



類似問題において過去の通過率を基準とした今年度の通過率



④ 各教科ごとの小問別通過率と設定通過率の比較

【国語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	90	98.3	
小4	2)	85	94.6	
小4	3)	70	64.0	
小4	4)	70	83.3	
小4	5)	70	67.2	
小4	6)	60	39.5	56.2
小4	7)	70	69.3	86.5
小4	8)	70	68.1	
小4	9)	70	63.5	53.4
小4	10)	75	61.9	26.5
小4	11)	60	43.7	26.5
小4	12)	80	86.3	86.7

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	75	78.5	
小5	2)	90	98.1	
小5	3)	75	81.7	
小5	4)	80	88.2	
小5	5)	75	63.9	37.4
小5	6)	65	74.7	57.7
小5	7)	65	52.4	56.2
小5	8)	60	65.7	85.1
小5	9)	75	79.3	
小5	10)	60	63.9	
小5	11)	85	89.1	
小5	12)	60	37.7	
小5	13)	85	94.2	
小5	14)	60	39.4	
小5	15)	60	41.9	
小5	16)	70	74.7	58.9

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	90	89.0	
小6	2)	90	98.9	
小6	3)	80	88.0	
小6	4)	60	44.7	
小6	5)	70	79.6	
小6	6)	70	60.5	56.2
小6	7)	60	39.9	
小6	8)	75	84.6	47.0
小6	9)	85	97.3	55.5
小6	10)	65	63.4	
小6	11)	65	52.6	
小6	12)	75	75.8	
小6	13)	80	86.6	55.2
小6	14)	65	51.6	45.8
小6	15)	65	52.8	81.3
小6	16)	65	56.8	58.1
小6	17)	60	42.4	84.7
小6	18)	65	72.5	
小6	19)	70	77.4	
小6	20)	75	80.4	80.9

設定通過率	72.5
平均通過率	70.0
類似問題	60.7 56.0

設定通過率	71.3
平均通過率	70.2
類似問題	66.3 59.1

設定通過率	71.5
平均通過率	69.7
類似問題	68.1 62.7

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	98.8	96.0
中1	2)	90	97.4	
中1	3)	90	95.1	75.1
中1	4)	85	90.0	
中1	5)	60	32.6	
中1	6)	75	82.1	
中1	7)	75	83.5	89.0
中1	8)	70	74.0	
中1	9)	80	85.2	
中1	10)	80	85.3	90.8
中1	11)	60	46.4	70.9
中1	12)	70	77.6	79.6
中1	13)	80	87.8	48.6
中1	14)	60	66.7	
中1	15)	60	64.6	
中1	16)	60	41.3	66.8
中1	17)	80	89.6	
中1	18)	65	53.8	
中1	19)	70	91.6	
中1	20)	75	82.8	67.6

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	85	95.2	69.2
中2	2)	75	74.9	54.8
中2	3)	75	81.0	36.1
中2	4)	75	72.4	
中2	5)	65	50.3	
中2	6)	70	73.1	
中2	7)	70	77.1	
中2	8)	60	46.0	11.0
中2	9)	85	90.3	83.8
中2	10)	80	79.6	89.9
中2	11)	80	89.1	60.8
中2	12)	60	67.0	37.1
中2	13)	90	97.3	84.4
中2	14)	70	78.0	
中2	15)	60	60.1	
中2	16)	60	37.7	
中2	17)	70	55.9	
中2	18)	70	90.9	
中2	19)	65	73.2	40.7
中2	20)	80	89.8	75.5

設定通過率	73.8
平均通過率	76.3
類似問題	77.6 76.0

設定通過率	72.3
平均通過率	73.9
類似問題	80.3 58.5

【社会】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	75	80.5	
小5	2)	80	94.1	
小5	3)	75	83.2	
小5	4)	65	61.9	
小5	5)	70	69.7	
小5	6)	70	74.2	
小5	7)	80	93.1	
小5	8)	60	43.8	
小5	9)	75	83.4	42.9
小5	10)	75	87.6	
小5	11)	70	68.3	59.5
小5	12)	65	54.9	64.0
小5	13)	65	71.6	58.4
小5	14)	70	77.4	53.8
小5	15)	85	93.4	86.6
小5	16)	80	87.0	
小5	17)	65	69.5	
小5	18)	70	77.4	68.1
小5	19)	75	83.7	63.1
小5	20)	70	69.1	60.8

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	80	84.9	
小6	2)	85	97.3	
小6	3)	75	84.5	
小6	4)	75	73.0	
小6	5)	75	82.7	79.1
小6	6)	80	94.1	89.6
小6	7)	75	79.6	77.7
小6	8)	75	87.7	
小6	9)	80	86.7	59.8
小6	10)	80	65.7	59.1
小6	11)	75	80.7	76.4
小6	12)	70	78.5	
小6	13)	65	62.5	34.4
小6	14)	70	78.7	
小6	15)	65	64.5	51.4
小6	16)	80	93.9	
小6	17)	75	83.3	77.0
小6	18)	75	67.1	64.7
小6	19)	80	91.5	
小6	20)	65	72.8	54.3

設定通過率	72.0	
平均通過率	76.2	
類似問題	75.5	61.9

設定通過率	75.0	
平均通過率	80.5	
類似問題	76.3	65.8

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	80	79.3	
中1	2)	65	69.7	
中1	3)	75	78.7	66.5
中1	4)	80	79.4	76.5
中1	5)	70	68.2	68.0
中1	6)	90	96.3	91.8
中1	7)	60	16.5	
中1	8)	75	73.1	
中1	9)	60	48.8	
中1	10)	60	43.6	30.6
中1	11)	65	61.0	
中1	12)	70	67.6	
中1	13)	65	60.9	
中1	14)	60	50.5	73.5
中1	15)	60	37.6	76.2
中1	16)	80	81.2	
中1	17)	85	88.2	84.0
中1	18)	80	79.8	75.0
中1	19)	60	52.5	54.5
中1	20)	60	46.0	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	70	73.6	48.9
中2	2)	60	28.6	37.8
中2	3)	80	70.1	67.4
中2	4)	60	38.6	36.2
中2	5)	85	80.7	77.1
中2	6)	70	36.0	66.4
中2	7)	80	76.3	
中2	8)	60	22.7	
中2	9)	60	54.8	
中2	10)	75	73.4	61.0
中2	11)	70	79.2	
中2	12)	60	51.6	
中2	13)	85	61.9	87.3
中2	14)	60	53.8	
中2	15)	60	52.8	
中2	16)	60	21.4	55.8
中2	17)	60	48.1	
中2	18)	85	83.3	81.0
中2	19)	75	77.5	74.8
中2	20)	85	78.6	79.4

設定通過率	70.0	
平均通過率	64.0	
類似問題	67.5	69.7

設定通過率	70.0	
平均通過率	58.2	
類似問題	60.3	64.4

【算数、数学】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	85	84.6	84.9
小4	2)	90	94.9	
小4	3)	90	89.1	87.8
小4	4)	65	74.6	38.7
小4	5)	70	81.3	71.7
小4	6)	85	92.0	86.1
小4	7)	75	82.0	75.8
小4	8)	65	68.9	
小4	9)	80	82.4	79.0
小4	10)	70	83.8	61.8
小4	11)	65	53.7	
小4	12)	65	74.7	
小4	13)	60	72.4	34.2
小4	14)	70	62.1	86.9
小4	15)	70	75.5	
小4	16)	65	52.9	
小4	17)	70	77.9	
小4	18)	75	82.0	
小4	19)	70	78.7	
小4	20)	60	35.0	33.4

設定通過率	72.3
平均通過率	74.9
類似問題	76.3 67.3

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	90	89.6	88.3
小5	2)	85	90.1	85.6
小5	3)	70	74.3	46.2
小5	4)	65	55.8	34.2
小5	5)	70	77.2	81.1
小5	6)	70	65.6	71.8
小5	7)	65	62.0	
小5	8)	75	79.5	
小5	9)	70	77.5	67.0
小5	10)	75	84.3	56.6
小5	11)	75	81.2	66.1
小5	12)	80	82.2	73.3
小5	13)	80	90.7	
小5	14)	70	76.1	61.7
小5	15)	70	79.0	86.2
小5	16)	80	94.8	
小5	17)	60	48.0	
小5	18)	80	95.2	80.6
小5	19)	70	81.0	
小5	20)	60	22.9	

設定通過率	73.0
平均通過率	75.4
類似問題	73.4 64.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	75	78.7	61.5
小6	2)	80	47.4	81.5
小6	3)	70	72.4	54.1
小6	4)	70	42.9	
小6	5)	80	79.3	78.4
小6	6)	85	83.5	63.1
小6	7)	60	37.5	36.2
小6	8)	90	88.3	
小6	9)	60	52.1	49.3
小6	10)	60	33.1	48.5
小6	11)	60	38.3	
小6	12)	60	32.7	
小6	13)	60	51.7	77.1
小6	14)	80	82.5	39.9
小6	15)	70	66.9	63.2
小6	16)	60	54.5	43.8
小6	17)	70	71.9	66.1
小6	18)	80	77.7	
小6	19)	70	63.6	
小6	20)	60	48.1	

設定通過率	70.0
平均通過率	60.2
類似問題	62.4 58.7

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	75	59.3	61.5
中1	2)	70	61.6	
中1	3)	70	48.7	
中1	4)	70	47.4	66.9
中1	5)	70	63.3	
中1	6)	60	61.0	13.7
中1	7)	75	83.8	58.1
中1	8)	80	76.9	
中1	9)	60	44.5	48.9
中1	10)	80	83.1	
中1	11)	90	96.0	
中1	12)	80	83.0	
中1	13)	75	47.6	
中1	14)	70	63.1	
中1	15)	65	55.7	
中1	16)	70	69.6	22.4
中1	17)	65	59.5	45.1
中1	18)	60	19.3	27.4
中1	19)	60	51.5	43.1
中1	20)	65	72.4	33.9

設定通過率	70.5
平均通過率	62.4
類似問題	56.8 42.1

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	80	53.9	61.5
中2	2)	70	41.7	48.9
中2	3)	80	70.8	73.6
中2	4)	80	78.2	82.0
中2	5)	70	62.6	
中2	6)	85	86.9	
中2	7)	60	52.5	
中2	8)	75	50.8	
中2	9)	80	52.6	
中2	10)	70	63.4	
中2	11)	80	79.8	
中2	12)	70	77.1	36.6
中2	13)	60	53.3	47.6
中2	14)	60	71.8	43.2
中2	15)	60	51.8	35.6
中2	16)	75	66.4	
中2	17)	65	65.6	49.3
中2	18)	60	46.5	
中2	19)	60	54.6	40.1
中2	20)	70	77.5	64.4

設定通過率	70.5
平均通過率	62.9
類似問題	63.3 53.0

【理科】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○小学校

	番号	設定	通過率	類似
小4	1)	80	98.5	
小4	2)	80	93.2	
小4	3)	70	70.1	
小4	4)	70	83.5	68.0
小4	5)	75	79.6	71.7
小4	6)	70	78.5	57.6
小4	7)	75	96.3	63.9
小4	8)	80	97.6	97.3
小4	9)	70	59.8	58.6
小4	10)	75	82.6	
小4	11)	75	71.2	
小4	12)	80	82.1	

	番号	設定	通過率	類似
小5	1)	85	90.5	
小5	2)	85	92.9	
小5	3)	70	81.3	32.7
小5	4)	80	87.5	79.4
小5	5)	75	78.4	
小5	6)	60	32.4	
小5	7)	70	57.6	
小5	8)	75	80.9	74.9
小5	9)	75	86.3	
小5	10)	75	90.4	
小5	11)	60	62.2	
小5	12)	70	80.2	
小5	13)	80	90.0	75.5
小5	14)	80	87.1	
小5	15)	75	78.9	
小5	16)	85	93.7	
小5	17)	70	73.0	
小5	18)	70	74.4	57.5
小5	19)	85	87.0	88.5
小5	20)	70	66.7	66.2

	番号	設定	通過率	類似
小6	1)	85	78.0	
小6	2)	60	62.4	
小6	3)	60	43.4	
小6	4)	90	97.0	97.9
小6	5)	80	78.0	98.2
小6	6)	70	80.8	
小6	7)	65	74.9	61.4
小6	8)	80	66.2	75.9
小6	9)	60	64.3	
小6	10)	70	88.0	67.6
小6	11)	80	87.6	
小6	12)	80	93.9	
小6	13)	85	94.8	
小6	14)	85	94.5	
小6	15)	65	61.8	
小6	16)	75	91.2	73.9
小6	17)	65	76.5	56.7
小6	18)	75	84.5	
小6	19)	75	81.1	60.1
小6	20)	70	74.6	

設定通過率	75.0
平均通過率	82.7
類似問題	82.6 69.5

設定通過率	74.8
平均通過率	78.6
類似問題	81.1 67.8

設定通過率	73.8
平均通過率	78.7
類似問題	81.6 74.0

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	90	91.8	
中1	2)	70	68.5	
中1	3)	65	62.2	71.1
中1	4)	90	89.0	
中1	5)	60	42.0	56.9
中1	6)	90	88.0	
中1	7)	85	86.0	91.7
中1	8)	60	36.6	
中1	9)	65	81.4	
中1	10)	60	63.9	15.4
中1	11)	60	55.4	
中1	12)	70	76.3	65.1
中1	13)	65	52.5	
中1	14)	60	29.5	
中1	15)	60	58.7	
中1	16)	80	83.1	82.5
中1	17)	70	77.0	
中1	18)	65	56.2	
中1	19)	80	85.0	79.9
中1	20)	70	76.9	

	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	89.1	85.2
中2	2)	85	91.7	85.4
中2	3)	60	47.2	
中2	4)	70	55.5	
中2	5)	65	21.7	
中2	6)	60	41.5	
中2	7)	65	60.4	32.2
中2	8)	60	62.6	
中2	9)	60	13.6	
中2	10)	65	55.6	
中2	11)	75	61.1	
中2	12)	70	69.8	
中2	13)	65	70.1	54.5
中2	14)	60	56.1	
中2	15)	65	63.7	36.7
中2	16)	85	80.9	
中2	17)	75	81.2	57.8
中2	18)	60	60.0	
中2	19)	85	79.4	
中2	20)	80	72.0	

設定通過率	70.8
平均通過率	68.0
類似問題	71.2 66.1

設定通過率	70.0
平均通過率	61.7
類似問題	76.0 58.6

【英語】

設 定：設定通過率

通過率：全県平均通過率

類 似：過去に出題された類似問題の通過率

○中学校

	番号	設定	通過率	類似
中1	1)	85	84.9	
中1	2)	80	93.9	
中1	3)	80	79.1	
中1	4)	80	66.0	71.6
中1	5)	80	86.6	85.3
中1	6)	75	75.5	81.8
中1	7)	75	77.9	66.2
中1	8)	85	95.4	
中1	9)	65	50.7	
中1	10)	75	82.5	
中1	11)	70	74.5	
中1	12)	85	93.2	83.5
中1	13)	85	92.3	85.4
中1	14)	60	44.9	62.7
中1	15)	60	60.5	27.6
中1	16)	60	50.6	
中1	17)	75	67.4	77.8
中1	18)	75	89.3	
中1	19)	60	39.1	
中1	20)	70	59.6	48.4

設定通過率	74.0		
平均通過率		73.2	
類似問題		72.4	69.0

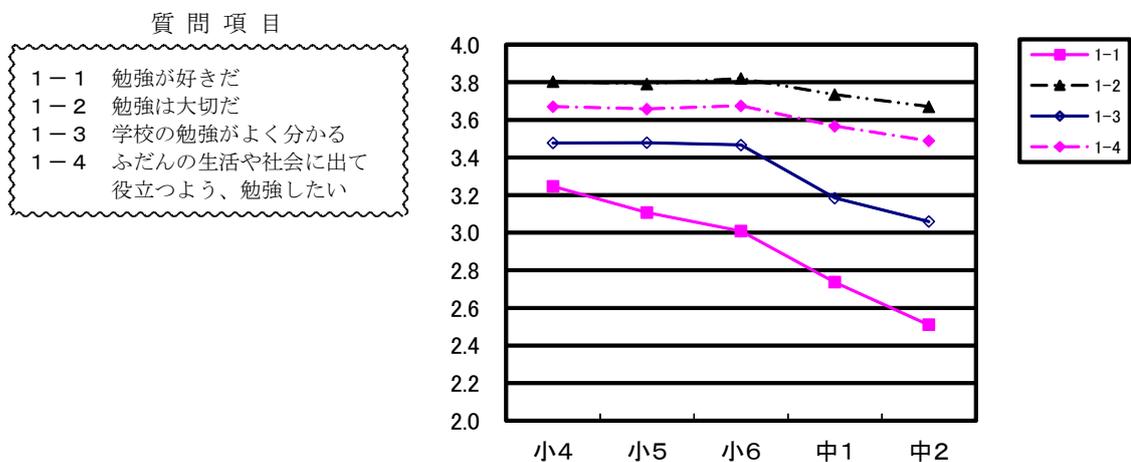
	番号	設定	通過率	類似
中2	1)	90	89.6	
中2	2)	80	66.3	
中2	3)	80	77.8	
中2	4)	80	83.5	
中2	5)	70	68.3	71.0
中2	6)	70	71.1	
中2	7)	65	52.0	35.0
中2	8)	85	89.3	
中2	9)	70	76.1	69.9
中2	10)	80	92.0	67.6
中2	11)	60	68.9	57.8
中2	12)	60	58.3	54.6
中2	13)	60	69.8	49.7
中2	14)	70	63.2	67.5
中2	15)	60	26.9	
中2	16)	60	47.2	
中2	17)	60	51.5	
中2	18)	75	79.8	
中2	19)	70	75.4	53.1
中2	20)	70	75.4	

設定通過率	70.8		
平均通過率		69.1	
類似問題		69.3	58.5

(2) 学習の意欲等に関する質問紙調査結果

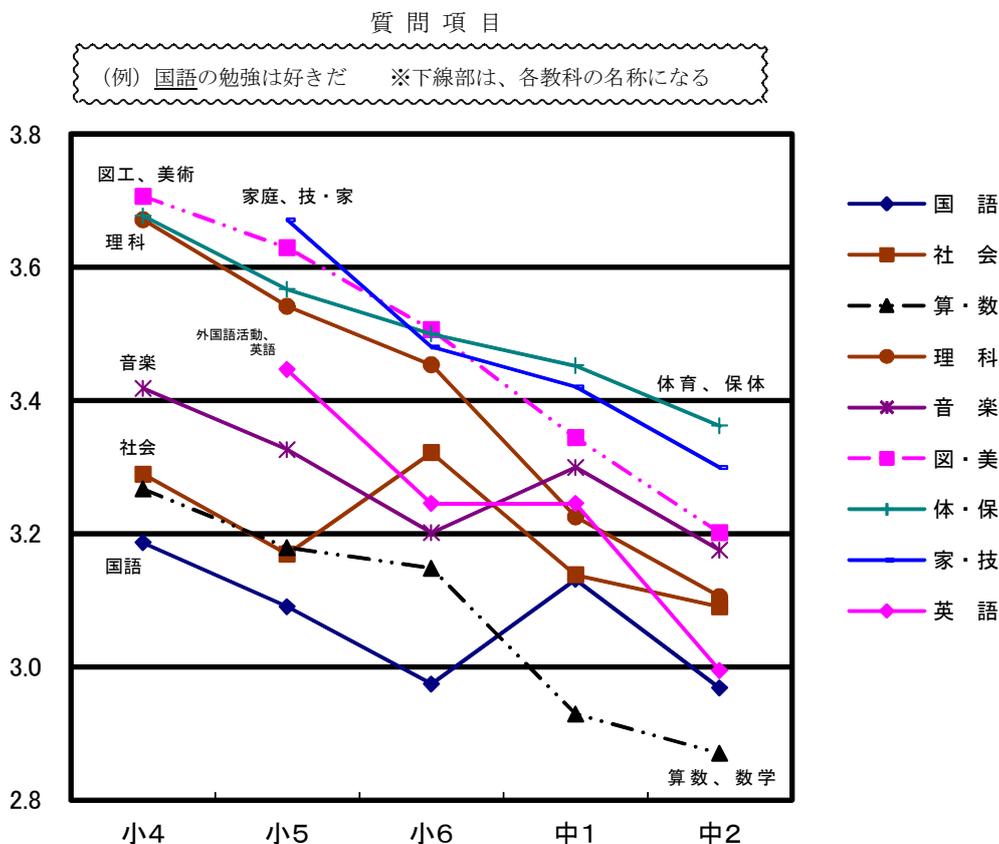
① 学習全般についての結果概要（4点換算による県平均）

あてはまる…4点 どちらかといえばあてはまる…3点
 どちらかといえばあてはまらない…2点 あてはまらない…1点



② 各教科等の学習に対する意識についての結果概要（4点換算による県平均）

あてはまる…4点 どちらかといえばあてはまる…3点
 どちらかといえばあてはまらない…2点 あてはまらない…1点



③ 学習全般について

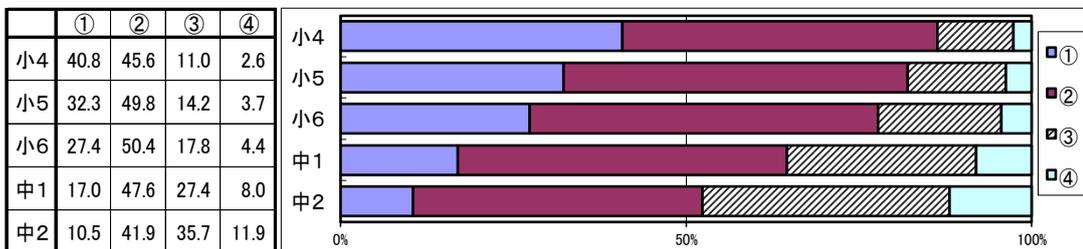
[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

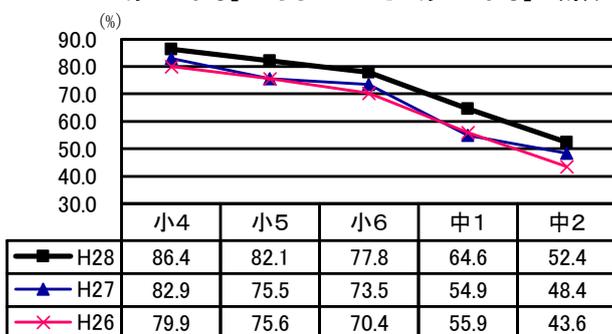
折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[1-1] 勉強が好きだ

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

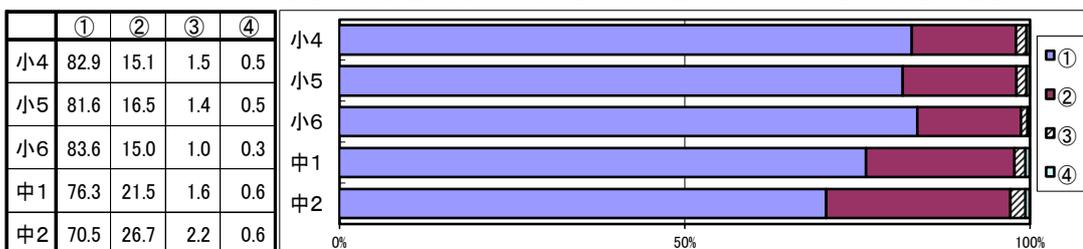


肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って減少していく状況は依然として見られる。

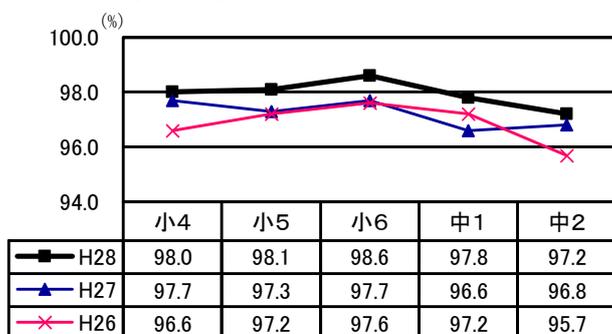
中学校の肯定的な回答の割合は、小学校に比べて低いものの改善傾向が見られる。

[1-2] 勉強は大切だ

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



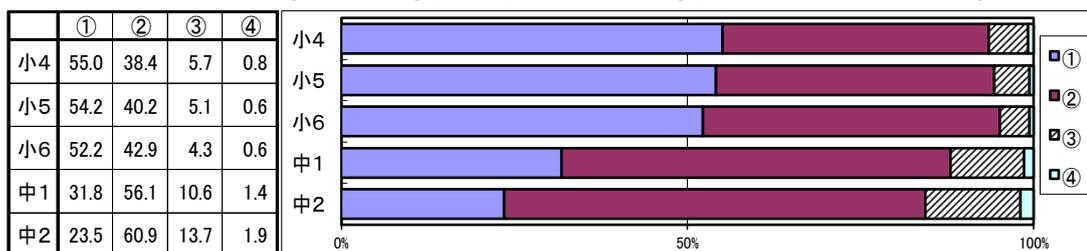
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



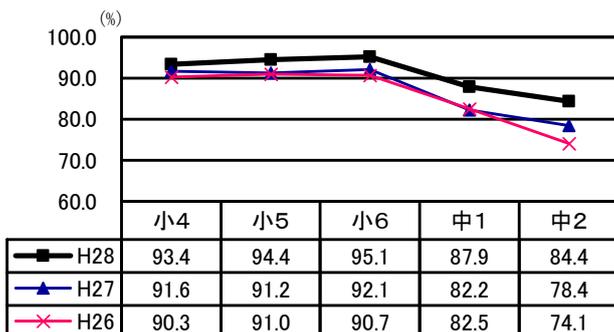
肯定的な回答の割合が、全ての学年で97%以上と、全体的に高い状況にある。特に、小学校では肯定的な回答の割合は、学年が上がるに従って増加しており、学習することの重要性に対する意識が高まっていることがうかがえる。

[1 - 3] 学校の勉強がよくわかる

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



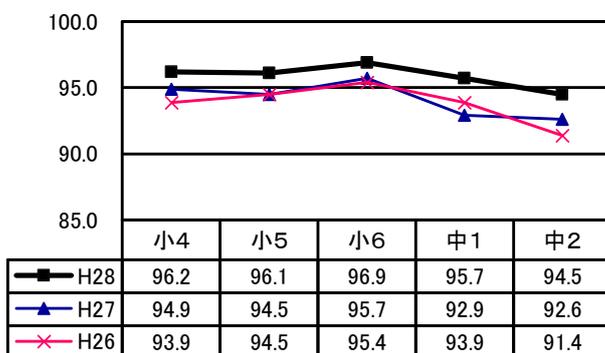
小学校では93%以上、中学校では84%以上が肯定的な回答をしており、全ての学年で、この3年間で最も高い数値を示している。特に、小学校では学年が上がるに従ってその割合が高くなる傾向が見られる。

[1 - 4] ふだんの生活や社会に出て役立つよう、勉強したい

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



全ての学年で、肯定的な回答の割合が94%を超えており、特に、小学校では70%以上が「あてはまる」と回答している。

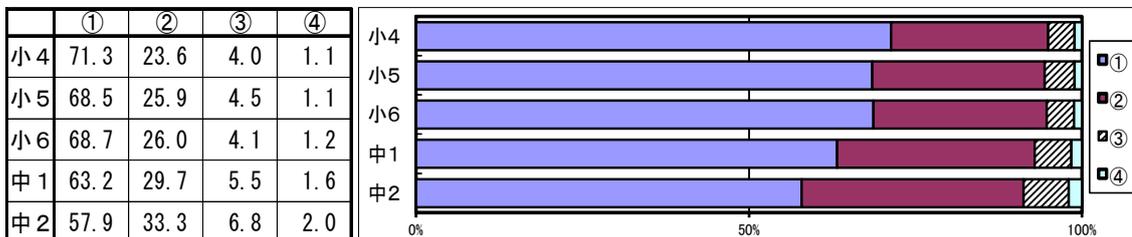
勉強する目的意識を明確にもっている児童生徒が多い様子が見える。

④ 生活全般について

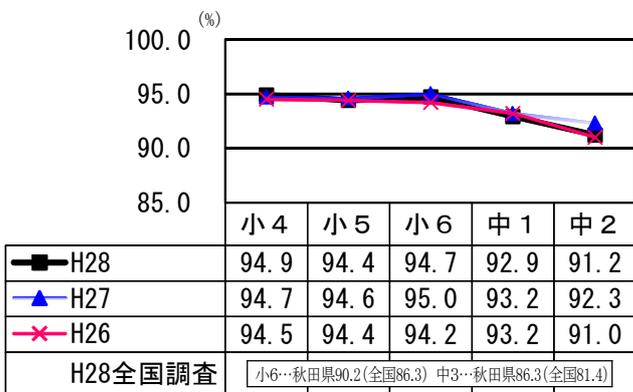
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[2-1] 学校が楽しい

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



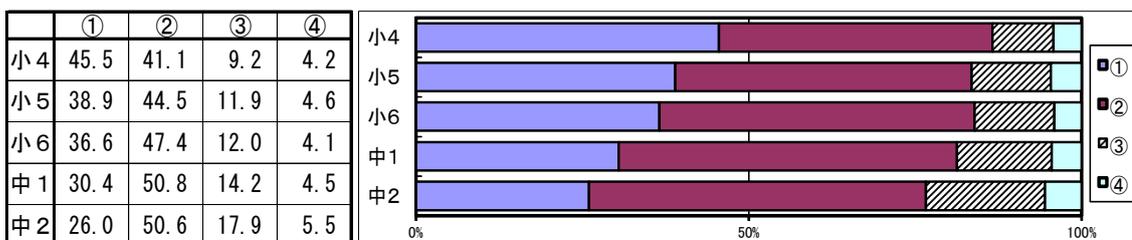
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



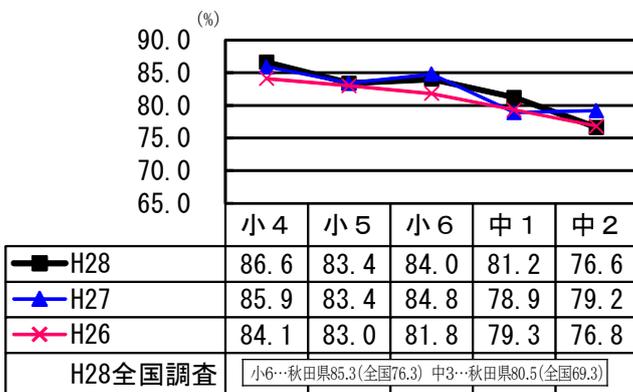
全ての学年で、91%以上が肯定的な回答をしており、そのうち「あてはまる」と回答した割合が、小学校では68%を超え、中学校では57%を超えている。小学校第6学年では、4月の全国学力・学習状況調査の回答の割合より4.5ポイント数値が伸びている。

[2-2] 自分にはよいところがあると思う

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



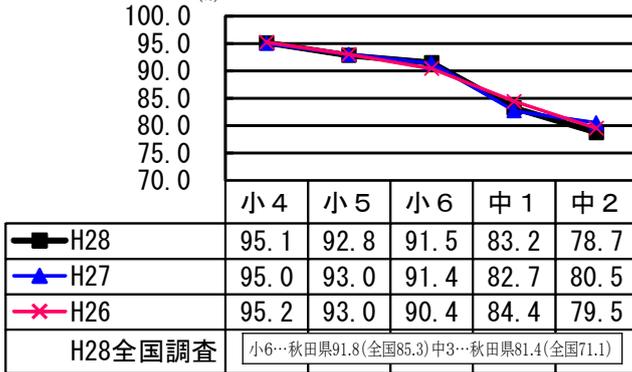
小学校では83%以上、中学校では76%以上が、肯定的な回答をしている。児童生徒のよいところを認める教師の意図的な言葉掛けが学校生活の様々な場面で発せられていることにより、自己有用感の醸成が図られていることがうかがえる。

[2-3] 将来の夢や目標をもっている

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



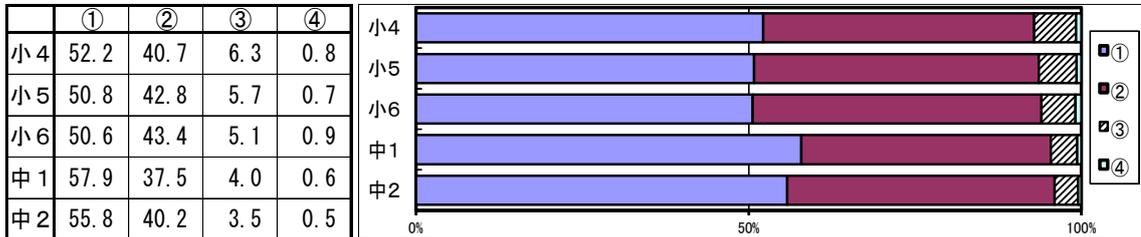
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合 (%)



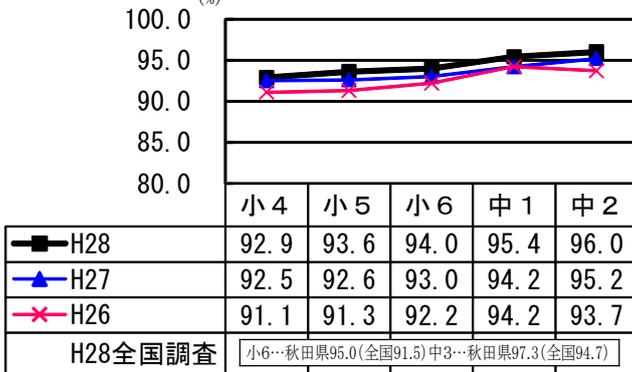
肯定的な回答の割合が、学年が上がるに従って低くなっている状況は依然として見られるもの、小学校では、91%以上が肯定的な回答をしており、中学校でも78%以上が肯定的な回答をしている。

[2-4] 学校のきまりを守っている

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合 (%)

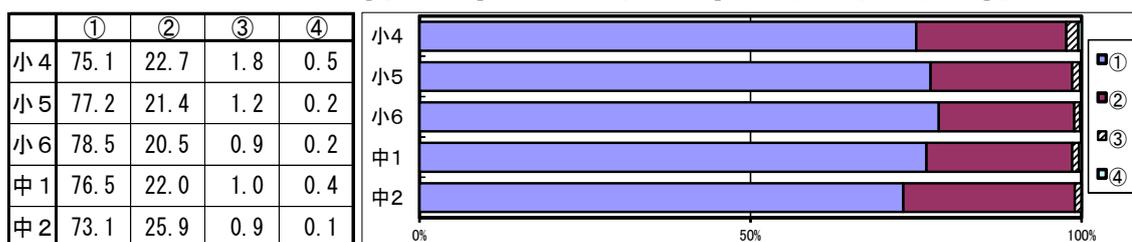


学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が高くなっており、全ての学年で、92%を超えている。この3年間で最も高い数値を示している。

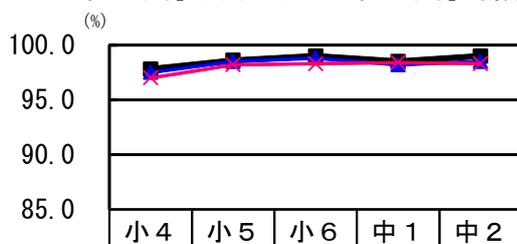
学校生活の様々な場面で、児童生徒の規範意識の醸成につながる取組がなされていることがうかがえる。

[2-5] 友達との約束を守っている

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



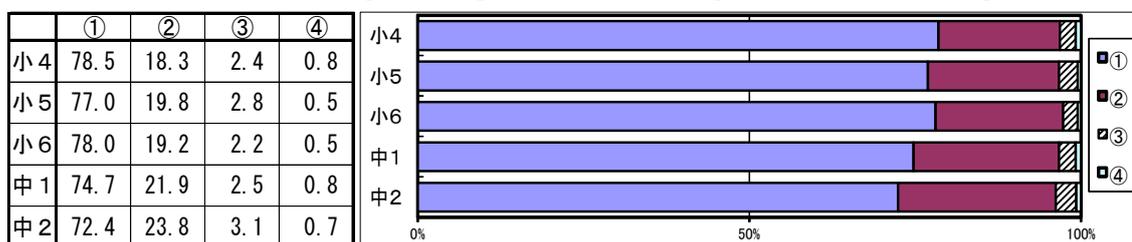
	小4	小5	小6	中1	中2
■ H28	97.8	98.6	99.0	98.5	99.0
▲ H27	97.5	98.5	98.8	98.2	98.5
✕ H26	97.0	98.2	98.3	98.4	98.3
H28全国調査	小6…秋田県98.3(全国97.2)中3…秋田県98.4(全国97.2)				

肯定的な回答の割合が、全ての学年で100%に近く、この3年間で最も高い数値を示している。

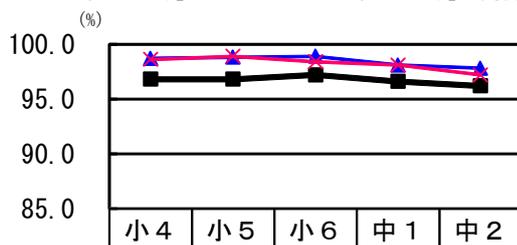
児童生徒は、約束を守って生活することで、友達との良好な人間関係を築こうとしている様子が見られる。

[2-6] 人の役に立つ人間になりたいと思う

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



	小4	小5	小6	中1	中2
■ H28	96.8	96.8	97.2	96.6	96.2
▲ H27	98.7	98.8	98.9	98.1	97.8
✕ H26	98.6	98.9	98.4	98.1	97.2
H28全国調査	小6…秋田県96.7(全国93.8)中3…秋田県96.4(全国92.8)				

全ての学年で、肯定的な回答の割合が96%を超えている。肯定的な回答のうち、「あてはまる」と回答している割合が、小学校では77%以上、中学校では72%以上であり、高い数値を示している。

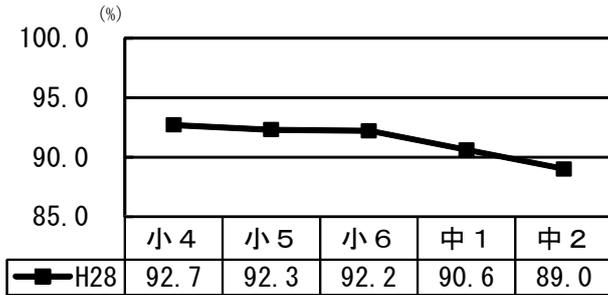
学校生活の様々な場面で、キャリア教育や道徳教育等の取組が充実していることがうかがえる。

[2-7] 地域のためになる活動に進んで取り組みたいと思う

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



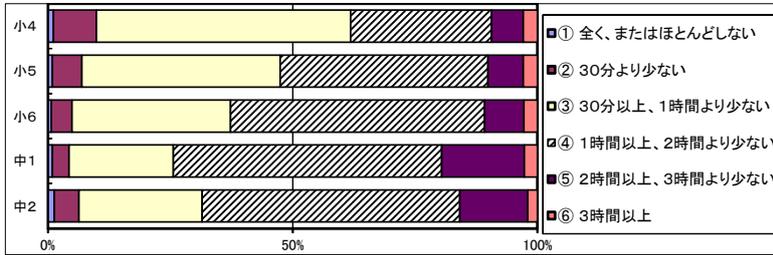
今年度の調査で、新たに加えた質問である。肯定的な回答の割合が、小学校では92%以上、中学校では89%以上である。

各学校の特色を生かしたふるさと教育の活動において、児童生徒の地域に貢献しようとする意識を高める取組がなされていることがうかがえる。

⑤ 家庭学習について

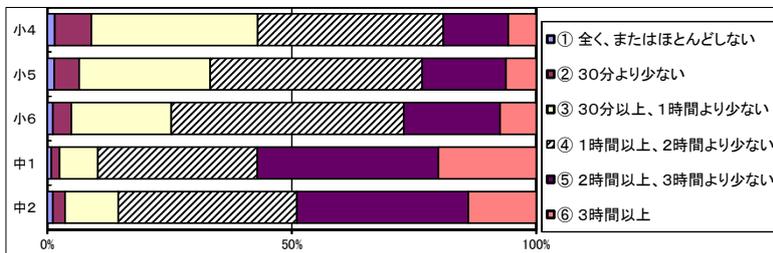
[グラフ等の見方]
表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

学校がある日の勉強時間



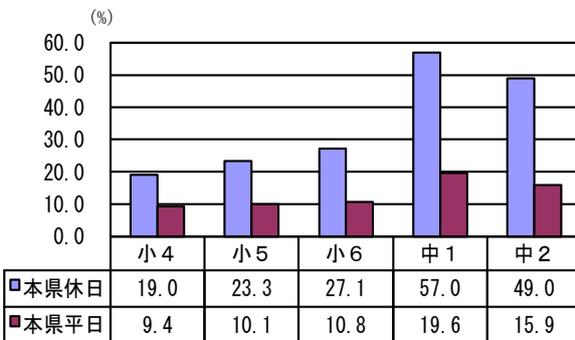
	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.1	8.8	51.9	28.8	6.5	2.9
小5	0.9	6.0	40.5	42.4	7.2	2.9
小6	0.7	4.2	32.4	51.9	8.0	2.8
中1	0.9	3.4	21.3	54.8	16.9	2.7
中2	1.3	5.0	25.2	52.6	13.9	2.0

土曜日や日曜日の勉強時間

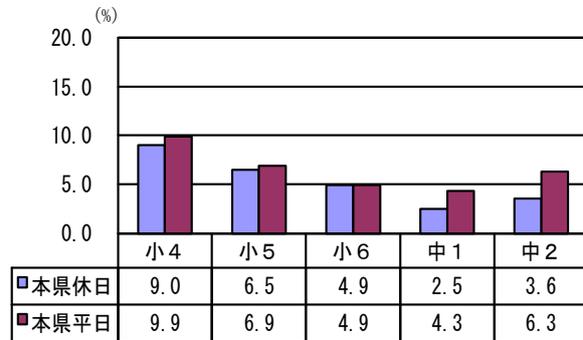


	①	②	③	④	⑤	⑥
小4	1.5	7.5	34.0	37.9	13.3	5.7
小5	1.4	5.1	26.8	43.4	17.1	6.2
小6	1.1	3.8	20.4	47.5	19.7	7.4
中1	0.8	1.7	7.8	32.6	37.0	20.0
中2	1.1	2.5	10.9	36.6	35.1	13.9

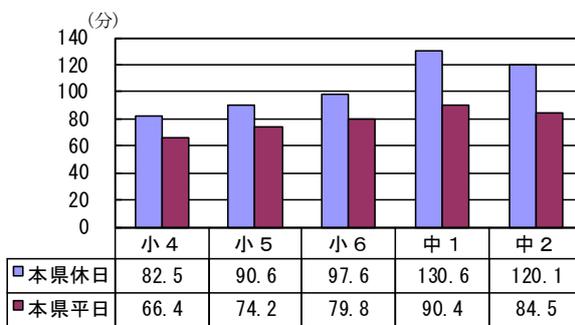
2時間以上の割合



全くしない又は30分未満の割合



家庭学習の平均時間



平日の家庭学習の平均時間は、全ての学年において、昨年度より長くなっており、1時間から1時間30分程度である。また、中学校においては、平日に家庭学習を全くしない生徒の割合は、全ての学年で昨年度より低くなっており、家庭学習の習慣が一層定着してきていることがうかがえる。

全ての学年において、休日に2時間以上の学習をしている児童生徒の割合が、平日におけるその割合に比べて高く、特に、中学生でその傾向が見られる。

⑥ 授業について

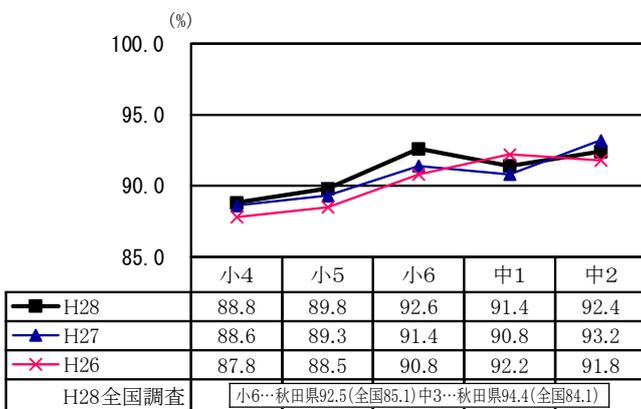
[グラフ等の見方]
 表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合
 折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

[4-1] ふだんの授業では、自分の考えを発表する機会があると思う

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない



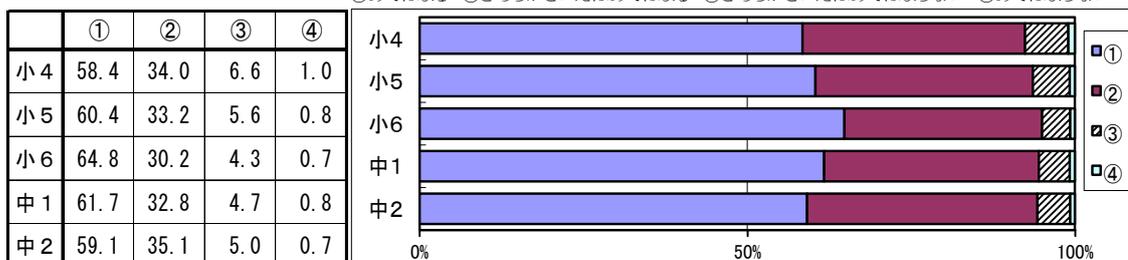
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



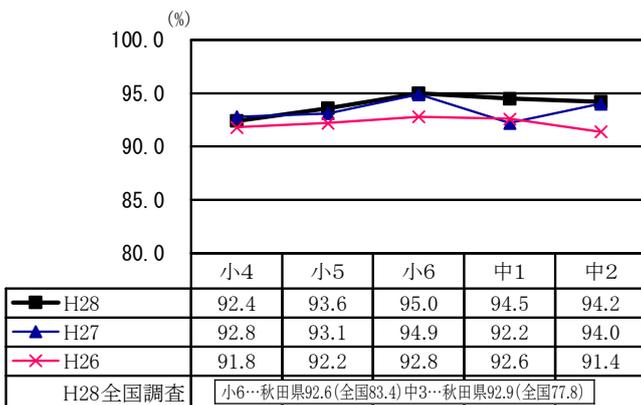
肯定的な回答の割合が、小学校では88%以上、中学校では91%以上である。小学校においては、その割合が年々少しずつ高くなってきている。普段の授業において、児童生徒が自分の考えを発表する場が確実に設定されていることがうかがえる。

[4-2] ふだんの授業では、学級の友達との間で話し合う活動をよく行っている

①あてはまる ②どちらかといえばあてはまる ③どちらかといえばあてはまらない ④あてはまらない

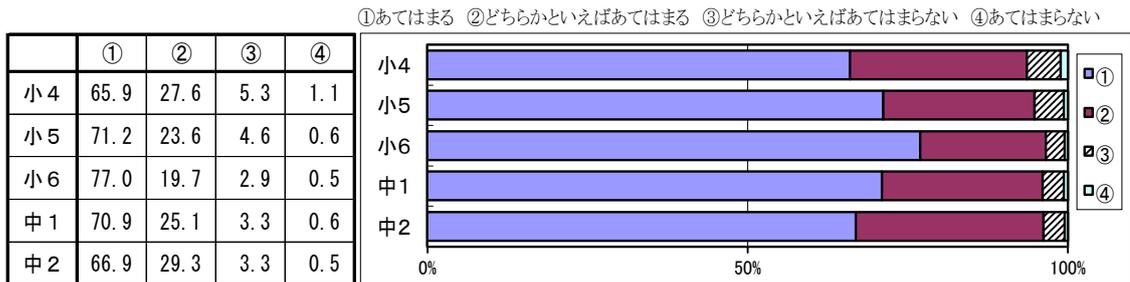


「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合

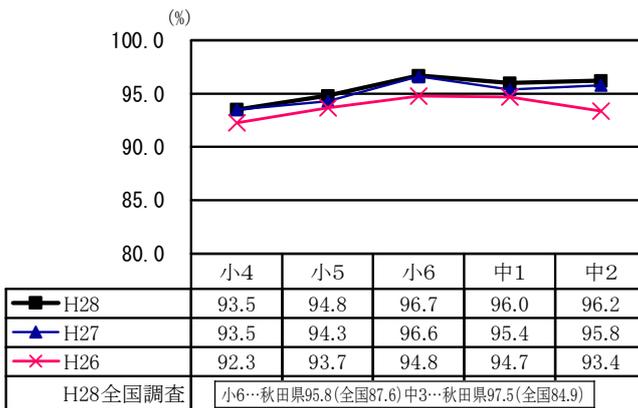


肯定的な回答の割合が、全ての学年で92%以上であり、小学校では、学年が上がるに従って、割合が高くなる傾向が見られる。普段の授業において、児童生徒による話し合いの場が意図的に設定され、言語活動の充実が図られていることがうかがえる。

[4 - 3] ふだんの授業では、授業の目標（めあて・ねらい）を立てて取り組んでいると思う



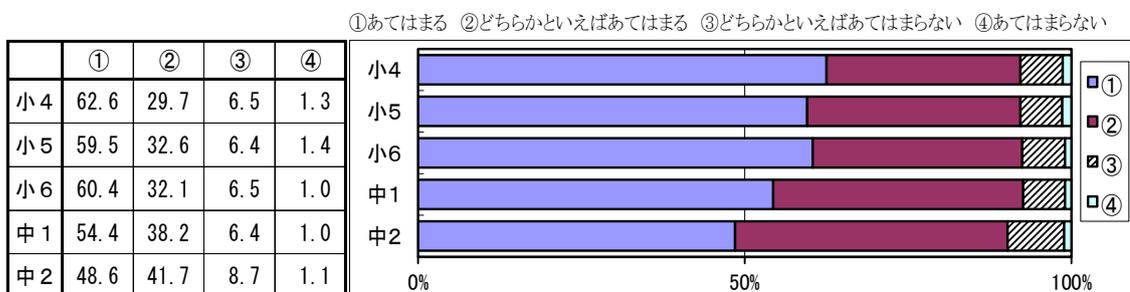
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



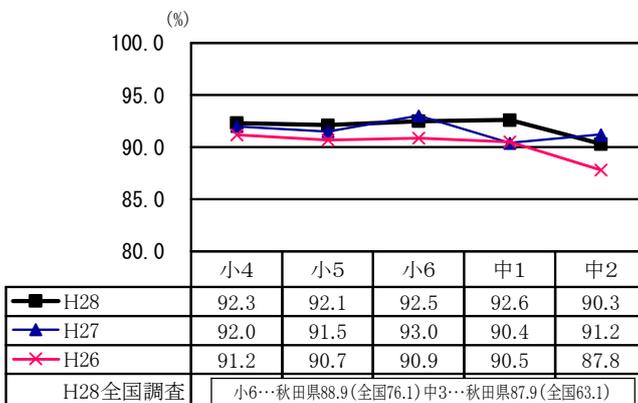
肯定的な回答の割合が、小学校では93%以上、中学校では96%以上であり、その割合が年々少しずつ高くなってきている。

児童生徒が学習に見通しをもち、主体的に学ぶことができるよう、導入における手立てを工夫していることがうかがえる。

[4 - 4] ふだんの授業では、最後に振り返る活動をよく行っていると思う



「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」の割合



肯定的な回答の割合が、全ての学年で90%以上であり、高い数値を示している。

各学校において、振り返りを大切にした取組が充実してきていることがうかがえる。

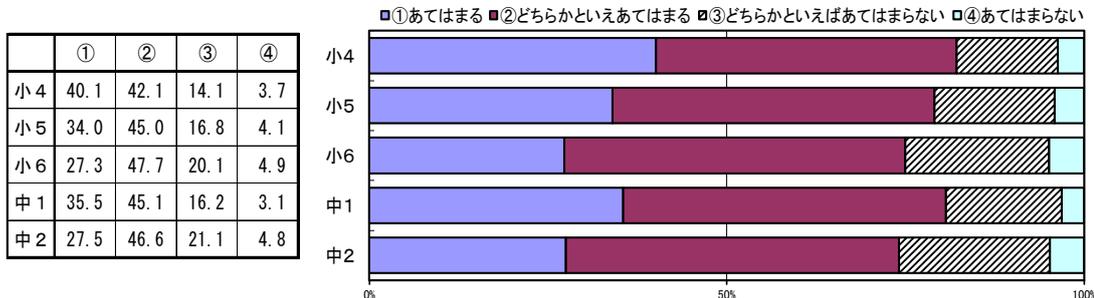
⑦ 各教科等の学習に対する意識について

[グラフ等の見方]

表及び帯グラフ……回答類型ごとの割合

折れ線グラフ……肯定的回答の割合の経年比較

【国語】質問：国語の勉強は好きだ

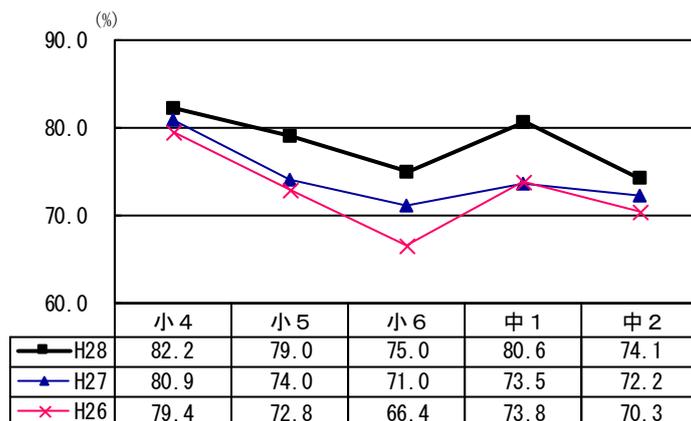


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

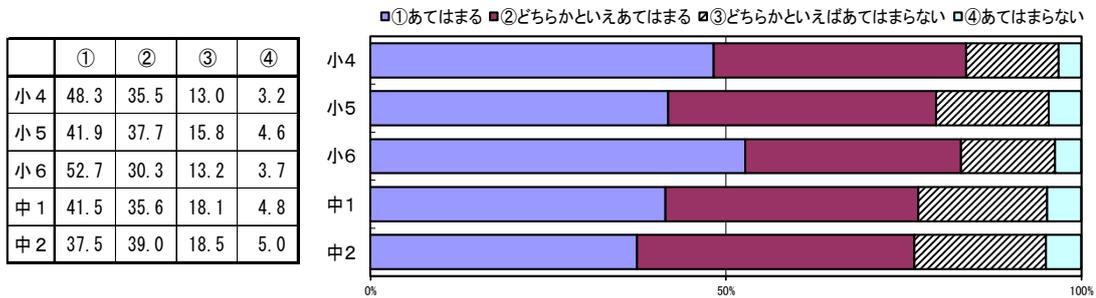
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	21.0%	20.9%	16.1%	24.5%	20.9%
	② 分かりやすい	16.5%	13.8%	11.0%	14.8%	12.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	10.3%	13.9%	18.3%	14.7%	15.2%
	④ 生活の中で役立つ	9.5%	8.1%	10.7%	7.5%	6.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	14.3%	11.9%	9.7%	9.3%	8.4%
	⑥ 得意	6.8%	6.3%	4.6%	5.4%	5.4%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.4%	3.9%	5.7%	4.4%	6.6%
	⑧ 分かりにくい	3.8%	3.9%	4.0%	3.2%	4.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%	0.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.1%	0.1%	0.1%	0.2%	0.2%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.5%	1.7%	2.0%	1.6%	2.3%
	⑫ 不得意	7.9%	9.9%	12.2%	8.7%	10.4%
	⑬ その他・不明	4.7%	5.4%	5.3%	5.6%	5.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では、肯定的な回答の割合が学年が上がるに従って低くなっているが、肯定的な回答の理由として、「将来、社会に出たときに役立つ」は、学年が上がるに従って高くなっている。中学校では、肯定的な回答の割合が小学校第6学年より高く、肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が比較的高くなっている。

【社会】質問：社会の勉強は好きだ

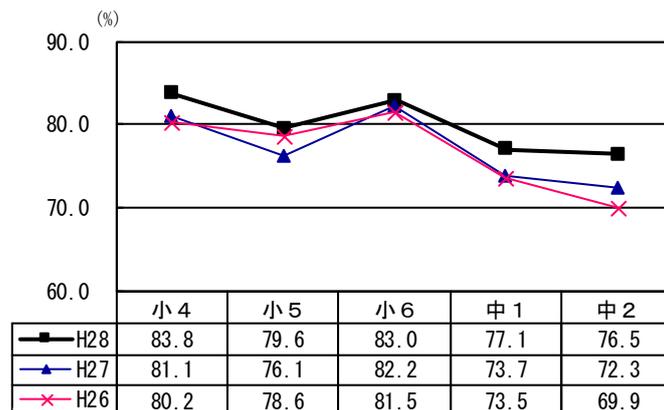


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

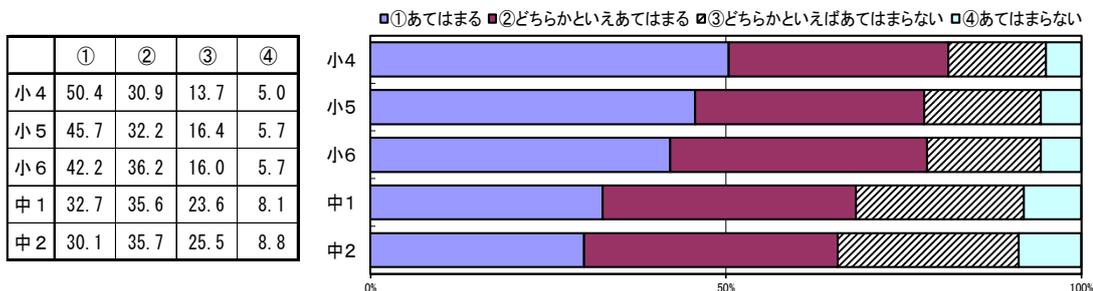
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	15.8%	18.3%	40.2%	35.5%	34.7%
	② 分かりやすい	10.2%	9.7%	8.3%	10.4%	13.4%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	34.1%	31.8%	14.3%	12.9%	10.4%
	④ 生活の中で役立つ	10.3%	6.9%	2.6%	2.4%	2.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	6.9%	6.0%	8.6%	8.3%	6.3%
	⑥ 得意	4.2%	4.8%	6.7%	4.3%	5.2%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	3.3%	4.0%	3.0%	4.1%	5.1%
	⑧ 分かりにくい	4.3%	4.8%	3.8%	4.5%	4.6%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.2%	0.6%	0.9%	1.1%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.2%	0.3%	0.6%	0.7%
	⑪ 考えるのがめんどろ	1.1%	1.4%	0.9%	0.8%	1.0%
	⑫ 不得意	6.3%	8.9%	7.7%	10.9%	10.2%
	⑬ その他・不明	3.1%	3.2%	3.1%	4.2%	4.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では79%以上、中学校では76%以上が肯定的な回答をしており、全ての学年において、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、小学校第4・5学年では、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が高く、小学校第6学年及び中学校第1・2学年では、「内容に興味があっておもしろい」の割合が高くなっている。

【算数、数学】質問：算数（数学）の勉強は好きだ

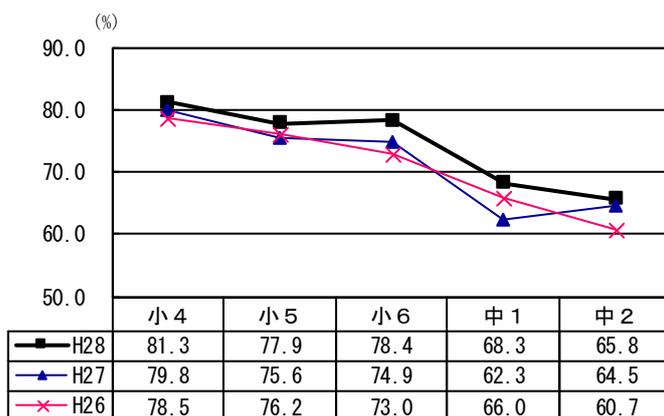


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

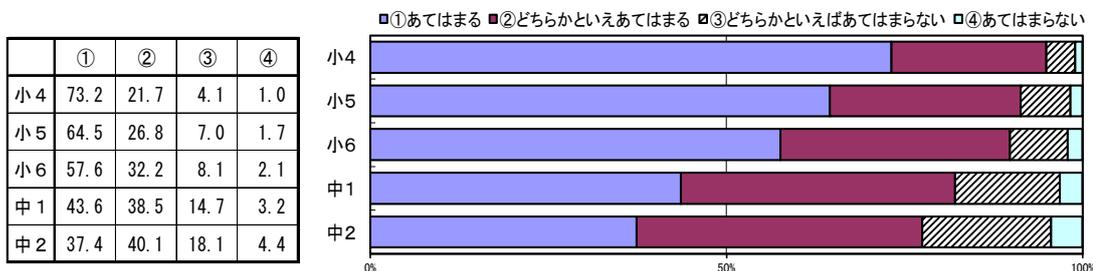
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」理由 回答した理由 等と	① 内容に興味があっておもしろい	9.8%	11.8%	9.6%	8.7%	9.1%
	② 分かりやすい	12.6%	11.2%	10.5%	9.6%	10.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	11.1%	12.9%	16.8%	13.6%	11.7%
	④ 生活の中で役立つ	14.0%	10.8%	11.9%	9.2%	6.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	18.9%	17.5%	18.2%	16.2%	18.0%
	⑥ 得意	12.8%	11.5%	9.3%	8.3%	7.4%
「あてはまらない」理由 回答した理由 等と	⑦ 内容に興味がない	1.2%	1.9%	2.1%	2.7%	3.2%
	⑧ 分かりにくい	5.5%	5.7%	4.9%	7.4%	7.3%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.1%	0.2%	0.1%	0.5%	0.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	2.3%	2.7%	3.2%	3.3%	4.0%
	⑫ 不得意	8.7%	10.8%	10.7%	16.7%	17.6%
	⑬ その他・不明	3.0%	2.9%	2.7%	3.7%	3.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、小学校から中学校へと学年が上がるに従って減少しているが、全ての学年において、この3年間で最も高くなっている。また、肯定的な回答の理由として、「考えるのが楽しい」の割合が全ての学年で最も高くなっている。一方、小学校第6学年から「不得意」の割合が「得意」の割合を上回っており、学年が上がるに従って苦手意識をもつ傾向がある。

【理科】質問：理科の勉強は好きだ

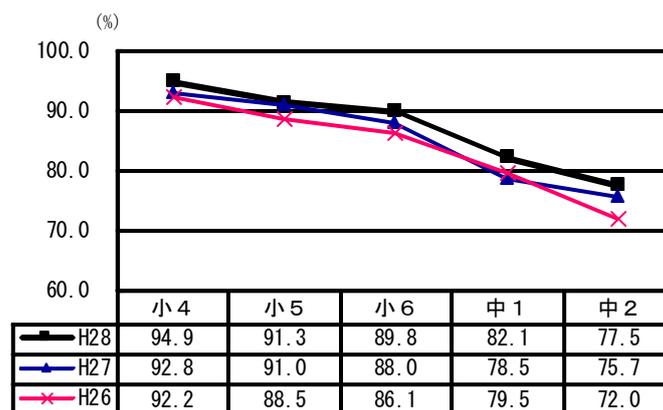


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

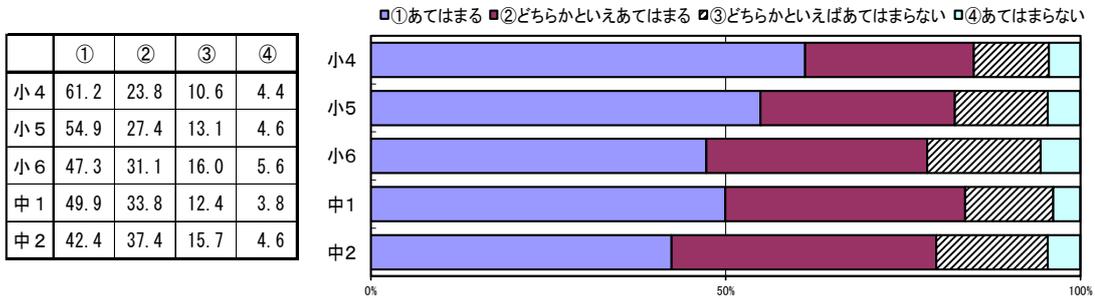
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	33.4%	38.2%	36.3%	36.2%	33.1%
	② 分かりやすい	11.0%	10.3%	11.4%	9.7%	10.2%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.8%	3.9%	5.2%	3.7%	4.1%
	④ 生活の中で役立つ	8.9%	6.1%	6.7%	5.5%	6.5%
	⑤ 考えるのが楽しい	20.8%	19.6%	17.6%	16.1%	12.9%
	⑥ 得意	12.8%	10.1%	9.3%	6.9%	6.8%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.0%	1.5%	2.6%	2.6%	4.1%
	⑧ 分かりにくい	1.2%	1.9%	2.2%	3.9%	5.8%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.4%	0.5%	1.6%	1.7%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.4%	0.3%	0.6%	0.6%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.4%	0.7%	0.8%	0.9%	1.2%
	⑫ 不得意	1.9%	3.1%	3.3%	7.0%	8.1%
	⑬ その他・不明	3.4%	3.8%	3.9%	5.1%	4.9%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなっているが、小学校では89%以上、中学校では77%以上が肯定的な回答をしており、全ての学年において、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が最も高くなっている。

【音楽】質問：音楽の勉強は好きだ

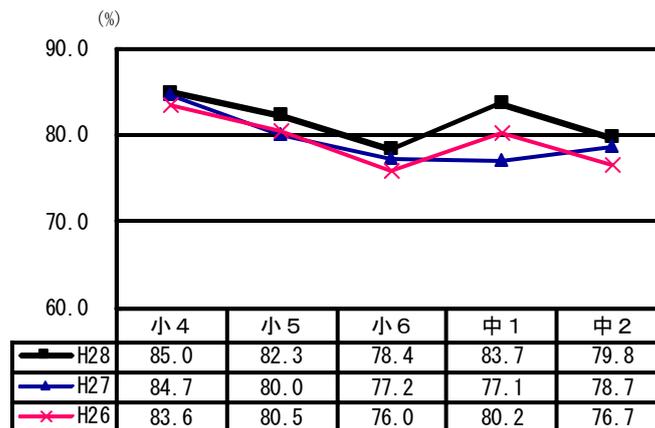


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

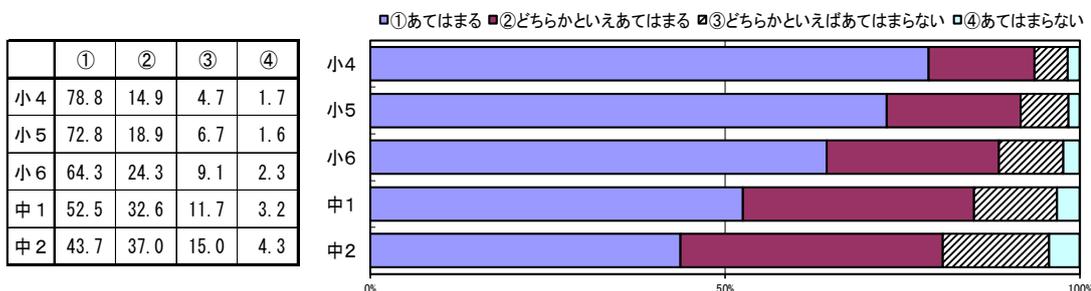
		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	23.6%	27.9%	26.6%	36.6%	38.8%
	② 分かりやすい	12.6%	11.0%	9.4%	10.0%	6.8%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.7%	2.0%	2.0%	1.6%	1.6%
	④ 生活の中で役立つ	3.4%	2.5%	2.3%	1.6%	1.8%
	⑤ 考えるのが楽しい	6.6%	6.3%	6.3%	7.9%	6.5%
	⑥ 得意	25.6%	22.3%	19.9%	14.8%	12.1%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	2.8%	3.4%	4.0%	4.2%	5.6%
	⑧ 分かりにくい	2.7%	2.1%	2.3%	0.9%	1.0%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.8%	1.2%	2.2%	2.3%	3.0%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.6%	0.9%	1.2%	1.1%	1.5%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.3%	0.5%	0.4%	0.3%
	⑫ 不得意	7.1%	9.1%	10.7%	6.4%	7.2%
	⑬ その他・不明	11.2%	11.0%	12.7%	12.3%	13.7%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



小学校では78%以上、中学校では79%以上が肯定的な回答をしており、全ての学年において、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」「得意」の割合が比較的高くなっている。また、中学校においては、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【図画工作、美術】質問：図工（美術）の勉強は好きだ

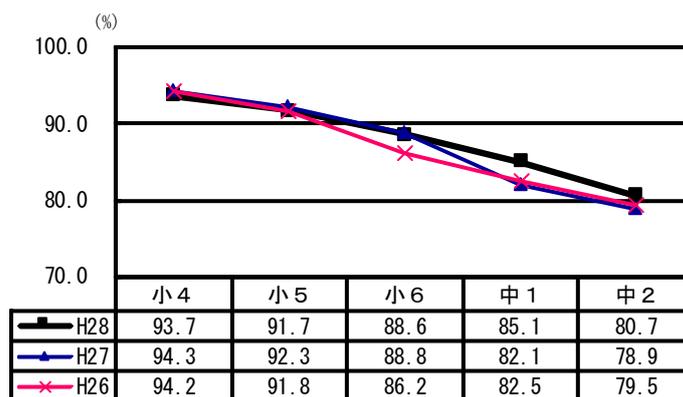


[理由]

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	26.7%	31.7%	31.7%	36.0%	35.5%
	② 分かりやすい	5.2%	4.1%	4.0%	6.2%	4.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	2.7%	1.9%	1.8%	1.7%	1.4%
	④ 生活の中で役立つ	4.2%	3.7%	3.4%	2.3%	2.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	23.3%	24.1%	24.0%	19.6%	18.0%
	⑥ 得意	26.0%	20.9%	17.9%	12.3%	10.8%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	0.8%	1.2%	1.9%	3.2%	4.4%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.3%	0.4%	0.5%	0.7%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.6%	0.9%	1.8%	2.4%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.4%	0.9%	1.4%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.5%	0.6%	0.7%	0.6%	0.8%
	⑫ 不得意	3.8%	4.7%	6.6%	7.2%	8.7%
	⑬ その他・不明	5.9%	5.9%	6.2%	7.8%	9.3%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



学年が上がるに従って肯定的な回答の割合が低くなっているが、小学校では88%以上、中学校では80%以上が肯定的な回答をしており、高い数値となっている。特に、肯定的な回答のうち、「あてはまる」と回答した割合が小学校では64%以上であり、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由としては、「内容に興味があっておもしろい」「考えるのが楽しい」「得意」の割合が比較的高くなっている。

【体育、保健体育】質問：体育（保体）の勉強は好きだ

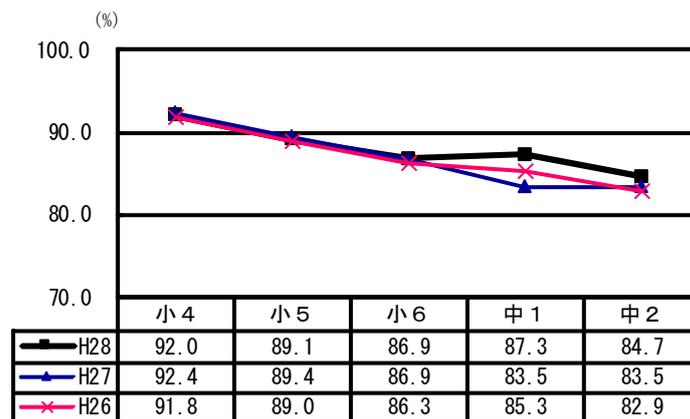


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小4	小5	小6	中1	中2
「あてはまる」理由 回答した理由 等と	① 内容に興味があっておもしろい	22.5%	26.7%	28.0%	31.8%	32.5%
	② 分かりやすい	5.0%	4.4%	3.7%	5.0%	3.9%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	4.5%	4.6%	4.0%	4.2%	3.7%
	④ 生活の中で役立つ	6.6%	5.9%	4.7%	5.1%	5.0%
	⑤ 考えるのが楽しい	2.2%	2.4%	1.7%	2.3%	2.9%
	⑥ 得意	40.3%	35.6%	34.4%	28.8%	27.0%
「あてはまらない」理由 回答した理由 等と	⑦ 内容に興味がない	0.7%	0.8%	1.0%	1.1%	2.1%
	⑧ 分かりにくい	0.3%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.3%	0.4%	0.4%	0.7%	0.8%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.2%	0.3%	0.2%	0.3%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%	0.2%
	⑫ 不得意	6.1%	8.6%	10.4%	8.8%	10.7%
	⑬ その他・不明	11.3%	10.3%	11.3%	11.2%	10.5%

「あてはまる」「どちらかといえあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、全ての学年で84%以上であり、学年進行に伴う肯定的な回答の割合の減少は、他の教科に比べて非常に小さい。また、肯定的な回答のうち、「あてはまる」と回答した割合が、全ての学年で55%以上であり、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合は、学年が上がるに従って高くなっている。

【家庭、技術・家庭】質問：家庭（技・家）の勉強は好きだ

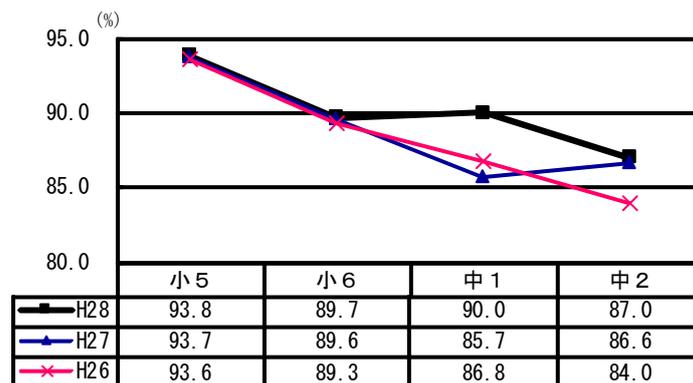


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

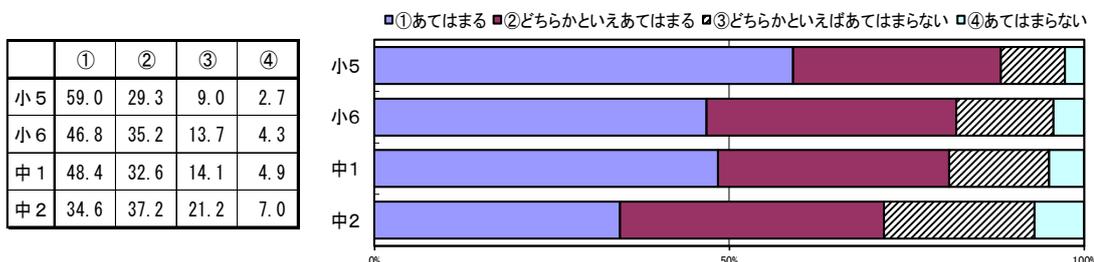
		小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	20.2%	16.9%	25.4%	26.9%
	② 分かりやすい	4.7%	3.8%	4.9%	4.0%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	17.1%	17.4%	15.6%	16.4%
	④ 生活の中で役立つ	31.2%	34.3%	23.8%	22.6%
	⑤ 考えるのが楽しい	3.3%	2.8%	8.1%	5.7%
	⑥ 得意	14.7%	12.0%	8.6%	7.3%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.3%	2.2%	2.6%	3.9%
	⑧ 分かりにくい	0.9%	1.2%	1.2%	1.5%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立つ	0.2%	0.2%	0.3%	0.5%
	⑩ 生活の中で役立つ	0.1%	0.1%	0.2%	0.3%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.3%	0.4%	0.7%	0.8%
	⑫ 不得意	3.0%	5.6%	4.3%	5.1%
	⑬ その他・不明	3.2%	3.0%	4.3%	5.0%

「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



肯定的な回答の割合は、全ての学年で87%以上となっており、この3年間で最も高くなっている。小学校では、肯定的な回答の理由として、「生活の中で役立つ」の割合は学年が上がるに従って高くなっている。中学校では、肯定的な回答の理由として、「内容に興味があっておもしろい」の割合が、学年が上がるに従って高くなっている。

【英語（小学校外国語活動、中学校外国語）】質問：外国語活動（外国語）の勉強は好きだ

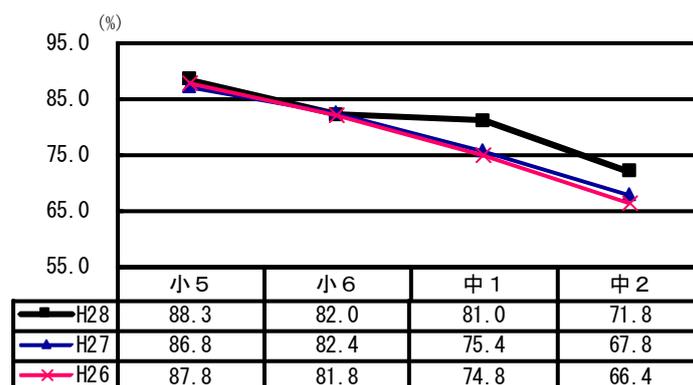


【理由】

%は全児童生徒に対する割合

		小5	小6	中1	中2
「あてはまる」等と回答した理由	① 内容に興味があっておもしろい	20.0%	15.7%	16.6%	13.6%
	② 分かりやすい	9.8%	7.1%	8.6%	7.6%
	③ 将来、社会に出たときに役立つ	31.1%	36.0%	30.8%	30.1%
	④ 生活の中で役立つ	5.3%	5.3%	4.4%	4.3%
	⑤ 考えるのが楽しい	10.2%	7.1%	5.6%	5.0%
	⑥ 得意	7.4%	6.5%	11.4%	7.4%
「あてはまらない」等と回答した理由	⑦ 内容に興味がない	1.7%	2.8%	1.9%	3.3%
	⑧ 分かりにくい	3.9%	5.4%	4.7%	6.9%
	⑨ 将来、社会に出たときに役立たない	0.2%	0.2%	0.6%	0.6%
	⑩ 生活の中で役立たない	0.3%	0.4%	0.5%	0.8%
	⑪ 考えるのがめんどろ	0.5%	0.9%	1.0%	1.4%
	⑫ 不得意	4.8%	7.3%	9.2%	14.2%
	⑬ その他・不明	5.1%	5.3%	4.7%	5.0%

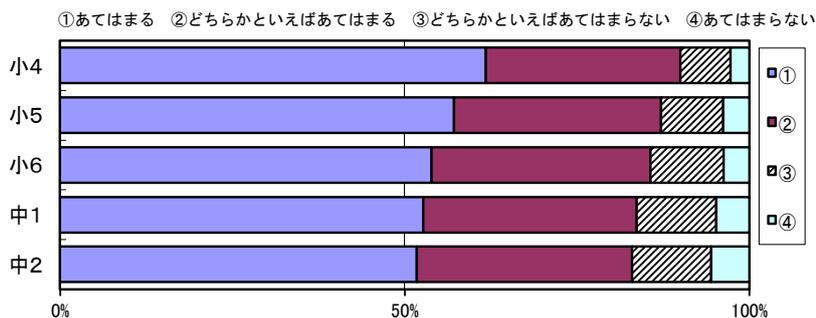
「あてはまる」「どちらかといえばあてはまる」と回答した割合の推移



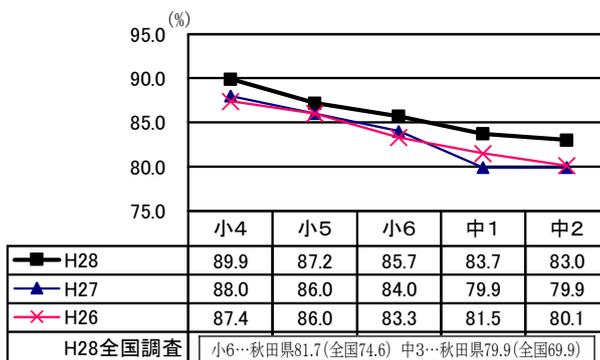
小学校外国語活動については、肯定的な回答の割合が82%以上であり、肯定的な回答の理由として、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高く、学年が上がるに従って高くなっている。中学校英語については、肯定的な回答の割合は71%以上であり、この3年間で最も高くなっている。肯定的な回答の理由として、「将来、社会に出たときに役立つ」の割合が最も高くなっている。

⑧ 読書について
[読書は好きだ]

	①	②	③	④
小4	61.7	28.2	7.3	2.7
小5	57.2	30.0	9.0	3.8
小6	53.9	31.8	10.6	3.7
中1	52.7	31.0	11.5	4.8
中2	51.8	31.2	11.5	5.5

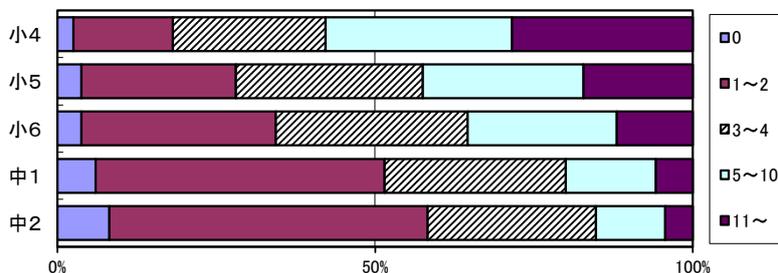


「あてはまる」「どちらかというにあてはまる」の割合



[1か月に何冊くらい本を読むか(教科書・学習参考書・マンガ・雑誌や付録を除く)]

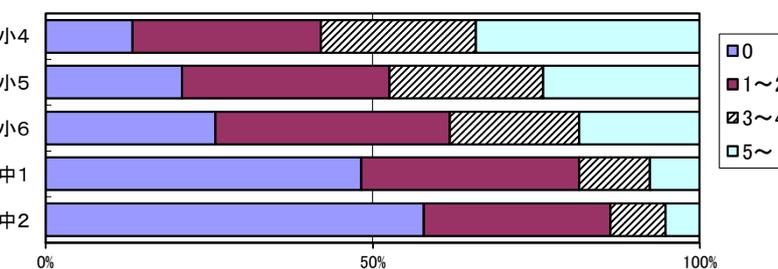
	0	1~2	3~4	5~10	11~
小4	2.5	15.7	24.0	29.4	28.4
小5	3.8	24.3	29.4	25.3	17.2
小6	3.8	30.6	30.2	23.5	11.9
中1	6.0	45.6	28.5	14.2	5.8
中2	8.2	50.1	26.5	10.9	4.3



[1か月に何回くらい図書館を利用するか]

	0	1~2	3~4	5~
小4	13.3	28.8	23.7	34.2
小5	20.8	31.7	23.5	23.9
小6	26.0	35.9	19.8	18.4
中1	48.3	33.3	10.8	7.6
中2	57.8	28.5	8.4	5.2

H28全国調査 小6…秋田県43.6(全国40.3)
月1回以上 中3…秋田県19.9(全国18.6)



全ての学年において、児童生徒の83%以上が肯定的な回答をしている。また、全ての学年の児童生徒の91%以上が1か月に1冊以上の本を読んでおり、特に小学校では1か月に5冊以上の本を読んでいる児童が35%以上いることから、日常的に読書に親しんでいる様子がうかがえる。図書館の利用回数については、小学校では月に1回以上利用している児童がおおよそ7割いるが、中学校では月に1回以上利用している生徒は5割程度である。

4 結果と考察

(1) 国語

(2) 社会

(3) 算数、数学

(4) 理科

(5) 英語

4 結果と考察 (1)国語

平成28年度小学校学習状況調査 第4学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 語 ・ に 理 つ 解 い ・ て 技 の 能
第 4 学 年	書 く こ と	ア(3・4年)	・心が動いたときのことを思い出して、書くことを決めている。	12)	○		
		ウ(3・4年)	・心が動いたときのことを中心にして、そのときの気持ちが読む人に伝わるように文章を書いている。		○		
	読 む こ と	ウ(3・4年)	・叙述を基に、それぞれの登場人物の性格や状況を把握して読んでいる。	7)		○	
			・各場面の様子に気を付けながら場面と場面とを関連付けて読んでいる。	8)		○	
			・登場人物の行動や気持ちの変化に即しながら、人物相互の関係を踏まえ、登場人物の気持ちを想像して読んでいる。	9)		○	
				10)		○	
				11)		○	
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(イ) (3・4年)	・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)			○
				2)			○
		(1)イ(カ) (1・2年)	・主語と述語の関係を正しく理解している。	3)			○
				4)			○
(1)ウ(ア) (3・4年)		・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で正しく書いている。	5)			○	
			6)			○	

小学校 4年 国語 小問別通過率と設定通過率

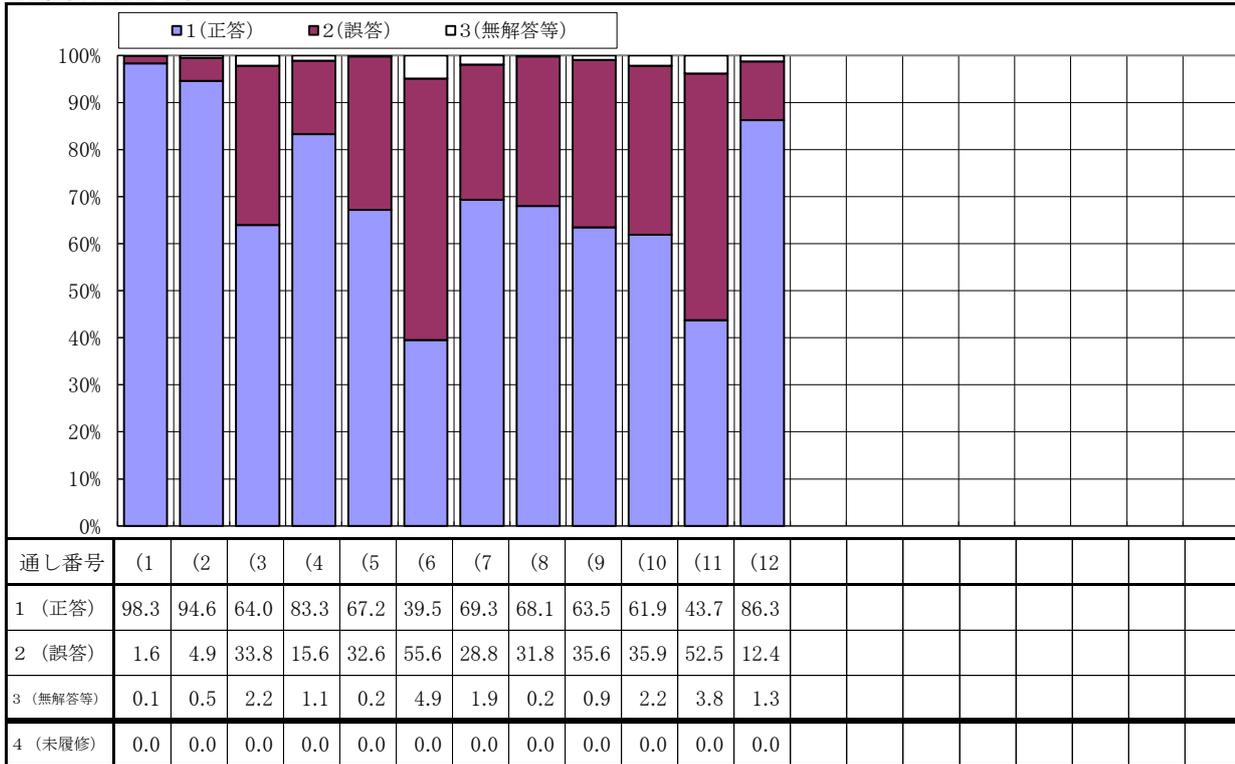
平均通過率 70.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (は)	98.3%	90.0%	
(2)	漢字を読む (どうわ)	94.6%	85.0%	
(3)	漢字を書く (幸運)	64.0%	70.0%	
(4)	漢字を書く (乗せる)	83.3%	70.0%	
(5)	主語・述語の関係	67.2%	70.0%	
(6)	ローマ字を書く	39.5%	60.0%	
(7)	登場人物の心情の理解	69.3%	70.0%	
(8)	場面の移り変わりを捉える	68.1%	70.0%	
(9)	登場人物の心情の理解	63.5%	70.0%	
(10)	叙述に即した状況の把握	61.9%	75.0%	
(11)	登場人物の心情の理解	43.7%	60.0%	
(12)	理由を明確にして考えを書く (作文)	86.3%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	119	66	6	27	15	2	10	12	8	5	3	44	
90%~100%	72	97	5	33	14	3	8	5	15	1		55	2
80%~90%	8	32	26	75	34	9	24	22	43	17	4	60	31
70%~80%		5	34	41	39	16	49	51	40	29	17	23	71
60%~70%	1		46	18	41	21	68	58	25	63	24	9	82
50%~60%			51	4	33	18	32	32	23	58	35	7	14
40%~50%			18		17	27	7	16	19	16	33		
30%~40%			10	2	5	40	2	4	16	6	41	1	
20%~30%			3		2	28			5	3	31		
10%~20%						20			5	1	9	1	
0%~10%			1			16			1	1	3		

小学校4年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別			計
	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と 国語の特質に関する事項	
+10% より高い	0	0	1	1
±10% の範囲内	1	3	4	8
-10% より低い	0	2	1	3
計	1	5	6	12

2 考察

(1) 全体について

- ① 「書くこと」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 「読むこと」では、設定通過率の「-10%より低い」問題が2問あり、登場人物の心情を想像するとき、言葉に着目して読む力を付ける指導について、改善を図る必要がある。

(2) 成果

- ① 「書くこと」では、心の動きを表す言葉を参考にして、今年1年の中で心が大きく動いたことを書くなど、テーマに沿って文章を書くことに指導の成果が見られる。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書き、主語・述語の関係について指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、決められた条件や文の前後のつながりを考えながら、物語の描写について想像力を働かせながら読み取る力が不十分である。登場人物の気持ちを捉える際に、言葉を根拠にして想像力を働かせる必要がある。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、ローマ字の習得が十分でないことが明らかになった。

3 今後の指導

「読むこと」では、複数の言葉を対比的に捉えて、言葉のもつ意味や役割を多角的・多面的に考えることができるよう指導の工夫を図る。

- ・ 文学的文章において、登場人物の気持ちの変化や情景などを読むときには、言葉を根拠にして想像力を働かせることを指導する必要がある。
- ・ 言葉によって想像する力を育成するためには、対照的な言葉（「ちょっと」と「いっぱい」）や気持ちを表す言葉（「おかしく」と「うれしく」）などを、比べて捉えさせることが有効である。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、ローマ字表記を使用する機会の充実を図る。

- ・ ローマ字表記を使って仮名五十音と対応した指導をするとともに、他の教科等と連携してコンピュータを使った学習と関連付けるなどして、繰り返し読んだり書いたりする機会を増やす必要がある。

4

おばあさんは、なんだかちよつとおかし
くて、いっぱいうれしくなりました。とあ
りますが、①「ちよつとおかし」と、②
「いっぱいうれしく」なつた理由を、それ
ぞれ次のように説明します。説明にふ
さわしい言葉をそれぞれ書き入れて、説明
を完成させなさい。

①「ちよつとおかし」とは、子だぬきが、
ことが、少しおかしかったからということであり、
②「いっぱいうれしく」とは、おかしかった以上に、
ことが、とてもうれしかったからということである。

5

次の言葉を例にならつて
ローマ字で書きなさい。

電気

↓

雨

↓

ame

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 解 ・ 技 能
第 5 学 年	聞 話 く す こ と	イ(5・6年)	・事柄を明確に伝えるための、話の構成を理解している。	10)	○			
		エ(3・4年)	・話の中心に気を付けて聞きとったことをまとめて書いている。	11)	○			
	こ 書 と く	エ(5・6年)	・イラストから伝わってくるものと、自分の考えを区別して書いている。	16)		○		
	読 む こ と	エ(3・4年)	・説明の考えを補いながら、自分の考えをまとめ、文章の要点や細かい点に注意して読んでいる。	12)			○	
		イ(3・4年)	・内容を押さえ、中心となる語や文、事実と意見との関係などをとらえて読んでいる。	13)			○	
				14)			○	
	ウ(5・6年)	・事実と意見の関係を押さえ、筆者の意図を想定しながら読んでいる。	15)			○		
	伝 統 的 な 言 語 文 化 と 国 語 の 特 質 に 関 す る 事 項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1) 2)				○
			・第4学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3) 4)				○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・語句の構成について理解している。	5)				○
		(1)イ(エ) (5・6年)	・和語・漢語・外来語などの区別について理解している。	6)				○
		(1)ウ(ア) (3・4年)	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で正しく書いている。	7)				○
		(1)ウ(イ) (5・6年)	・漢字の由来、特質などについて理解している。	8)				○
		(1)イ(カ) (5・6年)	・日常よく使われる敬語の使い方を理解している。	9)				○

小学校 5年 国語 小問別通過率と設定通過率

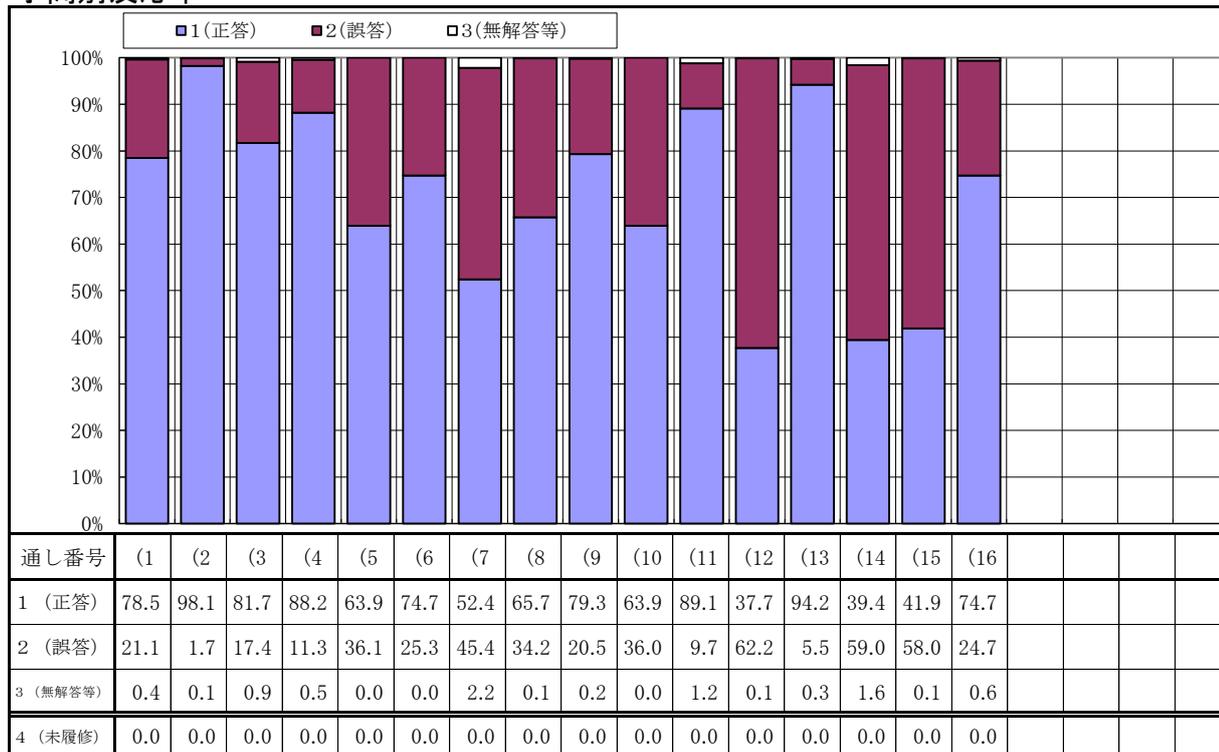
平均通過率 70.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (てんきよ)	78.5%	75.0%	
(2)	漢字を読む (ひき)	98.1%	90.0%	
(3)	漢字を書く (観察)	81.7%	75.0%	
(4)	漢字を書く (借)	88.2%	80.0%	
(5)	漢字の組み立て	63.9%	75.0%	
(6)	漢語・和語・外来語	74.7%	65.0%	
(7)	ローマ字を書く	52.4%	65.0%	
(8)	漢字の成り立ちの理解	65.7%	60.0%	
(9)	敬語の正しい使い方の理解	79.3%	75.0%	
(10)	話の構成についての理解	63.9%	60.0%	
(11)	話の中心を捉える	89.1%	85.0%	
(12)	文章の要旨を捉える	37.7%	60.0%	
(13)	文章の内容の理解	94.2%	85.0%	
(14)	事実と意見の関係を押さえる	39.4%	60.0%	
(15)	事実と感想, 意見などとの関係を押さえる	41.9%	60.0%	
(16)	根拠を明確にして自分の考えを書く (作文)	74.7%	70.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	平均通過率
100%	16	124	18	36	6	12	1	8	23	6	29	2	59	1	1	33	
90%~100%	37	70	31	76	8	14	4	8	35	6	77		113			36	3
80%~90%	61	7	81	60	20	47	12	23	58	14	75	1	26	7	3	34	10
70%~80%	39		46	22	47	67	25	40	44	47	19	2	3	11	5	39	104
60%~70%	28		15	5	49	45	31	57	21	61	1	9		23	15	21	76
50%~60%	10		8	1	44	12	44	45	9	44		22		34	34	22	8
40%~50%	6		1		20	2	30	12	8	19		34		23	52	5	
30%~40%	3		1	1	5	2	21	4	3	3		65		37	57	8	
20%~30%	1				2		19	3		1		47		37	23		
10%~20%							10					13		19	8	2	
0%~10%							4	1				6		9	3	1	

小学校5年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	0	0
±10%の範囲内	2	1	1	7	11
-10%より低い	0	0	3	2	5
計	2	1	4	9	16

2 考察

(1) 全体について

- ① 「書くこと」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 「読むこと」では、昨年度、課題が見られた問題で改善が進んでいないものがある。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」について、漢字の読み書きが設定通過率を上回っているものの、漢字の組み立て、ローマ字に課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「話すこと・聞くこと」では、話の中心を捉えることについて、指導の成果が見られる。
- ② 「書くこと」では、イラストから伝わってくるものと、自分の考えを区別して書くことについて、指導の成果が見られる。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、漢字の読み書きや敬語の正しい使い方について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「話すこと・聞くこと」では、話の構成を捉える力が十分に身に付いていない。
- ② 「読むこと」では、事実と意見との関係を押さえて読むことについての理解が十分でない。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、熟語を形成している漢字の組み立てや、ローマ字の表記についての理解が十分でない。

3 今後の指導

「話すこと・聞くこと」では、事柄が明確に伝わるような話の構成についての指導を工夫する。

- 自分の立場を明確にして話したり、事実と感想、意見とを明確に区別して説明したりする言語活動を、日々の授業に取り入れるようにする。説明的文章の指導とも関連させると効果的である。

「読むこと」では、事実と意見の関係を押さえ、筆者の意図を想定しながら読む指導の充実を図る。

- 筆者がどのような感想や意見をもち、判断や主張を行っているのか、また、自分の考えの論証、読み手の説得のために、どのような工夫をしているのか、などを捉えさせる指導の充実を図る。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、「簡単な単語について、ローマ字で表記されたものを読んだり、ローマ字で書き表したりする知識・技能の習得を図る。

- 第3学年で、ローマ字を使って地名や人名などを読んだり書いたりする学習を行うことになったが、授業だけではなく、コンピュータの入力や掲示物、リーフレット等の表記など、日常生活の中で学んだことを生かすような指導に努める。また、清音以外の表記に注意を払うように、興味付けをする。

1 西川さんの発表の仕方に当てはまるものを、次のア～エの中から一つ選んで、記号を書きなさい。

(答え)
ウ 理由を先に述べてから、自分の考えを説明している。

3 高橋さんと田中さんは、この説明文で筆者がどのような説明の仕方をしていくかについて話し合っている工夫として、田中さんが考へたア～エの中から一つ選んで、記号を書きなさい。

(答え)
エ 筆者の考えや思いを示すことで(読者を引きつけるようにしている)

5 次の言葉の例にならってローマ字で書きなさい。

電気 雨

↓ ↓

_____ _____
_____ _____
_____ _____
_____ _____

例) ame

平成28年度小学校学習状況調査 第6学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 の 解 い ・ 技 の 能
第 6 学 年	聞話 くす ことと	イ(5・6年)	・目的や意図に応じて、事柄が明確に伝わるように話の構成を工夫している。	12)	○			
	こ書 とく	ウ(5・6年)	・目的や意図に応じて、グラフから情報を取り出し、事実と感想、意見などを区別し、説明する文章を書いている。	20)		○		
	読 む こ と	エ(5・6年)	・登場人物の行動描写から人物像をとらえている。 ・登場人物の相互関係に基づいた行動描写から心情をとらえている。 ・登場人物の行動や会話に着目して、内面に描かれた心情を想像して読んでいる。	13)			○	
				15)			○	
				14)			○	
				16)			○	
	オ(5・6年)	・本のおもしろさや気に入った言葉に着目しながら、紹介文を書くために自分の考えをまとめている。	17)			○		
			18)			○		
			19)			○		
	国伝 語統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 す 化 と 事 項	(1)ウ(ア) (5・6年)	・第6学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
		(1)ウ(イ) (5・6年)	・第5学年までに配当されている漢字を、文や文章の中で正しく書いている。	3)				○
				4)				○
		(1)ウ(ロ) (5・6年)	・送り仮名に注意して漢字を正しく書いている。	5)				○
		(1)ウ(ハ) (3・4年)	・日常使われている簡単な単語について、ローマ字で正しく書いている。	6)				○
		(1)イ(ニ) (5・6年)	・修飾・被修飾の関係を正しく理解している。	7)				○
		(1)イ(ヒ) (5・6年)	・文や文章にはいろいろな構成があることについて理解している。	8)				○
		(1)イ(フ) (5・6年)	・日常よく使われている敬語の使い方を理解している。	9)				○
	(1)ア(コ) (5・6年)	・昔の人のものの見方や感じ方に関心をもち、古典への興味・関心を深めている。	10)				○	
(1)イ(ケ) (5・6年)	・語句の構成について理解している。	11)				○		

小学校 6年 国語 小問別通過率と設定通過率

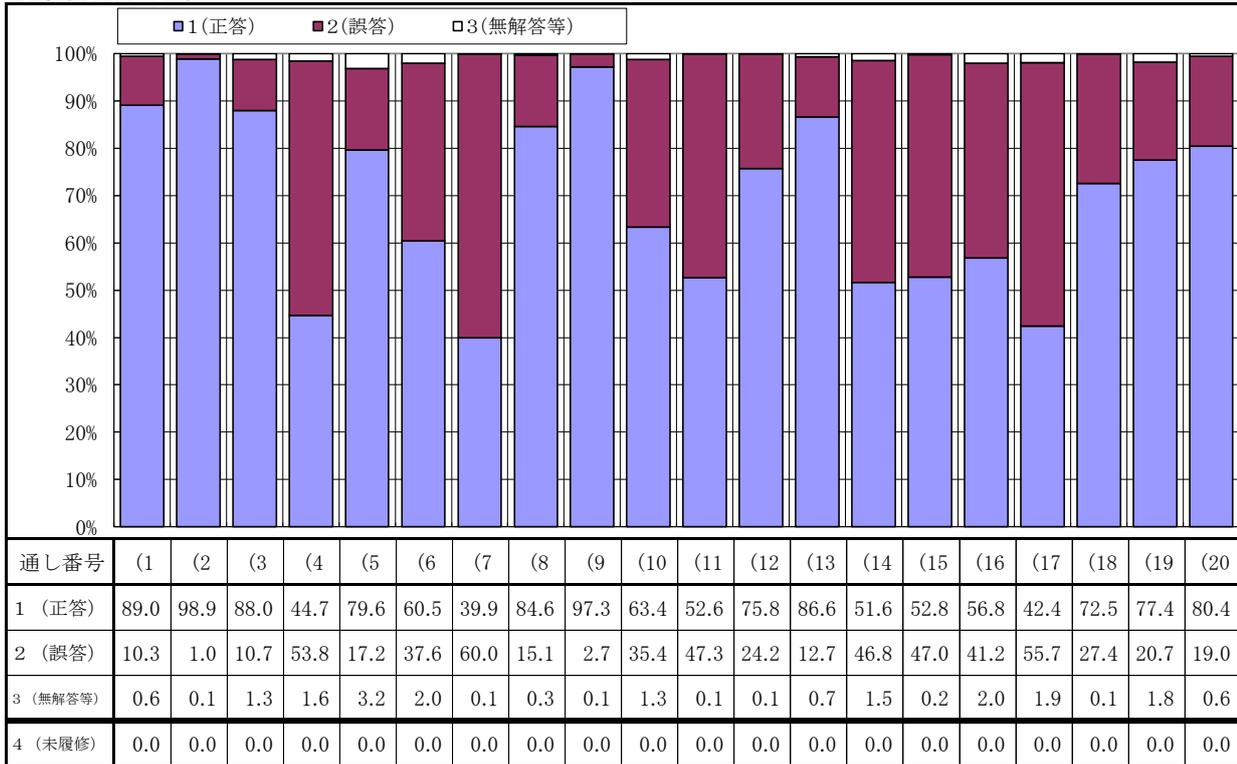
平均通過率 69.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (いた)	89.0%	90.0%	
(2)	漢字を読む (かいまく)	98.9%	90.0%	
(3)	漢字を書く (混)	88.0%	80.0%	
(4)	漢字を書く (増築)	44.7%	60.0%	
(5)	漢字を書く (営む)	79.6%	70.0%	
(6)	ローマ字を書く	60.5%	70.0%	
(7)	修飾語の理解	39.9%	60.0%	
(8)	二文を一文にまとめる	84.6%	75.0%	
(9)	敬語の正しい使い方の理解	97.3%	85.0%	
(10)	短歌の表現についての理解	63.4%	65.0%	
(11)	熟語の構成についての理解	52.6%	65.0%	
(12)	効果的な話の構成についての理解	75.8%	75.0%	
(13)	描写から人物像を捉える	86.6%	80.0%	
(14)	登場人物の心情の理解	51.6%	65.0%	
(15)	登場人物の心情の理解	52.8%	65.0%	
(16)	登場人物の考えを捉える	56.8%	65.0%	
(17)	登場人物の考えを捉える	42.4%	60.0%	
(18)	叙述を根拠にした考えの形成	72.5%	65.0%	
(19)	叙述を根拠にした考えの形成	77.4%	70.0%	
(20)	事実と感想, 意見などを区別し, 説明する文章を書く (作文)	80.4%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (202校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	29	144	32	1	24	7	2	24	113	5	10	13	30	5	2	2	4	2	14	34	
90%~100%	79	56	67	1	35	6		53	84	7	4	6	53	3	1	1		4	11	41	
80%~90%	59	2	75	7	53	23	3	72	5	21	13	53	80	6	4	10	4	40	57	56	21
70%~80%	28		21	14	44	39	9	33		33	18	69	32	12	10	18	8	74	84	36	83
60%~70%	6		6	25	19	34	13	15		66	30	47	4	33	42	63	22	61	27	14	87
50%~60%	1			28	23	42	23	4		45	44	8	3	54	68	62	41	17	6	5	11
40%~50%				37	2	28	49			16	42	4		47	50	29	44	2	1	11	
30%~40%			1	54		16	55			4	25			23	15	9	24			2	
20%~30%				27	1	5	35			4	13	1		10	8	6	28	1		1	
10%~20%				5			7				1			6			17			2	
0%~10%				3	1	2	6	1		1	2	1		3	2	2	10	1	2		

小学校6年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	0	1	1
±10%の範囲内	1	1	4	7	13
-10%より低い	0	0	3	3	6
計	1	1	7	11	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 「書くこと」「話すこと・聞くこと」についての学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 「読むこと」では、描写を手掛かりにして登場人物の心情を捉える問題の通過率が低く、指導の改善を図る必要がある。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、ローマ字を書くことについては小4、小5の通過率を上回っているが、文の係り受け等には課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「書くこと」では、目的や意図に応じて、表やグラフから情報を取り出し、事実と感想、意見などを区別して書くことについて、指導の成果が見られる。
- ② 「読むこと」では、描写に着目しながら自分の考えをまとめることについて、指導の成果が見られる。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文と文の意味のつながりを考えて二文を一文にまとめて書く問題や、適切な敬語に書き換える問題について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、行動描写や会話文から、登場人物の内面にある心情について、想像を働かせながら読み取る力が十分でない。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、修飾・被修飾の関係や熟語の構成についての理解が十分でない。

3 今後の指導

「読むこと」では、行動描写や会話などを基に、登場人物の内面にある心情について、想像を働かせながら読む力を伸ばす指導の充実を図る。

- ・ 登場人物の行動や会話、情景など複数の描写を関連付けて、人物像を捉える活動を設定するなど、内面にある心情を深く捉えることができるよう指導を工夫する。
- ・ 文章中の表現を手がかりにして、登場人物の心情について考えたことを交流し合う言語活動を取り入れるなどして、自分の考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、語句の係り受けの關係に留意して、文の構成の理解を深める指導の工夫を図る。

- ・ 文章の内容を理解するために、文章中の一文を取り上げて修飾・被修飾の關係を確認するなど、「読むこと」と関連付けて理解を深める指導を工夫する。
- ・ 語句の係り受けの關係を理解し慣れることができるように、文章を書く様々な機会を捉え、意図的に取り上げて指導を行うようにする。

7)

次の文の「時おり」はどの言葉を書き添えていますか。

さい。

時おり、激しい雨が窓にうちつけた。

17)

大喜びでむかえたところですが、芸能プロダクションの経営者はどんな考えで、ゾウをむかえたのですか。

□の中に書きなさい。

平成28年度中学校学習状況調査 第1学年 国語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 識 ・ 理 の 解 い て 技 の 能
第 1 学 年	聞 話 く す こ と と	イ(中1)	・全体と部分の関係に注意し、相手の反応を踏まえながら話を構成している。	12)	○			
		ウ(中1)	・場面を意識し、聞き手に分かりやすい適切な語句を選択して話すことを理解している。	13)	○			
	こ 書 と く	ウ(中1)	・伝えたい事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書いている。	20)		○		
	読 む こ と	イ(中1)	・目的や必要に応じて情報を読み取り整理している。	14)			○	
		ア(中1)	・文脈の中における語句の意味を的確にとらえている。	15)			○	
				17)			○	
		エ(中1)	・文章の内容を的確に押さえ、文章の構成や展開について自分の考えをもっている。	16)			○	
	イ(中1)	・文章を目的や必要に応じて要約し、内容を理解している。	18)			○		
				19)			○	
	国 語 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 化 と 事 項	(1)ウ(ア)(中1)	・学年別漢字配当表に示されている漢字に加え、その他の常用漢字のうち300字程度から400字程度の漢字を正しく読んでいる。	1)				○
				2)				○
(1)ウ(ア)(小5・6)		・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	3)				○	
			4)				○	
(1)ウ(イ)(中1)		・文脈に即して漢字を適切に使っている。	5)				○	
(1)イ(ウ)(中1)		・事象や行為等を表す多様な語句について理解している。	6)				○	
(1)イ(ク)(小5・6)		・日常よく使われる敬語の使い方を理解している。	7)				○	
(1)イ(オ)(小5・6)		・文の中での語句と語句との関係を正しく理解している。	8)				○	
(1)イ(ウ)(中1)		・慣用句の意味を理解している。	9)				○	
(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いを理解している。	10)				○		
(2)ア(中1)	・手紙の書き方について正しく理解し、文字の配列などを意識して書いている。	11)				○		

中学校 1年 国語 小問別通過率と設定通過率

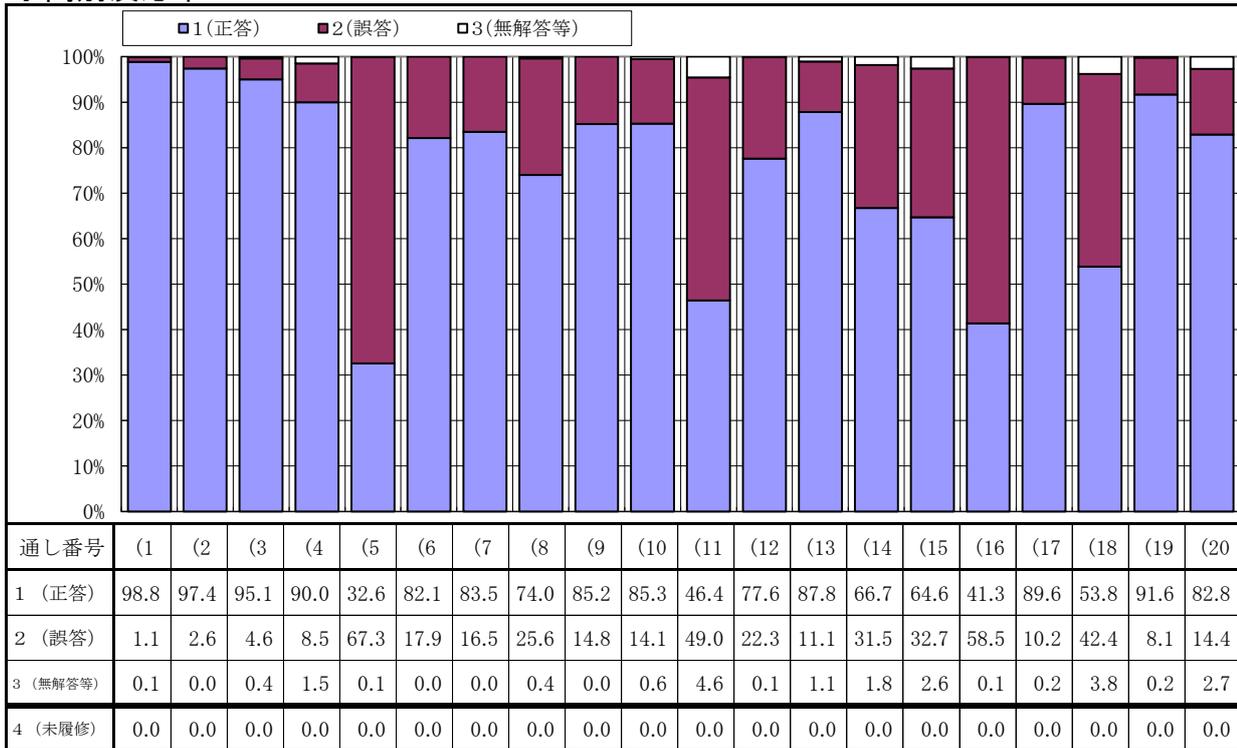
平均通過率 76.3%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	漢字を読む (もくじ)	98.8%	90.0%	
(2)	漢字を読む (きび)	97.4%	90.0%	
(3)	漢字を書く (病院)	95.1%	90.0%	
(4)	漢字を書く (縮)	90.0%	85.0%	
(5)	文脈に即した漢字	32.6%	60.0%	
(6)	文脈に適した語句	82.1%	75.0%	
(7)	敬語の正しい使い方の理解	83.5%	75.0%	
(8)	主語・述語の関係	74.0%	70.0%	
(9)	慣用句の意味の理解	85.2%	80.0%	
(10)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す	85.3%	80.0%	
(11)	手紙の書き方についての理解	46.4%	60.0%	
(12)	話の構成についての理解	77.6%	70.0%	
(13)	相手に分かりやすい語句の選択についての理解	87.8%	80.0%	
(14)	情報の読み取りと整理	66.7%	60.0%	
(15)	文脈に即して語句の意味を捉える	64.6%	60.0%	
(16)	段落の働きについての理解	41.3%	60.0%	
(17)	文脈に即して語句の意味を捉える	89.6%	80.0%	
(18)	目的や必要に応じた要約	53.8%	65.0%	
(19)	文章の内容の理解	91.6%	70.0%	
(20)	根拠を明らかにして自分の気持ちを書く (作文)	82.8%	75.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (116校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	66	35	21	12		5	6	4	5	13		2	9	3			5	1	13	9	
90%~100%	48	76	79	56		11	9	8	27	39	1	2	36	4	1		47	1	67	38	1
80%~90%	2	5	15	37		54	67	34	53	40	1	42	57	19	5		58	13	32	41	15
70%~80%			1	11	1	40	27	32	29	15	7	49	12	33	26	1	5	19	3	13	99
60%~70%					4	4	7	28	1	6	15	17	2	31	49	1	1	17	1	6	1
50%~60%					8	2		9	1	3	27	4		11	24	14		18		5	
40%~50%					15						30			6	8	42		19		1	
30%~40%					37			1			24			9		45		22		2	
20%~30%					38						8				1	11		6		1	
10%~20%					11						2				1	2					
0%~10%					2						1				1						

中学校 1 年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	0	0	1	0	1
±10%の範囲内	2	1	3	9	15
-10%より低い	0	0	2	2	4
計	2	1	6	11	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」と「書くこと」についての学習内容の定着状況は、おおむね良好である。
- ② 「読むこと」では、問題によって通過率は異なるが、文章における各段落の役割を捉えたり、目的や必要に応じて要約したりすることに課題が見られる。

(2) 成果

- ① 「書くこと」では、伝えたい事柄について、自分の考えや気持ちを根拠を明確にして書くことに指導の成果が見られる。
- ② 「読むこと」では、文脈の中における語句の意味を的確に捉えたり、文章全体の要旨を捉えたりすることに指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、論理的文章における各段落の役割を分析的に捉え、その工夫や効果について自分の考えをもつことに課題がある。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、文脈に即して漢字を適切に使うことに課題がある。

3 今後の指導

論理的文章の指導においては、文章全体の構成を捉えさせるだけでなく、書き手の思考の流れに沿って全体の展開を把握させる指導の充実を図る。

- ・主張に基づく具体例の示し方等に注目して、書き手の意図を考えさせる活動を取り入れる。
- ・文章の構成や、段落の役割等における書き手の工夫やその効果を分析的に捉えさせる必要がある。その上で、工夫や効果について自分の考えをもたせ、話し合わせる活動を取り入れるなどの指導を工夫する。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の漢字の指導では、辞書を活用するなどして、漢字が表している意味を正しく捉えさせる指導の充実を図る。

- ・既習の漢字を積極的に使用するよう指導するとともに、同音の漢字や形が似た漢字など、間違えやすい漢字に注意するよう指導する。
- ・実際の文章を書く機会を通して、漢字を正しく用いる態度と習慣を養うことが大切である。その中で、必要に応じて辞書を引くことが習慣となるよう指導する。
- ・四字熟語については、組立や語源などを調べる活動を設定するなど、様々な四字熟語への興味・関心を高めるよう工夫することが大切である。

16) 書きなさい。

ア 自分の考えを強調するために、反対のことを疑問で示している。

イ 自分の考えを整理するために、問題を分類して問いかけている。

ウ ここまでの例とは逆の内容を示し、新たな話題に広げている。

エ ここまでの複数の例の中にある矛盾している点を指摘している。

13段落) 結局、わたしたちは、一人一人別々の心をかかえ、相手のことなどわ
からないまま生きていくしかないのだろうか。(以下略)

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					話 す 能 力 聞 く 能 力	書 く 能 力	読 む 能 力	知 言 識 語 に 理 の 解 い て 技 の 能
第 2 学 年	聞 話 く す こ と と	エ(中2)	・話の中心的な部分と付加的な部分などを聞き分け、話し手の意図をとらえている。	1)	○			
		エ(中2)	・事実と意見を聞き分け、根拠となる事実をとらえている。	2)	○			
		エ(中2)	・話の共通点や相違点を考え、論理的な展開などに注意して聞き取り、話合い全体の要点をとらえている。	3)	○			
	書 く こ と	ウ(中2)	・目的や意図に応じてグラフから情報を読み取り、考えたことを説明する文章を書いている。	20)		○		
	読 む こ と	ウ(中2)	・文書の構成や展開、表現の意図や効果を考え、自分の考えをまとめている。	14)			○	
				17)			○	
				19)			○	
		エ(中1)	・文書の構成や展開、表現の特徴について自分の考えをまとめている。	15)			○	
		イ(中2)	・描写の効果、登場人物の言動の意味などを考え、内容の理解に役立てている。	18)			○	
	国 伝 統 的 特 な 質 言 に 語 関 文 化 事 項	(1)ウ(ア)(中2)	・第1学年までに学習した常用漢字に加え、その他の常用漢字のうち350字程度から450字程度までの漢字を正しく読んでいる。	4)				○
				5)				○
		(1)ウ(イ)(中1)	・学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書いている。	6)				○
				7)				○
		(1)イ(イ)(中2)	・四字熟語を理解している。	8)				○
・同音異義を理解している。			9)				○	
		・対義語を理解している。	11)				○	
(1)イ(ア)(中2)		・日常よく使われている敬語の使い方を理解している。	10)				○	
(1)イ(エ)(中2)	・単語の類別及び活用について理解し、それぞれの単語の働きに注意している。	12)				○		
(1)ア(ア)(中1)	・歴史的仮名遣いを理解している。	13)				○		
(1)イ(オ)(中1)	・表現の技法(擬人法)について理解している。	16)				○		

中学校2年 国語 小問別通過率と設定通過率

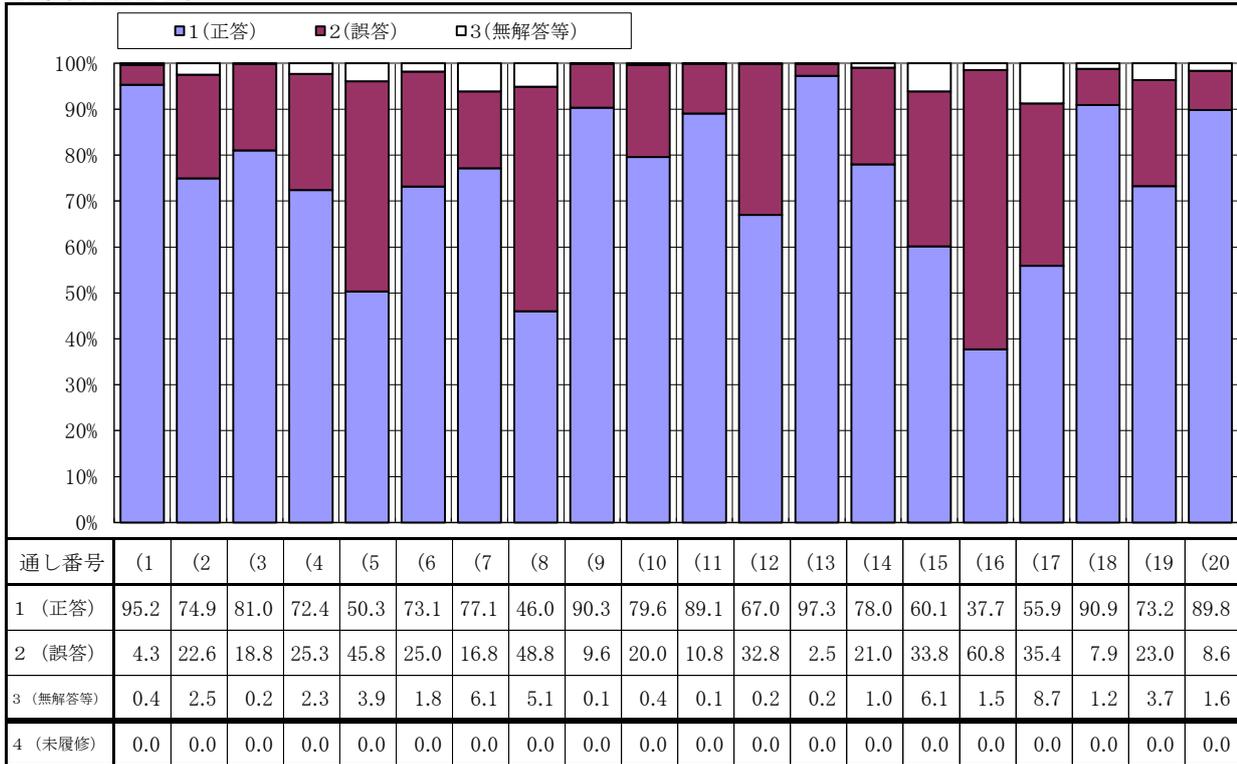
平均通過率 73.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	話の要点を聞き取る	95.2%	85.0%	
(2)	話の要点を聞き取る	74.9%	75.0%	
(3)	話の構成や展開に注意して聞き取る	81.0%	75.0%	
(4)	漢字を読む (びょうしゃ)	72.4%	75.0%	
(5)	漢字を読む (ほどこ)	50.3%	65.0%	
(6)	漢字を書く (納税)	73.1%	70.0%	
(7)	漢字を書く (垂)	77.1%	70.0%	
(8)	四字熟語の理解	46.0%	60.0%	
(9)	文脈に即して正しい漢字を使う	90.3%	85.0%	
(10)	敬語の正しい使い方の理解	79.6%	80.0%	
(11)	対義語の理解	89.1%	80.0%	
(12)	単語の類別についての理解	67.0%	60.0%	
(13)	歴史的仮名遣いを現代仮名遣いに直す	97.3%	90.0%	
(14)	文章の構成についての理解	78.0%	70.0%	
(15)	文章の構成を捉える	60.1%	60.0%	
(16)	表現の技法の理解	37.7%	60.0%	
(17)	表現の効果を捉える	55.9%	70.0%	
(18)	描写の内容の理解	90.9%	70.0%	
(19)	表現の効果を捉える	73.2%	65.0%	
(20)	グラフから読み取ったことをもとに意見文を書く (作文)	89.8%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 国語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (115校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	23		2	5		1	3	1	10	3	8	1	47	3	2			21	1	17	
90%~100%	82	6	13	10	1	4	10	3	51	18	46	1	63	15	1		3	64	8	52	
80%~90%	9	29	45	28	5	25	42	8	48	41	52	13	4	46	7		5	21	24	36	13
70%~80%	1	55	44	24	3	46	39	11	5	37	8	38		34	21	1	18	6	49	7	82
60%~70%		20	9	21	15	29	15	13	1	9	1	30	1	7	37	4	23	2	26	3	20
50%~60%		3	1	16	32	10	6	16		6		22		4	28	8	38		6		
40%~50%		1		9	38			9		1		4			11	32	13		1		
30%~40%		1	1	1	18			15				3		2	4	46	10				
20%~30%				1	3			19				3			4	22	4	1			
10%~20%								12								2	1				
0%~10%								8						4							

中学校2年 国語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	領域別				計
	話すこと・聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	
+10%より高い	1	0	1	0	2
±10%の範囲内	2	1	3	8	14
-10%より低い	0	0	1	3	4
計	3	1	5	11	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 「話すこと・聞くこと」「書くこと」についての学習内容の定着状況は、おおむね良好である。
- ② 「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」は、問題によって通過率が異なるが、昨年度の課題が改善されていない問題も見られる。

(2) 成果

- ① 「書くこと」では、グラフから読み取ったことを基にして文章を書くなど、資料から得た情報を基にして自分の意見を書くことについて、日頃の指導の成果が見られた。
- ② 「読むこと」では、描写の効果、登場人物の言動の意味などを捉えることについて、指導の成果が見られる。
- ③ 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、対義語や単語の類別等の問題について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」では、文学的文章の問題において、表現の意図や効果を捉え自分の考えをまとめて書く力に課題がある。
- ② 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、正確な知識の獲得が課題である。特に、四字熟語の理解は、昨年度に続き今年度も課題が見られた。

3 今後の指導

文学的文章の表現の意図や効果を考え、自分の考えをまとめる指導においては、読み取る目的や視点を明確にし、俯瞰的に文章を読み取ることの指導を充実させる。

- ・ 文章を読む際に、表現の意図や効果に着目させながら内容を捉えさせることにより、読み取りの視野を広げるよう指導を工夫する。
- ・ 構成や展開、表現、筆者の意図等について各自がもった考えをグループ活動等で交流させ、自分の考えを深めたり、他の考えにふれさせたりする学習活動の場を設定する。その上で、自分の考えをまとめさせるような指導を一層充実させる。

「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の指導では、教科書教材での理解にとどまらず、日常生活と関連させた解釈を行ったり、文章に書き表したり、話し合い活動で活用したりするなどして定着を図るよう工夫する。

- ・ 修辞法に関しては、それぞれの技法について理解した上で、その効果について捉えることが大切である。
- ・ 文章中に用いられている修辞法を見付けさせたり、修辞法を用いた文を書かせたりする活動が考えられる。さらに、書いたものについて話し合い活動等でその妥当性を探り、各自の習得に結び付けるようにする。
- ・ 四字熟語については、組立や語源を調べたり発表したりする活動を設定するなど、興味・関心を高めるよう工夫する。

17)
この文章の午後の場面には会話が多いという表現の特徴があります。このことにより、どのような効果があるか、書きなさい。

16)
「広告の店」の様子について擬人法を用いて説明している文を探し、始めの五字を抜き書きなさい。

4 結果と考察 (2) 社会

平成28年度小学校学習状況調査 第5学年 社会 評価規準と評価の観点

学年	内容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
第 3 ・ 4 学 年	目標 (3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(1)		○	
	目標 (3)	・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	(1) ア	・方位と主な地図記号を理解している。	(3)			○
	(1) ア	・方位に関する基礎的な知識と地図記号を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)		○	
	目標 (3)	・地図記号や地図上の距離の求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(5)		○	
	(6) ア	・自分の住む市町村の位置を正しく表現している。	(6)	○		
	(6) ア	・秋田県と隣り合う県の名称と位置を理解している。	(7)			○
	(2) アイ	・複数の資料を関連付けて、学習問題を考え適切に表現している。	(8)	○		
	(5) ウ	・地域の先人について、調べた内容を理解している。	(9)			○
	(4) アイ	・交通事故の発生件数、事故原因の資料を適切に読み取っている。	(10)		○	
(4) ア	・地域の人々が事故防止や防犯に協力していることについて考え、適切に表現している。	(11)	○			
第 5 学 年	(2) ウ	・米づくりの機械化について、資料を適切に読み取って長所と短所を考え、適切に表現している。	(12)	○		
	(2) ア	・食料の輸入量の変化や自給率を読み取り、適切に表現している。	(13)	○		
	(2) ウ	・水産物の生産の過程や輸送などに様々な費用がかかることを理解している。	(14)			○
	(2) ウ	・水産物の生産や輸送に関連して価格が決まることを理解している。	(15)			○
	(2) ウ	・水産資源の保護、育成のために、栽培漁業に取り組んでいることを理解している。	(16)			○
	(1) イ	・気候の特色を生かした花づくりについて、資料を基に考えたことを表現している。	(17)	○		
	(1) イ	・気候の特色を生かした花づくりについて考え、適切に表現している。	(18)	○		
	(1) ア	・我が国の国土を構成する主な島について、名称と位置を理解している。	(19)			○
(1) ア	・世界の主な海洋と大陸について、名称と位置を理解している。	(20)			○	

小学校 5年 社会 小問別通過率と設定通過率

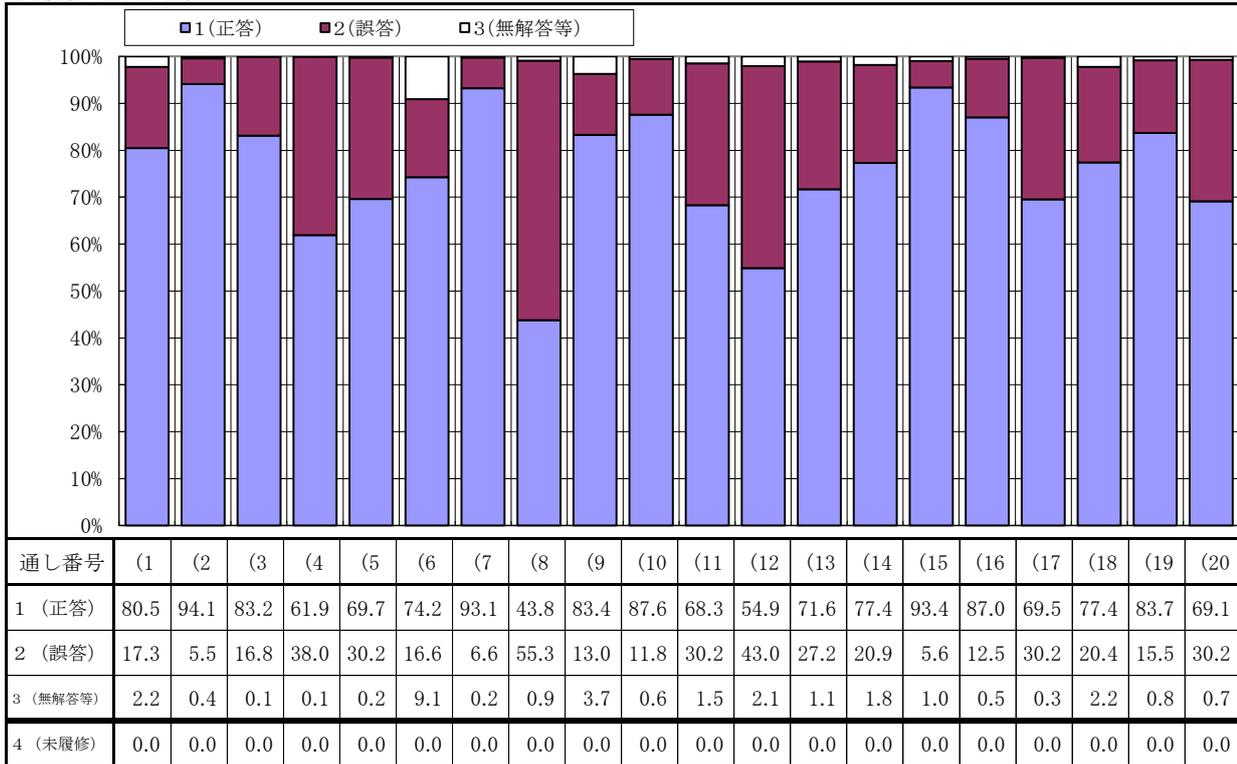
平均通過率 76.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の総合的な活用	80.5%	75.0%	
(2)	地図帳の統計資料の活用	94.1%	80.0%	
(3)	地図の読み取りと地図記号	83.2%	75.0%	
(4)	地図上での方位	61.9%	65.0%	
(5)	地図記号や地図上の距離	69.7%	70.0%	
(6)	秋田県の市町村の位置	74.2%	70.0%	
(7)	秋田県と隣り合う県の名称と位置	93.1%	80.0%	
(8)	地域の販売の工夫	43.8%	60.0%	
(9)	地域の発展に尽くした先人	83.4%	75.0%	
(10)	交通事故の資料の読み取り	87.6%	75.0%	
(11)	安全を守る地域の人々の工夫や努力	68.3%	70.0%	
(12)	米づくりにおける機械化の長所と短所	54.9%	65.0%	
(13)	食料の輸入のよさと問題点	71.6%	65.0%	
(14)	水産物の生産や輸送にかかる費用	77.4%	70.0%	
(15)	水産物の価格	93.4%	85.0%	
(16)	水産資源の保護, 育成	87.0%	80.0%	
(17)	花づくりについての資料を活用した表現	69.5%	65.0%	
(18)	気候の特色を生かした花づくり	77.4%	70.0%	
(19)	我が国の国土を構成する主な島の名称と位置	83.7%	75.0%	
(20)	世界の主な海洋と大陸の名称と位置	69.1%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	25	80	23	6	9	23	62	7	41	28	12	4	12	21	65	29	13	26	33	12	
90%~100%	30	93	39	5	9	22	94	4	52	63	25	5	17	28	88	60	10	35	50	9	8
80%~90%	68	25	85	15	27	45	42	30	48	81	47	23	38	57	41	81	36	50	57	45	78
70%~80%	54	3	30	35	67	37	3	27	27	23	30	41	46	44	6	29	50	41	43	52	81
60%~70%	21		20	59	55	42		24	15	4	27	34	53	26	1	2	53	24	12	36	31
50%~60%	3		2	51	22	24		12	8	1	22	31	27	16			28	16	2	29	2
40%~50%			1	27	8	6		9	4		17	23	7	5			8	4	2	8	
30%~40%				2	2	1		12	3		12	21		2			2	4	2	7	1
20%~30%					1			14	1		7	9								1	
10%~20%								27			1	5		1						1	
0%~10%			1	1	1	1		35	2	1	1	5	1	1			1	1		1	

小学校5年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	3・4年	
+10% より高い	0	2	1	1	0	2	3
±10% の範囲内	5	3	7	3	6	6	15
-10% より低い	2	0	0	0	1	1	2
計	7	5	8	4	7	9	20

2 考察

(1) 全体について

全体の90%の問題が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」で、学習内容の定着状況はおおむね良好である。一方で、思考・判断・表現の観点に関する問題で、「-10%より低い」設問が2問あった。

(2) 成果

- ①経年比較している9問中8問において通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導の改善が図られている。
- ②地図帳の活用、交通事故の発生件数、事故原因の資料の読み取りなど、観察・資料活用の技能について、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①見学や調査、作業的な活動などを取り入れて具体的に調べさせるとともに、その結果を複数の資料にまとめさせ、それらの資料から読み取ったことを関連付けて考察させる必要がある。
- ②複数の資料を活用し、数や量、全体的な傾向等に注目させ、米づくりの機械化による長所と短所について考察させるなど、社会的事象を多面的に捉える学習を工夫する必要がある。

3 今後の指導

複数の資料から読み取ったことを比較・関連付けて、地域社会の社会的事象の特色などについて考えたことを適切に表現する学習活動の充実を図る。

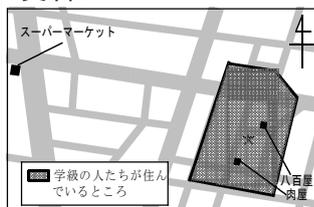
○ポイント [8 を例として]

見学や調査、作業的な活動などで調べた結果を複数の資料にまとめ、一つ一つの資料を読み取り、それらの資料から読み取ったことを比較・整理し表現する授業を展開する。

○具体例

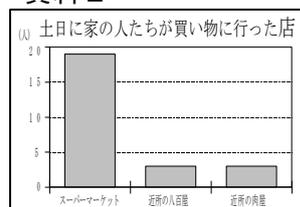
- ①家庭での買い物調査、家庭で利用している商店の位置を調べさせる。(家庭での買い物調査においては、個人のプライバシーに十分配慮する。)
- ②家庭での買い物調査の結果をグラフで表したり、家庭で利用している商店の位置を白地図にまとめたりさせる。
- ③資料1、2から分かることをそれぞれ読み取らせる。

資料1



- ・スーパーマーケットは、八百屋や肉屋より私たちの家から遠くにある。
- ・八百屋と肉屋は私たちの家の近くにある。

資料2



- ・スーパーマーケットで買い物をしている人が一番多い。
- ・八百屋と肉屋で買い物をしている人が少ない。

④二つの資料から読み取ったことを比較し、分かったことを整理する。

- ・スーパーマーケットは、私たちの家から遠いところにあるのに、多くの人が買い物に行っている。
- ・八百屋や肉屋は、私たちの家から近いところにあるのに、スーパーマーケットより買い物に行く人が少ない。

学年	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
第5学年 (第3・4学年の内容を含む)	目標(3)	・地図帳を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(1)		○	
	目標(3)	・地図帳の統計資料を活用し、必要な情報を適切に収集している。	(2)		○	
	※(1)ア	・方位や地図記号に関する基礎的な知識を活用して地図を適切に読み取っている。	(3)		○	
	目標(3)	・地図記号や地図上の道のりの求め方に関する知識・技能を活用して、適切に地図を読み取っている。	(4)		○	
	(1)イエ	・気候と自然災害の関連について理解している。	(5)			○
	(1)エ	・自然災害の被害の防止について、自分たちの行動と関連付けて考えたことを、適切に表現している。	(6)	○		
	(3)イ	・大工場の特色について、資料を読み取り、複数の数値を関連付けて考えたことを、適切に表現している。	(7)	○		
	(4)イ	・情報化した社会の様子と国民生活のかかわりについて考えたことを、適切に表現している。	(8)	○		
	(1)ア	・我が国の国土を構成する主な島について、名称と位置を理解している。	(9)			○
	(1)ア	・世界の主な海洋と大陸について、名称と位置を理解している。	(10)			○
第6学年	(1)ア	・縄文時代や弥生時代のむらの様子、大和朝廷による国土の統一が進められたことを分かっている。	(11)			○
	(1)ア	・大和朝廷の国土の統一について、必要な情報を適切に収集している。	(12)		○	
	※(6)ア	・都道府県の名称と位置を理解している。	(13)			○
	(1)ウ	・人物の働きについて、歴史上の主な事象と結び付けて分かっている。	(14)			○
	(1)ウ	・鎌倉幕府についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。	(15)	○		
	(1)オ	・豊臣秀吉の業績について分かっている。	(16)			○
	(1)オ	・信長や秀吉、家康、家光についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。	(17)	○		
	(1)オ	・参勤交代についての基礎的な知識を活用し考えたことを、適切に表現している。	(18)	○		
	(1)カ	・国学や蘭学など、新しい学問が起こったことについて分かっている。	(19)			○
(1)カ	・複数の資料を関連付けて、適切に学習問題をつくり、予想を立てることができる。	(20)	○			

※は〔第3学年及び第4学年〕の範囲である。

小学校 6年 社会 小問別通過率と設定通過率

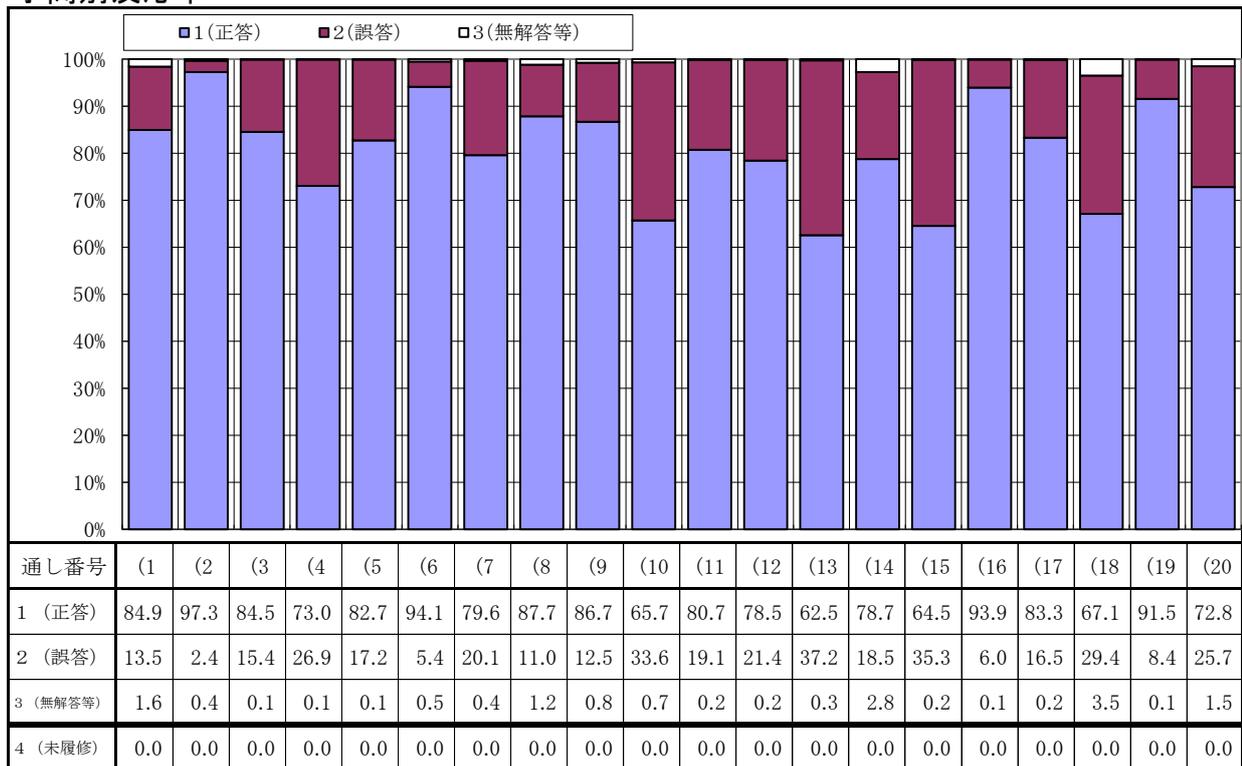
平均通過率 80.5%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	地図帳の総合的な活用	84.9%	80.0%	
(2)	地図帳の統計資料の活用	97.3%	85.0%	
(3)	方位、地図記号の活用	84.5%	75.0%	
(4)	地図上の道のりの求め方	73.0%	75.0%	
(5)	国土と自然災害	82.7%	75.0%	
(6)	自然災害の被害の防止	94.1%	80.0%	
(7)	中小工場と大工場の特徴	79.6%	75.0%	
(8)	情報化した社会と国民生活の関わり	87.7%	75.0%	
(9)	我が国の国土を構成する主な島の名称と位置	86.7%	80.0%	
(10)	世界の主な海洋と大陸の名称と位置	65.7%	80.0%	
(11)	縄文時代から大和朝廷までの国土の統一	80.7%	75.0%	
(12)	大和朝廷の勢力範囲	78.5%	70.0%	
(13)	都道府県の名称と位置	62.5%	65.0%	
(14)	主な歴史上の人物と業績	78.7%	70.0%	
(15)	鎌倉幕府の支配範囲と元寇との関係	64.5%	65.0%	
(16)	豊臣秀吉の政治	93.9%	80.0%	
(17)	全国統一から鎖国までの流れ	83.3%	75.0%	
(18)	参勤交代の目的	67.1%	75.0%	
(19)	伊能忠敬と新しい学問	91.5%	80.0%	
(20)	伊能忠敬の業績	72.8%	65.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (202校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	19	100	24	10	22	79	15	36	38	10	21	17	7	21	5	72	20	14	52	24	1
90%~100%	42	95	42	14	40	85	28	61	69	13	31	24	3	39	10	92	44	19	98	20	29
80%~90%	96	7	82	47	86	28	69	74	50	45	74	64	19	60	30	31	83	39	35	42	100
70%~80%	37		42	62	34	8	55	24	25	35	49	56	39	40	41	6	36	34	13	43	58
60%~70%	7		9	47	12	1	22	2	14	39	19	21	54	23	40	1	14	32	3	26	12
50%~60%	1		3	18	6		9	3	4	25	5	18	45	14	41		4	33	1	26	1
40%~50%				3	1		2		1	21	2	2	28	3	19		1	15		13	1
30%~40%								1		8			5	1	10			9		7	
20%~30%										4			1		5			5			
10%~20%															1			1			
0%~10%				1	1	1	2	1	1	2	1		1	1				1		1	

小学校6年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	共通問題	地理的内容	歴史的内容	
+10% より高い	2	1	2	1	2	2	5
±10% の範囲内	5	4	5	2	4	8	14
-10% より低い	0	0	1	1	0	0	1
計	7	5	8	4	6	10	20

2 考察

(1) 全体について

全体の通過率が80.5であり、昨年度を14.4ポイント上回った。経年比較している設問の11問全てにおいて通過率の上昇が見られ、前年度の結果を踏まえた指導がなされている。全体の95%の問題が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」で、学習内容の定着状況は、おおむね良好である。一方で、5年生との共通問題である「世界の主な海洋と大陸の名称と位置」を問う問題が、「-10%より低い」結果であった。

(2) 成果

- ①自然災害への対策や情報化の進展が国民の生活に大きな影響を及ぼしていることについて、自分たちの行動と関連付けて考え、適切に表現することについて、指導の成果が見られる。
- ②わが国の歴史上の主な事象について、人物の働きを中心に資料を活用して調べ、歴史を学ぶ意味を考えたり、先人の働きについて理解を深めたりすることができている。

(3) 課題

- ①地図帳や地球儀などの基礎的資料を効果的に活用することに課題がある。
- ②資料から必要な情報を収集し、それらを活用・整理して自分の解釈などを加えて再構成することに課題がある。

3 今後の指導

様々な学習場面において地図帳や地球儀を活用したり、資料から収集した情報を活用・整理するなどして再構成したりする学習活動の充実を図る。

○ポイント〔(18)を例として〕

複数の資料を関連付けて考察することができるようにするために、一つの資料から必要な情報を的確に読み取ることや、資料の特徴に応じて読み取ることなどを適切に指導する。また、歴史学習においても地図帳を活用し、歴史的事象と関連する場所が位置する都道府県を確認したり白地図に位置付けたりする学習活動を取り入れる。

○具体例

徳川家光が参勤交代の制度を設けた目的を資料から読み取る。

① 資料1から、秋田藩の一年間の主な支出の内訳を読み取り、疑問をもつ。

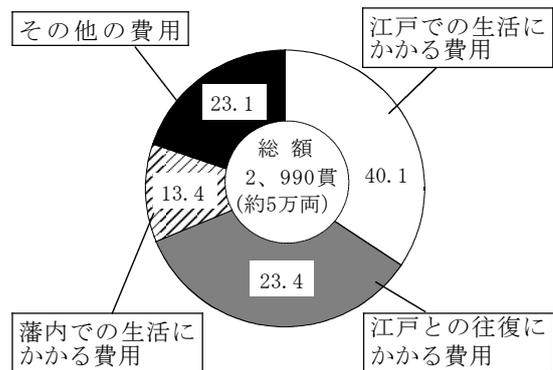
- ・江戸での生活や江戸との往復にかかる費用が6割を超え、藩内での生活にかかる費用を大きく上回っているのは、なぜだろう。

② 資料2、3から、参勤交代に関わる費用が各藩に与えた影響について話し合う。

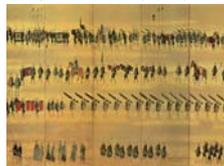
- ・大勢の家来を引き連れて移動するから、費用がかかったのだ。
- ・江戸に着くまでに何日も宿泊しなければいけないから、費用がかかったのだ。
- ・各藩に莫大な費用を負担させることが、家光のねらいだったに違いない。

③ 資料から読み取ったことを再構成し、徳川家光が参勤交代の制度を設けた目的をまとめる。

資料1 秋田藩で一年間(1679年)にかかった費用の目的別割合(%)



資料2 参勤交代図



資料3 参勤交代にかかる日数



平成28年度中学校学習状況調査 第1学年 社会 評価規準と評価の観点

学年・分野	内 容	評 価 規 準	通し 番号	観 点		
				思考 判断 表現	技能	知識 理解
小学校第6学年	(1) キ	・明治政府が近代化を進めるために行った諸改革のねらいが分かっている。	(1)			○
	(1) ク	・陸奥宗光，東郷平八郎，小村寿太郎らの働きと国の安全の確保や国際的地位の向上との関連が分かっている。	(2)			○
	(1) ケ※	・原子爆弾の投下による被害を受けた県の名称とその位置が分かっている。	(3)			○
	(1) ケ	・戦後，オリンピックが開催されたころまでに，我が国の国民生活が向上したことが分かっている。	(4)			○
	(2) ア	・国民生活には，地方公共団体の政治の働きが反映していることについて理解している。	(5)			○
	(2) ア	・各々の国民の祝日に関心をもち，その祝日が設けられているねらいについて理解している。	(6)			○
	(2) イ	・選挙権を正しく行使することについて国民主権と関連付けて考え適切に表現している。	(7)	○		
	(3) イ	・我が国の国際協力の現状を知るための情報を収集している。	(8)		○	
中学校地理的分野	(1) ア	・日本と大陸の位置関係をおおまかにとらえ，日本の対蹠点や大陸の名称を理解し，その知識を身に付けている。	(9)			○
	(1) ア	・地球儀の模式図を活用して大陸の位置関係を考察し，その結果を適切に表現している。	(10)	○		
	(1) イ	・世界の主な宗教の分布を理解し，その知識を身に付けている。	(11)			○
	(1) ウ	・資料からアフリカ州の特色について必要な情報を的確に収集している。	(12)		○	
	(1) ウ	・資料からアフリカ州の主な国の特色について必要な情報を的確に読み取っている。	(13)		○	
	(1) ウ	・アフリカの脆弱な経済基盤とその理由について，複数の資料を関連付けて考察し，適切に表現している。	(14)	○		
中学校歴史的分野	(2) ア	・世界の古代文明が，いつ，どこで起きたのかを理解し，その知識を身に付けている。	(15)			○
	(2) ア	・世界の古代文明に共通する特色を，地図や写真資料から読み取り，適切に表現している。	(16)		○	
	(1) ウ	・我が国の古代国家のおこりについて，歴史の大きな流れと各時代の特色を理解し，その知識を身に付けている。	(17)			○
	(2) ア	・我が国の古代国家のおこりについて，歴史の大きな流れと各時代の特色を結び付けて考察し，その結果を適切に表現している。	(18)	○		
	(2) イ	・政治の中心地について理解し，その知識を身に付けている。	(19)			○
	(2) ウ	・平城京と平安京に政治の中心地があった時代の文化の移り変わりについて，資料を基に考察し，その結果を適切に表現している。	(20)	○		

※は〔3，4学年〕2内容（6）アの47都道府県の名称と位置に関する内容も含まれる。

中学校 1年 社会 小問別通過率と設定通過率

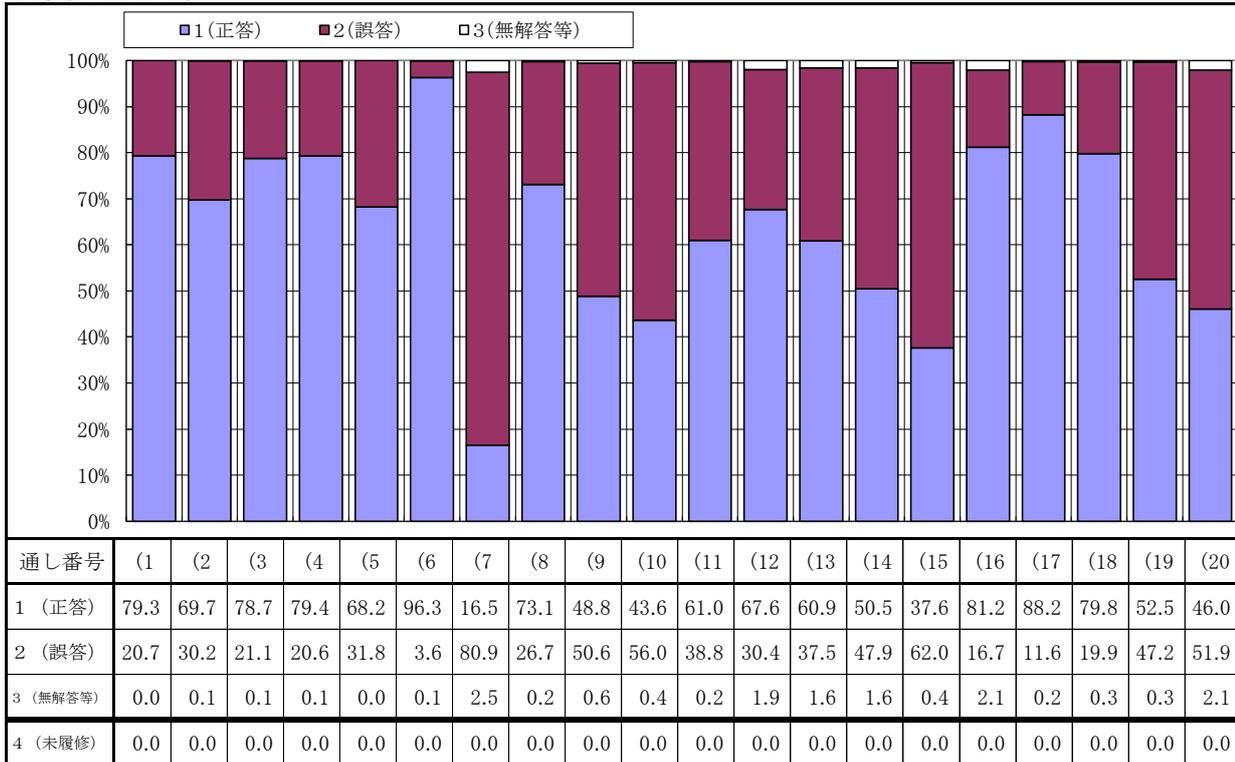
平均通過率 64.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	明治政府の諸改革	79.3%	80.0%	
(2)	日本の国際的地位の向上	69.7%	65.0%	
(3)	太平洋戦争で被害を受けた県の名称と位置	78.7%	75.0%	
(4)	戦後の日本の様子 (東京オリンピック)	79.4%	80.0%	
(5)	地方公共団体の政治の働き	68.2%	70.0%	
(6)	国民の祝日のねらい	96.3%	90.0%	
(7)	国民の権利 (選挙権)	16.5%	60.0%	
(8)	日本の国際協力に関する資料の活用	73.1%	75.0%	
(9)	日本と大陸の位置関係	48.8%	60.0%	
(10)	地球儀 (模式図) の活用と大陸の分布	43.6%	60.0%	
(11)	世界の主な宗教の分布	61.0%	65.0%	
(12)	世界の諸地域に関する資料の読み取り	67.6%	70.0%	
(13)	世界の諸地域に関する資料の読み取り	60.9%	65.0%	
(14)	アフリカ州の地域的特色についての考察	50.5%	60.0%	
(15)	古代文明のおこり	37.6%	60.0%	
(16)	古代文明の特色	81.2%	80.0%	
(17)	歴史の大まかな流れと各時代の特色	88.2%	85.0%	
(18)	歴史の大まかな流れと各時代の特色	79.8%	80.0%	
(19)	政治の中心地	52.5%	60.0%	
(20)	古代の文化の移り変わり	46.0%	60.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (116校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	6	1	1	2	3	27		3			1	1	4			6	7	6			
90%~100%	8	4	14	12	7	84		2	1		1	2	7	1		32	45	12		7	
80%~90%	48	14	42	43	20	5		19			6	17	19	9	1	40	47	47	6	14	2
70%~80%	36	34	40	44	28			51	10	2	18	41	21	17	1	22	12	42	15	7	20
60%~70%	15	45	11	13	23		5	32	20	11	35	35	15	19	3	13	5	8	20	8	66
50%~60%	2	13	8	2	18		1	9	26	21	39	12	24	17	16	3		1	24	8	27
40%~50%		5			11		4		24	41	12	4	10	20	21				26	10	
30%~40%	1				4		11		25	30	3	2	9	12	44				17	18	1
20%~30%					1		22		8	9		1	3	13	24				6	23	
10%~20%							26		1	1			2	6	4				1	18	
0%~10%					1		47		1	1	1	1	2	2	2				1	3	

中学校 1 年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別			計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	小学校	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	2	4	9	7	4	4	15
-10% より低い	3	0	2	1	2	2	5
計	5	4	11	8	6	6	20

2 考察

(1) 全体について

全体の通過率が64.0であり、昨年度を4.6ポイント下回った。経年比較している設問の10問中、昨年度の通過率を上回った設問が7問あった。設定通過率の「-10%より低い」設問は、思考・判断・表現では3問（新問2問）、知識・理解では2問（新問1問）であった。

(2) 成果

- ①様々な資料を一つ一つ丁寧に読み取り、それらを基に学習課題を作ったり、学習課題に対する予想を出し合ったりしながら学習の見通しをもつことについて、指導の成果が見られる。
- ②歴史的事象についての基礎的・基本的な知識、概念を習得し、各時代の特色を踏まえた上で、歴史の大きな流れを理解することができている。

(3) 課題

- ①地域の特色や課題を資料を基に考察し、その結果を論述したり、意見交換したりするなどして表現力を高める必要がある。
- ②各時代の特色を資料から読み取り、比較や関連付けるなどして適切に表現する学習を展開する必要がある。

3 今後の指導

学習した内容の比較や関連付け、総合の過程などを通して、他の時代との共通点や相違点に着目しながら各時代の特色を大きく捉える学習の充実を図る。

○ポイント〔(20を例として)〕

古代では国際的な要素をもった文化が栄え、後に文化の国風化が進んだことを、文化を担った人々などに着目した代表的な事例の学習を通して理解できるよう指導する。

○具体例

7・8世紀頃の国際的な要素をもった文化と、10世紀以降の日本風の特色をもった文化のそれぞれの資料を用い、特色を短い文章にまとめ、他者に向けて説明する。

7・8世紀頃	ア	イ	ウ
			安 以 宇
・聖武天皇	・螺鈿紫檀五絃琵琶	・鳥毛立女屏風	

10世紀以降	エ	オ
		あ い う
・紫式部	・源氏物語絵巻	

- ①古代の文化財のうち7・8世紀頃の国際的な要素をもったもの、10世紀以降の日本風の特色をもったものについて代表的な資料を収集させる。
- ②天皇・貴族、物語の作者などの文化を担った人々に着目させながら、代表的な事例について特色を考えさせる。
- ③それぞれの文化の特色を資料を用い、違いを明らかにして説明させ、学習内容を定着させる。

説明

アとイは、聖武天皇のころに東大寺正倉院に納められたものです。これらに表された人物や服、図柄には、インドや西アジア、中国の影響が見られます。このように7世紀から8世紀にかけては、国際的な要素をもった文化が栄えました。これに対してエの紫式部の作品を題材とした「源氏物語絵巻」は、衣服や壁、床の特色が日本風です。文字もウからオの「平仮名」へと発達しました。このように、10世紀以降、文化の国風化が進みました。

分野	内容	評価規準	通し番号	観 点		
				思考判断表現	技能	知識理解
地理的分野	(1)	・世界の地域構成について、緯度と経度を理解し、その知識を身に付けている。	(1)			○
	(1)	・適切に資料を読み取り、気候の特色をとらえている。	(2)		○	
	(1)	・世界の主な宗教の分布について理解し、その知識を身に付けている。	(3)			○
	(1)	・地球儀の模式図を活用して大陸の位置関係を考察しその結果を適切に表現している。	(4)	○		
	(1)	・世界の各州の地域的特色を自然条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(5)			○
	(1)	・世界の各州の地域的特色を社会的条件と関連付けて理解し、その知識を身に付けている。	(6)			○
	(1)	・アメリカ合衆国の農業について、資料から読み取っている。	(7)		○	
	(1)	・企業が経営する農業について、資料から読み取り、適切に表現している。	(8)		○	
	(2)	・七地方区分の各地方に位置する都道府県の名称と県庁所在地名を理解し、その知識を身に付けている。	(9)			○
	(2)	・日本の領土の位置と範囲を理解し、その知識を身に付けている。	(10)			○
	(2)	・日本の発電の特色を、資料を関連付けて考察し、説明している。	(11)	○		
	(2)	・稲作に適する理由について、資料から読み取れることを関連付けて、適切に表現している。	(12)	○		
歴史的分野	(1)	・歴史上の人物や、時代区分についての基本的な内容を理解し、その知識を身に付けている。	(13)			○
	(2)	・古代の文化の特色の移り変わりを考察し、その結果を適切に表現している。	(14)	○		
	(1)	・他の時代との相違点に着目し、各時代の特色をとらえている。	(15)	○		
	(3)	・東アジア世界との関わりを、古代と比較して理解し、その知識を身に付けている。	(16)			○
	(3)	・中世の社会の変化について、農村と都市の様子を関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(17)	○		
	(4)	・織田・豊臣による統一事業及び江戸幕府による諸政策のねらいを理解し、その知識を身に付けている。	(18)			○
	(4)	・幕府の政治改革について、比較・関連付けて考察し、その結果を適切に表現している。	(19)	○		
	(4)	・絵図、統計を適切に活用し、様々な角度から考察し、公正に判断している。	(20)	○		

中学校 2年 社会 小問別通過率と設定通過率

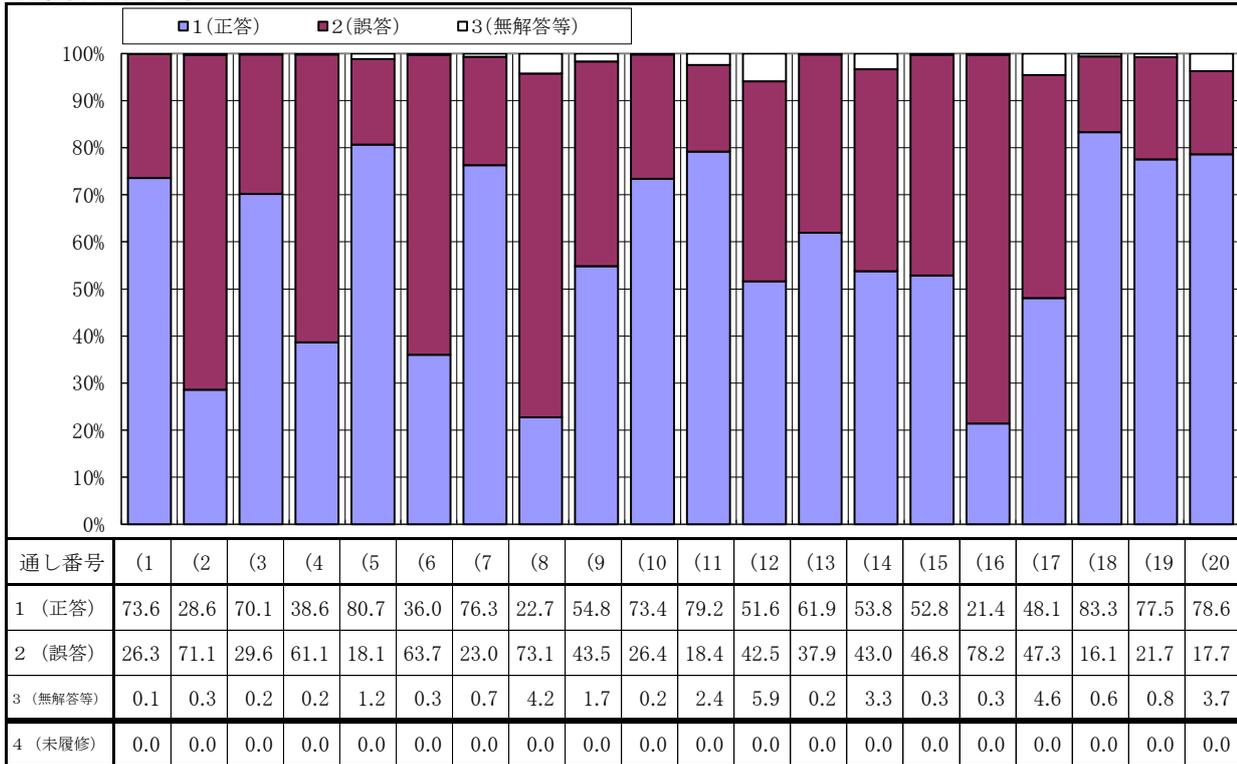
平均通過率 58.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	緯度・経度の理解	73.6%	70.0%	
(2)	世界の特色ある自然環境	28.6%	60.0%	
(3)	世界の主な宗教の分布	70.1%	80.0%	
(4)	地球儀（模式図）の活用と大陸の分布	38.6%	60.0%	
(5)	各州の地域的特色	80.7%	85.0%	
(6)	各州の地域的特色	36.0%	70.0%	
(7)	世界の様々な地域の調査（資料読み取り）	76.3%	80.0%	
(8)	世界の様々な地域の調査（考察）	22.7%	60.0%	
(9)	日本の地方区分、県庁所在地	54.8%	60.0%	
(10)	日本の領土の位置と範囲	73.4%	75.0%	
(11)	日本の発電の特色	79.2%	70.0%	
(12)	我が国の特色ある産業	51.6%	60.0%	
(13)	歴史上の人物と時代区分	61.9%	85.0%	
(14)	古代の文化の移り変わり	53.8%	60.0%	
(15)	我が国の歴史の大きな流れと各時代の特色	52.8%	60.0%	
(16)	古代と中世の比較	21.4%	60.0%	
(17)	中世の農村と都市の変化	48.1%	60.0%	
(18)	織田信長、豊臣秀吉、徳川家光の政策	83.3%	85.0%	
(19)	幕府財政の再建	77.5%	75.0%	
(20)	近世の農業の発達	78.6%	85.0%	

※ |——| は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 社会

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (115校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	2				3		12		2	5	4		1	1				5	3	9	
90%~100%	2		4		22		46		1	18	27	4	3	7			5	26	12	33	
80%~90%	28		24	1	52		28	1	6	27	41	14	5	17	3		12	55	42	29	
70%~80%	52		37	2	25	1	4		17	31	25	14	19	14	5	1	15	24	36	22	10
60%~70%	28	2	33	2	10	5	2		18	20	10	18	35	18	27	3	17	5	17	15	53
50%~60%	2	5	16	11	2	12	3	3	35	9	4	22	38	14	39	1	14		4	3	42
40%~50%	1	18	1	36	1	27	2	13	19	4	3	14	14	22	32	2	17		1	4	10
30%~40%		30		45		38	4	14	12		1	13		13	8	14	15				
20%~30%		33		16		27	4	35	5	1		12		9	1	30	11				
10%~20%		22		2		5	6	42				4				52	4				
0%~10%		5					4	7								12	5				

中学校 2年 社会 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 別		計
	思考・判断・表現	技能	知識・理解	地理的分野	歴史的分野	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	1	6	8	5	13
-10% より低い	2	2	3	4	3	7
計	8	3	9	12	8	20

2 考察

(1) 全体について

全体の平均通過率が58.2であり、昨年度を0.1ポイント下回った。類似問題12問中、昨年度の通過率を10ポイント以上下回った設問が3問あった。各設問で求められている社会的な思考・判断・表現、資料活用の技能、社会的事象についての知識・理解などを分析した上で、それらを着実に育成できるように、指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

- ①地球儀や地図を活用し、地球上の位置を緯度・経度を用いて表したり、日本の領土と位置と範囲を捉えたりすることができている。
- ②文献や絵図、地図、統計など歴史学習に関わる様々な資料を有効活用することで、歴史的事象を、多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できている。

(3) 課題

- ①資料等の客観的事実に基づき解釈する学習活動を展開することが求められる。また、読み取った地理的事象を自分の言葉で表現する学習の充実を図っていく必要がある。
- ②我が国の歴史と関連する世界の歴史を背景に、歴史的事象の特色や事象相互の関連について考察させたり、各時代の特色の違いについて自分の言葉で表現させたりする学習の充実を図っていく必要がある。

3 今後の指導

歴史学習においては、歴史的事象の特色や事象相互の関連について考察したり、各時代の特色について自分の言葉で表現したりする学習活動の充実を図る。

○ポイント [(16を例として)]

生徒が、他の時代との共通点や相違点に着目しながら、各時代の特色を捉え、大きな歴史の流れを理解できるよう、授業で扱う歴史的事象を精選し焦点化した上で、学習活動を展開する。

○具体例

2枚の絵図から分かったことをもとに、単元を貫く学習課題を設定する。

- ①古代の特色を振り返る。
- ②2枚の絵図を読み取らせる。
- ③天皇と武士の立場が逆転した理由を予想させる。
- ④予想をもとに学習課題を設定する。
- ⑤年表をもとに学習計画を立て、見通しをもたせる。(承久の乱、元寇、日明貿易など)

①古代…天皇や貴族が大陸と深い関わりをもちながら政治を展開した。(遣隋使、遣唐使)

②天皇と武士の立場が逆転している

古代 (平安時代)

中世 (南北朝時代)



天皇が武士を従えている



天皇が武士に追われている

③予想したこと

- ・武士と朝廷の大きな戦があったのではないか。
- ・武士が戦で勝って力をつけたのではないか。

④学習課題

武士はどのようにして力をつけていったのだろうか。

4 結果と考察 (3)算数、数学

平成28年度小学校学習状況調査 第4学年 算数 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解	
第3学年	A 数と計算	(3)アイウ 乗法	・2位数×2位数の計算ができる。	(3)		○		
			・筆算の空欄に当てはまる数字を筆算の計算の仕方を基に考えることができる。	(7)	○			
		(5)アイ 小数の意味や表し方	・1/10の位までの小数の減法の計算ができる。	(2)		○		
		(6)アイウ 分数の意味や表し方	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(13)			○	
	B 量と測定	(1)イ 重さの単位と測定	・任意単位を用いた直接比較による測定結果から考えたことが、正しいか、正しくないかを判断し、その理由を説明することができる。	(16)	○			
	C 図形	(1)アイウ 二等辺三角形、正三角形などの図形	・円の半径を利用して正三角形をかくことができる。	(19)		○		
			・二等辺三角形の意味や性質について理解している。	(17)			○	
	D 数量関係	(2)アイ 数量の関係を表す式	・数量の関係を□を用いた式で表すことができる。	(10)		○		
	第4学年	A 数と計算	(1)ア 整数の表し方	・1億と1兆の大きさの関係を理解している。	(4)			○
				・0, 1, 2, 3, 4, 5, 6, 7, 8, 9の10種類の数字で表される10位数の大小を考え、数に表すことができる。	(14)	○		
(2)アイウ 概数と四捨五入			・数を四捨五入して、概数にすることができる。	(5)		○		
			・目的に応じて数を概数にする方法を理解している。	(18)			○	
(3)アイウエ 整数の除法			・3位数÷2位数の計算ができる。	(1)		○		
			・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(9)			○	
			・3位数を1位数で割る筆算の仕方の誤りを判断し、説明することができる。	(11)	○			
			・除法について成り立つ性質を理解している。	(15)			○	
			・除法の筆算で、商の立つ位置と被除数の大きさの関係を考えることができる。	(8)	○			
			・「倍」を求める場面を除法の式で表すことができる。	(6)		○		
D 数量関係		(1)ア 伴って変わる二つの数量	・二つの折れ線グラフから、必要な情報を読み取り、判断の理由を説明することができる。	(20)	○			
		(4)ア 資料の分類整理	・二つの観点から分類整理された表に示された数が表す意味を理解している。	(12)			○	

小学校 4年 算数 小問別通過率と設定通過率

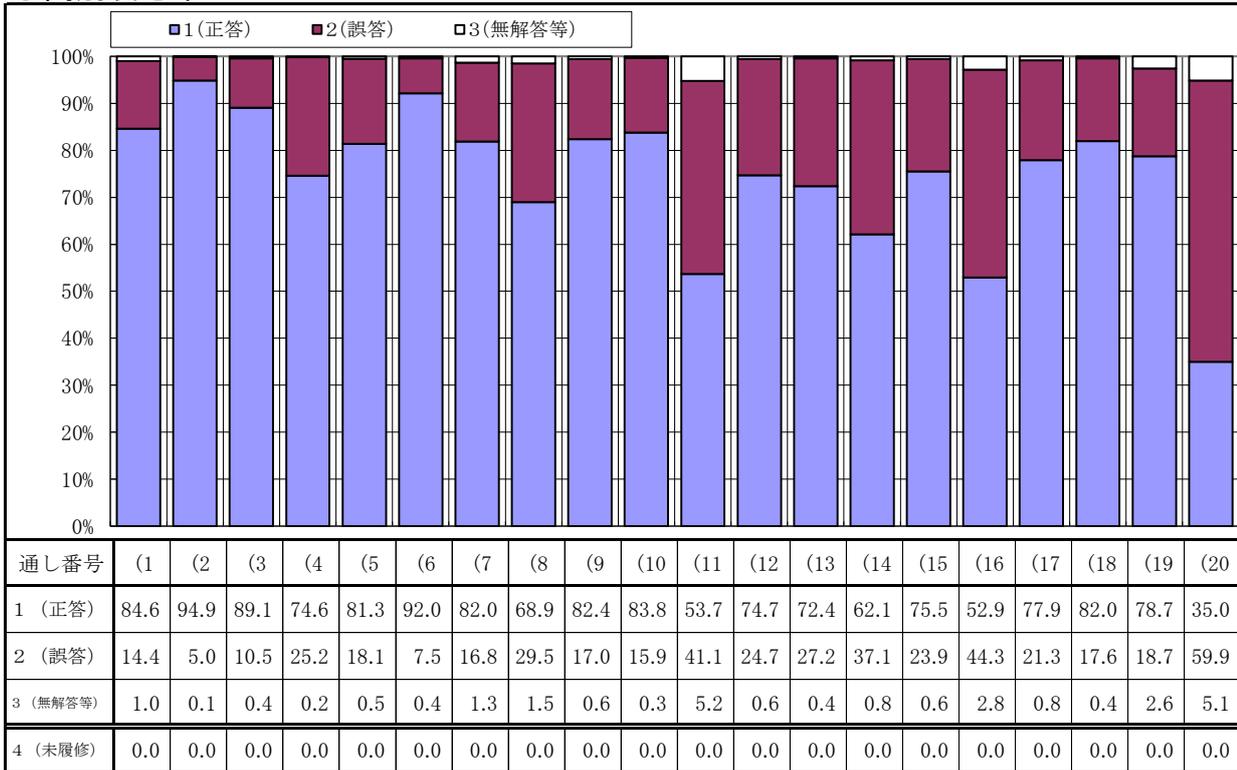
平均通過率 74.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(3位数)÷(2位数)の計算	84.6%	85.0%	
(2)	小数の減法	94.9%	90.0%	
(3)	(2位数)×(2位数)の計算	89.1%	90.0%	
(4)	十進位取り記数法の意味理解	74.6%	65.0%	
(5)	具体的な数の四捨五入	81.3%	70.0%	
(6)	倍についての立式	92.0%	85.0%	
(7)	筆算の仕方	82.0%	75.0%	
(8)	商の立つ位置の判断	68.9%	65.0%	
(9)	基準量と比較量の関係	82.4%	80.0%	
(10)	□を用いた式	83.8%	70.0%	
(11)	3位数÷1位数の筆算の仕方の判断	53.7%	65.0%	
(12)	資料の分類・整理	74.7%	65.0%	
(13)	分数の意味理解と表現	72.4%	60.0%	
(14)	大きな数の大小	62.1%	70.0%	
(15)	除法の性質についての理解	75.5%	70.0%	
(16)	直接比較による具体物の重さの判断	52.9%	65.0%	
(17)	二等辺三角形の意味や性質の理解	77.9%	70.0%	
(18)	日常生活での見積もり	82.0%	75.0%	
(19)	円を活用した正三角形の作図	78.7%	70.0%	
(20)	目的に応じたグラフの活用	35.0%	60.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	32	74	39	24	28	56	20	9	25	26	4	10	13	10	13	2	19	18	24	3	
90%~100%	49	97	69	27	35	91	26	14	37	27	12	16	37	7	19	5	28	38	38	2	8
80%~90%	69	26	73	53	68	48	84	36	79	92	12	58	55	17	57	10	54	74	53	5	63
70%~80%	34	1	13	31	36	4	44	47	37	41	25	36	27	40	53	19	37	48	42	6	87
60%~70%	14	1	3	28	25	1	19	52	18	14	33	38	30	44	39	38	33	13	23	13	38
50%~60%	1		2	18	8		6	28	4		24	25	15	47	16	37	20	7	14	26	4
40%~50%	1			5				8			22	8	8	21	3	39	5	2	2	28	
30%~40%		1	1	11			1	6			39	6	10	9		38	2		2	37	
20%~30%				2							19	2	2	1		9			2	40	
10%~20%											6	1	1	2		2				29	
0%~10%				1							4		2	2		1	2			11	

小学校4年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	0	2	1	2	0	0	1	3
±10% の範囲内	3	5	6	11	0	2	1	14
-10% より低い	3	0	0	1	1	0	1	3
計	6	7	7	14	1	2	3	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 20問中17問が、設定通過率の「±10%の範囲内」又は「+10%より高い」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 観点別に見ると「技能」や「知識・理解」は良好であるが、「考え方」に課題が見られる。

(2) 成果

- ① 十進位取り記数法の意味理解について、昨年度と比べて改善が図られている。
- ② 分数の意味や分数の表し方の意味の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

- ① 3位数を1位数で割る筆算の仕方の誤りを判断し、説明することについて課題が見られる。
- ② 2つの折れ線グラフから、必要な情報を読み取り、判断の理由を説明することに課題が見られる。

3 今後の指導

筆算の仕方について各段階の意味を考察する活動の充実を図る。

【参考 通し番号(11)】

たけしさんは、 $856 \div 8$ を次のように計算しました。

$$\begin{array}{r} 170 \\ 8 \overline{)856} \\ \underline{8} \\ 56 \\ \underline{56} \\ 0 \end{array}$$

たけしさんは計算をまちがえています。どんなまちがいをしているかを の中に書きましょう。

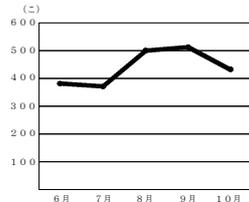
- ・筆算の計算の手順を形式的に指導するのではなく、紙の束などの具体物を分ける操作と関連付け、計算の各段階の意味を考察する活動を取り入れる。
- ・計算の仕方を説明する際に、「わられる数・わる数・～の位・商をたてる・商がたつ(たたない)」などの算数の用語を適切に用いることを大切にする。

折れ線グラフの読み取りについて習熟を図るとともに、複数の折れ線グラフから読み取ったことについて根拠を明らかにして説明する活動の充実を図る。

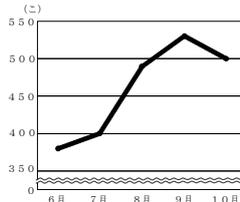
【参考 通し番号(20)】

A小学校とB小学校では、それぞれペットボトルのキャップ集めをしています。集めたキャップの個数を折れ線グラフに表わすと次のようになりました。

集めたキャップの個数 (A小学校)



集めたキャップの個数 (B小学校)



ゆきなさんは、上の2つのグラフの、7月から8月までの集めたキャップの個数の変わり方の様子をくらべて、次のように説明しました。



ゆきなさん

A小学校にくらべてB小学校のほうが、7月から8月までの線のかたむきが急です。だから、A小学校にくらべてB小学校のほうが、7月から8月までの集めたキャップの個数のふえ方は大きいです。

ゆきなさんが言っている、—— 部のごとは、正しくありません。そのわけを、グラフから読み取れる集めたキャップの個数をもとにして、言葉や数を使って の中に書きましょう。

- ・折れ線グラフについて、目盛りの大きさなどに留意して、数量の増減の様子を的確に読み取ることを大切にします。
- ・複数の折れ線グラフを比較する場面を設け、変化の大きさや増え方の大きさの違いについて考察する活動を取り入れる。
- ・軸の目盛りの異なる複数の折れ線グラフを、目盛りが同じになるようにかき直し、重ねて比較するなどの活動を取り入れる。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
第3 学年	A 数と 計 算	(6)アイウ 分数の意味や表し方	・分数の意味や分数の表し方を理解している。	(4)			○
第4 学年	A 数と 計 算	(3)イ 整数の除法	・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(12)			○
		(6)イ 同分母分数の加法, 減法	・(帯分数) - (真分数) の計算ができる。	(1)		○	
	C 図 形	(1)アイ 平行四辺形, ひし形, 台形	・平行四辺形の性質を理解している。	(14)			○
			・ひし形の対角線の性質を基に, 直角三角形を判断することができる。	(19)	○		
			・長方形の対角線の性質を基に, ひし形が作れることの理由を説明することができる。	(20)	○		
		(2)ア 立方体, 直方体など の立体図形	・立方体の展開図から, 平行な面を考えることができる。	(13)	○		
			・直方体の展開図を基に, 見取図に表すことができる。	(6)		○	
	D 数 量 関 係	(1) 伴って変わる二つの 数量	・具体的な事象について, 表から伴って変わる二つの数量の変化を見だし, 数値を求めることができる。	(16)		○	
		(2)ウ 数量の関係を表す式	・伴って変わる二つの数量の関係を表や図を基に考え, ○や△を用いて式に表すことができる。	(17)	○		
		(3)ア 四則に関して成り立 つ性質	・四則の混合した式や()を用いた式にして, 計算の工夫を考えることができる。	(11)	○		
		(4)ア 資料の分類整理	・資料を分類整理する二つの観点について理解している。	(18)			○
	第5 学年	A 数と 計 算	(1)イ 整数の性質	・最小公倍数を用いて, 正方形の一辺の長さを求めることができる。	(9)		○
(2)ア 整数, 小数の記数法			・小数の仕組みや小数の大きさについて理解している。	(15)			○
(3)アイウ 小数の乗法, 除法			・1/10の位までの小数の乗法の計算ができる。	(2)		○	
			・小数の除法について, 商を一の位まで求め, あまりも求めることができる。	(3)		○	
			・小数の乗法について, 整数の場合と同じ関係や法則が成り立つことを用いて, 計算の仕方を考えることができる。	(5)	○		
			・小数の除法における除数と商の大きさの関係を理解している。	(8)			○
B 量と 測 定		(2)イ 体積の単位と測定	・図に示された複合図形の体積の求め方を式に表すことができる。	(7)		○	
C 図 形		(1)イ 平面図形の性質	・合同な三角形をかくために必要な条件を考えることができる。	(10)	○		

小学校 5年 算数 小問別通過率と設定通過率

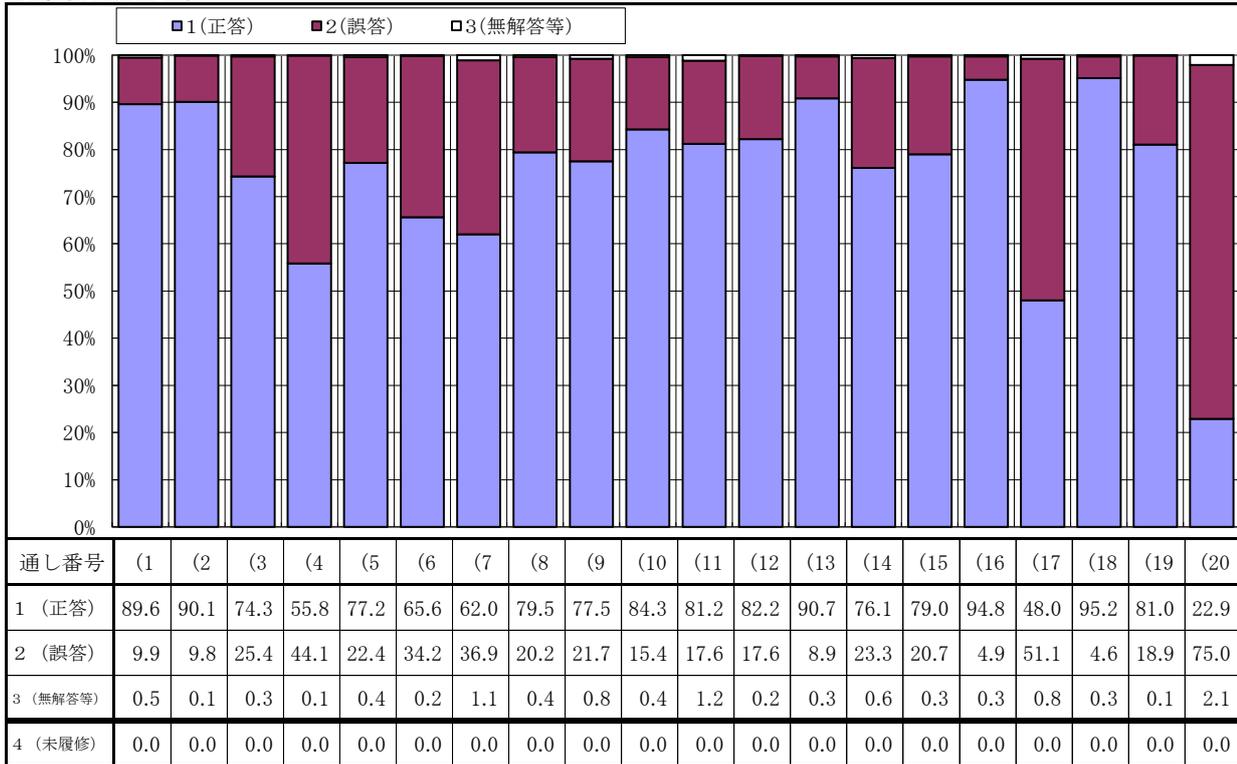
平均通過率 75.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(帯分数) - (真分数) の計算	89.6%	90.0%	
(2)	(小数) × (小数) の計算	90.1%	85.0%	
(3)	(小数) ÷ (小数) の商と余りの大きさを求める計算	74.3%	70.0%	
(4)	分数の意味理解と表現	55.8%	65.0%	
(5)	小数の乗法の計算の仕方	77.2%	70.0%	
(6)	直方体の見取図	65.6%	70.0%	
(7)	複合図形の体積	62.0%	65.0%	
(8)	小数の除法の計算と商の大きさの関係	79.5%	75.0%	
(9)	最小公倍数を適用する場面	77.5%	70.0%	
(10)	合同な三角形の作図の条件	84.3%	75.0%	
(11)	計算の工夫	81.2%	75.0%	
(12)	基準量と比較量の関係	82.2%	80.0%	
(13)	立方体の展開図における平行な面	90.7%	80.0%	
(14)	特別な四角形の性質 (平行四辺形)	76.1%	70.0%	
(15)	小数の仕組みや小数の大きさ	79.0%	70.0%	
(16)	伴って変わる数量の捉え	94.8%	80.0%	
(17)	伴って変わる数量の関係の読み取りと表現	48.0%	60.0%	
(18)	資料の分類・整理	95.2%	80.0%	
(19)	図形の性質に基づいた判断	81.0%	70.0%	
(20)	図形の性質を用いた説明	22.9%	60.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	59	52	21	12	20	13	6	15	20	27	27	21	39	17	18	60	4	73	14	2	
90%~100%	67	73	28	7	17	6	2	27	28	43	49	30	88	23	27	112	1	107	33		7
80%~90%	53	60	48	12	50	43	15	69	52	74	67	79	62	46	67	28	2	19	78	1	56
70%~80%	17	12	47	26	65	44	43	68	55	46	30	50	11	68	54		11	2	54	2	106
60%~70%	4	4	25	34	36	35	60	19	33	9	17	19	1	30	24		28		14	11	30
50%~60%			19	31	8	32	48	3	9	1	9	1		12	11		45		7	14	1
40%~50%	1		9	24	2	17	19		1		1			3			45			13	
30%~40%				26	2	6	6		1								39			22	1
20%~30%			3	18	1	3			1					1			21			32	
10%~20%				6													4			44	
0%~10%			1	5		2	2		1	1	1	1		1		1	1		1	60	

小学校5年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
設定通過率の +10% より高い	2	1	1	0	0	2	2	4
±10% の範囲内	3	6	5	9	1	3	1	14
-10% より低い	2	0	0	0	0	1	1	2
計	7	7	6	9	1	6	4	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②観点別に見ると「技能」や「知識・理解」は良好であるが、「考え方」については課題が見られる。
- ③領域別に見ると「数と計算」や「量と測定」は良好である。

(2) 成果

- ①分数の意味や表し方の理解について、依然として課題はあるものの、第4学年時と比べて改善が図られている。
- ②小数の除法における割る数と余りの大きさの関係に注意して、余りの大きさを求めることについて、昨年度と比べて改善が図られている。
- ③昨年度の類似問題である数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることの理解について、通過率が73.3から82.2に上昇し、改善が図られている。

(3) 課題

- ①直方体の展開図を基に、見取図の続きを表現することについて課題が見られる
- ②示された図形の性質に着目し、他の図形と結び付けて考えたり、根拠を明らかにし、算数の用語を用いて説明したりすることに課題が見られる。

3 今後の指導

直方体の平面上への表現の仕方を通して、図形感覚を豊かにする学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(6)】

みとりず

次の図は、直方体の展開図です。この直方体の見取図の続きをかきましょう。

【展開図】

【見取図】

- ・実際に展開図を組み立て、その概形を平面上に示すために、見取図を3つの面が見える向きでフリーハンドによってかく活動を取り入れ、自分の見方で立体を捉えることを大切にする。
- ・自分の見方で捉えてかいた見取図と、他の見方でかいた見取図の面や辺に着目し、それらに関連付けて考え、位置関係や対応する辺の長さ確かめる活動を取り入れる。
- ・見取図では側面や上下の面が斜めにゆがむこと、奥行き長さや奥行きをもたせるための角度については適当でよいことを押さえ、ホワイトボードの利点を生かして試行錯誤しながらかいたり、直方体の写真の上からトレーシングペーパーで写し取ったりして、図形についての理解を深める活動を取り入れる。

図形の特徴や性質を活用する能力を高めるために、根拠を明らかにし、用語を用いて説明する学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(20)】

図1のように、長方形を2本の対角線で4つに切ります。図1の①と③の三角形を、図2のように組み合わせるとひし形になります。そのわけを、の中に書きましょう。

図1

図2

- ・基本的な図形の特徴や性質を活用する能力を高めるために、「対角線・辺・長さ・等しい」といった算数の用語を的確に用いて、図形の性質を基に、既習の図形を捉え直し、よりよい説明をつくり上げる活動を取り入れる。
- ・いくつかの形を組み合わせると別の形を作ったり、ある形をいくつかの形に分解したりする活動(第1学年)、形を敷き詰める活動(第2学年)等の体験を想起する活動や、もう一度それらの操作を体験する活動を、実態に応じて取り入れる。

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
第4学年	A 数と計算	(3)イ 整数の除法	・数量の関係をテープ図を基に捉え、基準量を求めるために除法を用いることを理解している。	(6)			○
第5学年	A 数と計算	(4)ウ 分数	・整数の除法の結果が分数を用いると、常に一つの数として表されることを理解している。	(2)			○
	B 量と測定	(1)ア 図形の面積	・二つの三角形の面積の大小関係について、三角形の面積の求め方を活用して考えている。	(9)	○		
			・台形の面積を求めることができる。	(5)		○	
		(3)ア 量の大きさの測定値	・二つの集団の平均から集団全体の平均を求めることができる。	(7)		○	
		(4)ア 異種の二つの量の割合	・異種の二つの量の割合として捉えられる数量について、その比べ方を説明することができる。	(13)	○		
	C 図形	(1)アウエ 平面図形の性質	・正多角形について理解している。	(8)			○
			・具体的な場面において、円周の長さの求め方を活用して、式に表すことができる。	(11)		○	
			・多角形の内角の和の求め方を考え、図と式に表し、説明することができる。	(14)	○		
	(2)ア 立体図形の性質	・円柱の底面の周に対応する長さについて説明している。	(20)	○			
	D 数量関係	(2) 数量の関係を表す式	・二つの数量の関係を図や式と関連付けて考え、判断することができる。	(17)	○		
		(3) 百分率	・基準量と割合から比較量を求める式を、表すことができる。	(10)		○	
		(4) 円グラフや帯グラフ	・複数の帯グラフから必要な情報を読み取って、読み取ったことが正しいか、正しくないかの理由を説明することができる。	(16)	○		
	第6学年	A 数と計算	(1)アイウ 分数の乗法、除法	・分数×小数の計算ができる。	(1)		○
・分数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係について理解している。				(3)			○
・分数の除法が用いられる場面を式に表すことができる。				(15)		○	
B 量と測定		(2)ア 円の面積	・円の面積の求め方を図を基に考えている。	(19)	○		
		(4) 速さ	・時速と分速の関係を理解している。	(4)			○
C 図形		(1)イ 対称な図形	・点対称な図形について理解している。	(18)			○
D 数量関係	(3)ア 文字を用いた式	・問題文から数量の関係を読み取り、数量の関係を文字を用いて表すことができる。	(12)	○			

小学校 6年 算数 小問別通過率と設定通過率

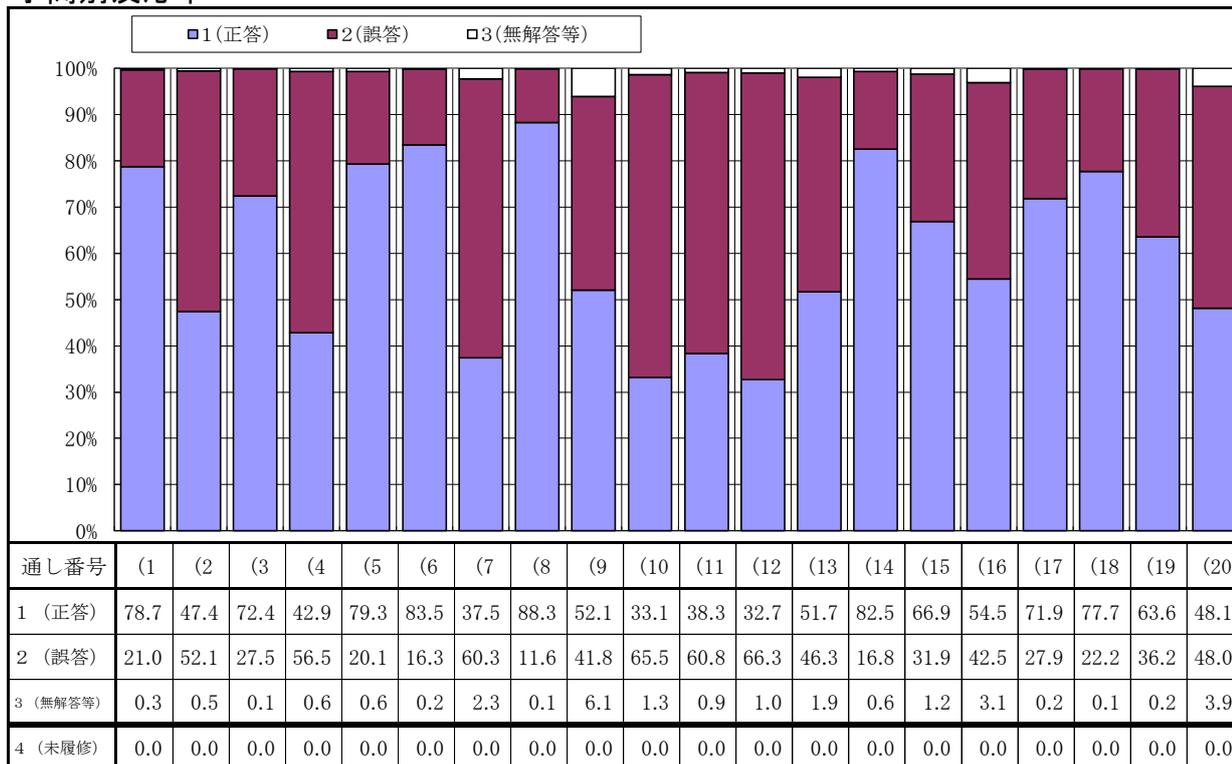
平均通過率 60.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	分数×小数の計算	78.7%	75.0%	
(2)	分数の意味	47.4%	80.0%	
(3)	分数計算における乗数と積, 除数と商の関係	72.4%	70.0%	
(4)	時速と分速の関係	42.9%	70.0%	
(5)	台形の面積	79.3%	80.0%	
(6)	基準量と比較量の関係	83.5%	85.0%	
(7)	複数の平均値を基にした全体の平均値の求め方	37.5%	60.0%	
(8)	正多角形の理解	88.3%	90.0%	
(9)	三角形の面積の求め方の活用	52.1%	60.0%	
(10)	割合を含んだ数量の関係	33.1%	60.0%	
(11)	円周の長さの求め方	38.3%	60.0%	
(12)	文字を用いた式	32.7%	60.0%	
(13)	単位量当たりの大きさ	51.7%	60.0%	
(14)	多角形の内角の和	82.5%	80.0%	
(15)	分数の除法の場面を式で表現	66.9%	70.0%	
(16)	必要な情報の読み取りと, 数学的な説明	54.5%	60.0%	
(17)	□や○などを用いた式	71.9%	70.0%	
(18)	点対称についての理解	77.7%	80.0%	
(19)	図を基にした円の面積の求め方	63.6%	70.0%	
(20)	底面の周の長さとお筒の側面の関係	48.1%	60.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 算数

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (202校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	24	6	11	3	21	20	4	36	2		2	1	2	28	12	10	11	20	9	5	
90%~100%	16	17	13	4	27	33		66	1	3		1		35	8	8	12	19	15	1	
80%~90%	72	16	47	6	70	93	4	79	14	1	4	4	6	75	36	9	43	62	20	10	14
70%~80%	57	22	56	8	51	38	12	16	14	7	11	9	22	44	57	26	62	69	34	13	34
60%~70%	20	19	49	18	26	12	22	3	33	7	16	12	35	14	35	41	48	26	39	34	66
50%~60%	10	21	19	32	5	4	26	2	62	15	25	20	58	4	26	41	22	4	42	36	66
40%~50%	1	17	4	44	1		34		45	25	35	21	45	2	14	27	2	2	24	48	19
30%~40%	1	30	1	52		1	36		23	54	54	45	23		9	23			15	37	3
20%~30%		27	1	23			34		5	54	37	48	8		4	14	2		2	13	
10%~20%		13		7			16			28	13	31				2			1	4	
0%~10%	1	14	1	5	1	1	14		3	8	5	10	3		1	1			1	1	

小学校6年 算数 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	考え方	技能	知識・理解	数と計算	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	3	4	4	4	3	2	13
-10% より低い	2	3	2	1	2	2	2	7
計	8	6	6	5	6	5	4	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中13問が、設定通過率の「±10%の範囲内」でおおむね良好な状況である。設定通過率の「-10%より低い」問題の7問中4問が新問である。
- ②観点別に見ると「技能」に課題が見られる。領域別に見ると「数と計算」はおおむね良好であるが、「数量関係」に課題が見られる。

(2) 成果

- ①分数の計算における乗数と積の大きさ、除数と商の大きさの関係の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。
- ②多角形の内角の和の求め方を考え、図と式に表し、説明することについて、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

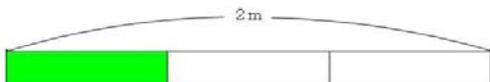
- ①整数の除法の結果は分数を用いると常に一つの数として表されることの理解について課題が見られる。
- ②基準量と割合から比較量を求める式を表すことに課題が見られる。

3 今後の指導

各学年で学習する分数の意味を再確認し、一人一人のつまずきに対応する学習活動を取り入れる。

【参考 通し番号(2)】

次の図のように、長さ2mのテープを3等分するとき、色をぬった部分の長さは何mですか。
 答えを分数で の中に書きましょう。



- ・全体量を a 等分した一つ分の大きさと単位量を a 等分した一つ分の長さの違いを捉えることができるよう、テープなどの具体物を用いて表して長さを比較する学習活動を取り入れる。
- ・ a m を b 等分したときの一つ分の長さを求める式が $a \div b$ であり、その商が $\frac{a}{b}$ と分数で表されることについて理解できるよう、2 m を 3 等分した一つ分の長さは 1 m を 3 等分したときの二つ分の長さになるなど、具体の数値を用いて説明する学習活動を取り入れる。

基準量、比較量、割合の数量関係について、具体を通して捉えることができる学習活動を取り入れる。

【参考 通し番号(10)】

ある店で、定価が450円の商品Aを1個買います。450円の定価に8%の消費税を加えて代金をはらいました。代金を求める式を の中に書きましょう。
 ただし、計算の答えを書く必要はありません。

- ・百分率の意味を理解できるよう、百分率が用いられている日常生活の事象において、その数値の意味を探る学習活動を取り入れる。
- ・比較量は、基準量である100% (1) に、割合である8% (0.08) を加えた数であることを理解できるよう、具体の数値を図や数直線に表す学習活動を取り入れる。

平成28年度中学校学習状況調査 第1学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年 域	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
小 学 校 第 6 学 年	A 数と 計 算	(1)イ 分数の乗法, 除法	・分数×小数の計算ができる	(1)		○	
		B 量と 測 定	(3)ア 角柱及び円柱の体積	・円柱の体積を求める式を表すことができる。	(14)		○
	(5) メートル法の単位の 仕組み		・面積の単位の関係を理解している。	(6)			○
	C 図 形	(1)ア 縮図や拡大図	・拡大図の意味を理解している。	(13)			○
			・拡大図や縮図の考え方をを用いて実測できない長さを求める方法を説明することができる。	(15)	○		
	D 数 量 関 係	(2)アイウ 比例	・反比例の関係にある2つの数量の変化や対応の特徴を理解している。	(7)			○
			・比例の関係をを用いて指示された数量を求める方法を説明することができる。	(12)	○		
		(4)イ 資料の考察	・柱状グラフから読み取ったことを根拠にして判断した理由を説明することができる。	(10)	○		
		(5) 起こり得る場合	・起こり得る場合を, 落ちや重なりがないように順序よく整理して調べることができる。	(11)		○	
	中 学 校 第 1 学 年	A 数と 式	(1)エ 正の数・負の数	・基準との差を表した正負の数から, 実際の値の平均を求めることができる。	(16)		○
(2)アイウエ 文字を用いた式			・一次式と数の除法の計算ができる。	(2)		○	
			・文字を用いた式に負の数を代入して, 式の値を求めることができる。	(3)		○	
			・数量の関係を不等式で表すことができる。	(5)		○	
			・文字式が表す意味を読み取ることができる。	(17)		○	
			・文字式が表すマッチ棒の本数の求め方を, 図と関連付けて説明することができる。	(20)	○		
(3)アイウ 一元一次方程式			・一元一次方程式の解の意味を理解している。	(9)			○
			・移項と等式の性質の関係を理解している。	(8)			○
			・係数が分数の一次方程式を解くことができる。	(4)		○	
			・2通りの式で表すことができる数量を見付け, 文字を用いた式で表すことができる。	(18)		○	
	・日常生活の具体的問題を解決する場面において, 比の相等関係を捉えて比例式をつくること ができる。	(19)	○				

中学校 1年 数学 小問別通過率と設定通過率

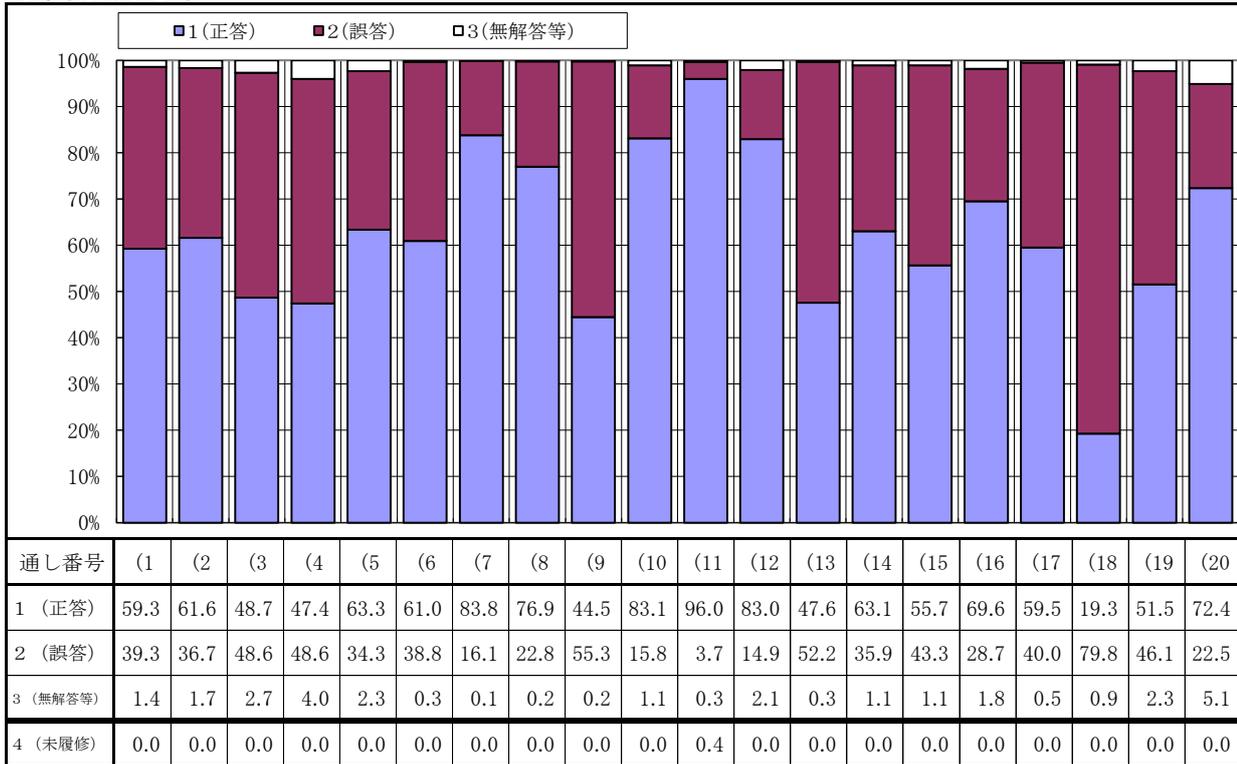
平均通過率 62.4%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0%	100%
(1)	分数×小数の計算	59.3%	75.0%		
(2)	一次式と数の除法	61.6%	70.0%		
(3)	式の値	48.7%	70.0%		
(4)	分数係数の一次方程式	47.4%	70.0%		
(5)	不等式を用いた表現	63.3%	70.0%		
(6)	面積の単位の関係	61.0%	60.0%		
(7)	比例と反比例の判断	83.8%	75.0%		
(8)	等式の性質の利用	76.9%	80.0%		
(9)	一次方程式の解の意味	44.5%	60.0%		
(10)	柱状グラフの読み取り	83.1%	80.0%		
(11)	起こりうる場合の数	96.0%	90.0%		
(12)	比例の利用	83.0%	80.0%		
(13)	拡大図の意味	47.6%	75.0%		
(14)	円柱の体積	63.1%	70.0%		
(15)	拡大図や縮図の利用	55.7%	65.0%		
(16)	仮平均を用いた平均の求め方	69.6%	70.0%		
(17)	文字を用いた式の読み取り	59.5%	65.0%		
(18)	一次方程式の利用	19.3%	60.0%		
(19)	比例式の立式	51.5%	60.0%		
(20)	文字を用いた説明	72.4%	65.0%		

※|——| は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (116校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	1	2			2		4	5		2	29	6				2	1	1		2	
90%~100%	2	2			1	1	21	9		28	75	17		3	1	4				10	
80%~90%	2	16		2	11	3	62	34	2	52	12	60		10	3	17	10		9	31	2
70%~80%	16	13	3	7	28	11	20	42	2	29		26	2	17	14	34	12		17	33	11
60%~70%	25	30	17	13	35	49	8	19	7	3		5	13	39	28	39	36	1	16	22	63
50%~60%	45	28	28	36	28	39	1	7	20	1		2	43	33	32	16	29	1	29	11	39
40%~50%	20	15	40	25	7	11			39				30	11	28	3	20	2	15	7	1
30%~40%	4	7	22	20	3	1			35	1			21	1	7	1	5	5	18		
20%~30%	1	2	5	11		1			6				5	1	2		1	34	8		
10%~20%			1	1					3				1		1		1	62	3		
0%~10%		1		1	1				2				1	1			1	10	1		

中学校 1 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と計算 数と式	量と測定	図形	数量関係	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	5	6	3	7	2	1	4	14
-10% より低い	0	4	2	5	0	1	0	6
計	5	10	5	12	2	2	4	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 小学校の問題に関する通過率は、9 問中 7 問が設定通過率の「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ② 中学校の問題に関する通過率は、11 問中 4 問が設定通過率の「-10%より低い」であり、昨年度同様「一元一次方程式」の学習内容について課題が見られる。

(2) 成果

- ① 表から 2 つの数量の変化や対応の特徴を調べ、反比例の関係を見いだすことについて、昨年度と比べて改善が図られている。
- ② 文字式が表す数量の求め方を読み取り、その求め方を図を用いて説明することについて、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

- ① 一次方程式の解の意味の理解について課題が見られる。
- ② 方程式を利用して問題解決する場面で、問題の中の数量やその関係から、2 通りに表すことのできる数量を見いだすことについて課題が見られる。

3 今後の指導

一元一次方程式の解の意味の習得と定着を目指した学習活動活動の充実を図る。

[参考 通し番号(9)]

一次方程式 $2x = x + 4$ の左辺と右辺それぞれの x に 4 を代入すると、次のような計算をすることができます。

$$2x = x + 4 \text{ について, } x = 4 \text{ のとき,}$$

$$(\text{左辺}) = 2 \times 4 = 8 \quad (\text{右辺}) = 4 + 4 = 8$$

このとき、方程式の解についていえることを、下のア～エの中から 1 つ選んで、その記号を書きなさい。

- ア この方程式の解は 4 と 8 イ この方程式の解は 4
ウ この方程式の解は 8 エ この方程式の解は 4 でも 8 でもない

- ・ 解の意味の習得に向け、様々な数を方程式の文字に代入して解を見付ける活動を取り入れる。代入した値と式の値を明確に区別することを大切にする。
- ・ 解の意味の定着に向け、方程式を解いた後、求めた値をもとの方程式に代入して式が成り立つことを確かめる活動を取り入れる。

問題解決の場面で方程式を利用できるようにするために、問題文の中の数量の関係を方程式に表す学習活動の充実を図る。

[参考 通し番号(18)]

(前略) ①にはア～ウからあてはまるものを 1 つ選んでその記号を、②にはあてはまる式を書きなさい。

【問題】

かごに入っているみかんを何人かの子どもに配ります。1 人に 6 個ずつ配ると 4 個不足し、5 個ずつ配ると、4 個余ります。子どもの人数を求めなさい。

〔考え方〕

子どもの人数を求めるために、子どもの人数を x 人として方程式をつくります。はじめに、【問題】の中の数量から、2 通りの式で表すことのできる数量を探します。2 通りの式で表すことのできる数量は、(①)です。次に、(①)を x を使った式で表すと、 $6x - 4$ と (②)になるので、方程式をつくると、 $6x - 4 =$ (②) になります。

- ア 子どもの人数 イ 配ったみかんの個数
ウ はじめにかごに入っていたみかんの個数

- ・ 問題文の中から数量を取り出し、表や図に整理する場面や、整理した表や図を見直す場面を設定し、相等関係にある数量を見いだす活動を取り入れる。
- ・ 「不足」や「余り」等の数量の関係を表す言葉に着目させ、「何と何の関係を表している言葉なのか」「どのような条件のときにその関係があるのか」等、表や図の中に整理する数量や、整理する際の視点を意識することを大切にする。

平成28年度中学校学習状況調査 第2学年 数学 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					考 え 方	技 能	知 識 ・ 理 解
小学 校第 6学 年	A 数と 計算	(1)イ 分数の乗法, 除法	・分数×小数の計算ができる。	(1)		○	
中 学 校 第 1学 年	A 数と 式	(3)ア 一元一次方程式	・一元一次方程式の解の意味を理解している。	(2)			○
	B 図 形	(1)アイ 平面図形	・回転移動について理解している。	(6)			○
			・角の二等分線の作図ができる。	(10)		○	
		(2)アウ 空間図形	・球の表面積を求めることができる。	(7)		○	
			・空間における2直線の位置関係について考え, 説明することができる。	(15)	○		
	C 関 数	(1)イエ 比例・反比例	・比例のグラフの特徴を比例定数と関連付けて理解している。	(11)			○
			・反比例のグラフ上の点の座標を求めることができる。	(12)		○	
	D 資 料 の 活 用	(1)ア 資料の散らばりと代表値	・目的に応じて, 代表値や範囲のうち, どれを調べるべきかを考え, 判断することができる。	(8)	○		
			・近似値を(整数部分が1桁の数)×(10の累乗)の形に表すことを理解している。	(9)			○
	中 学 校 第 2学 年	A 数と 式	(1)アイウ 式の計算	・乗法と除法の混じった文字式の計算の仕方を理解している。	(5)		
・等式を目的に応じて変形することができる。				(3)		○	
・連続する3つの数の和が3の倍数になることを, 文字式を使って説明することができる。				(19)	○		
・条件を5つの数の和に変えて発展的に考え, 予想した事柄を説明することができる。				(20)	○		
(2)イウ 連立方程式		・連立方程式を解くことができる。	(4)		○		
		・式が表す数量の関係を読み取り, 説明することができる。	(16)	○			
C 関 数		(1)イウエ 一次関数	・一次関数のグラフの特徴を理解している。	(17)			○
			・グラフ上の2点の座標から一次関数の式を求めることができる。	(13)		○	
	・二元一次方程式の解を座標とする点の集合は直線として表されることを理解している。		(14)			○	
	・具体的な事象の問題をグラフを利用して解決する方法を説明することができる。		(18)	○			

中学校 2年 数学 小問別通過率と設定通過率

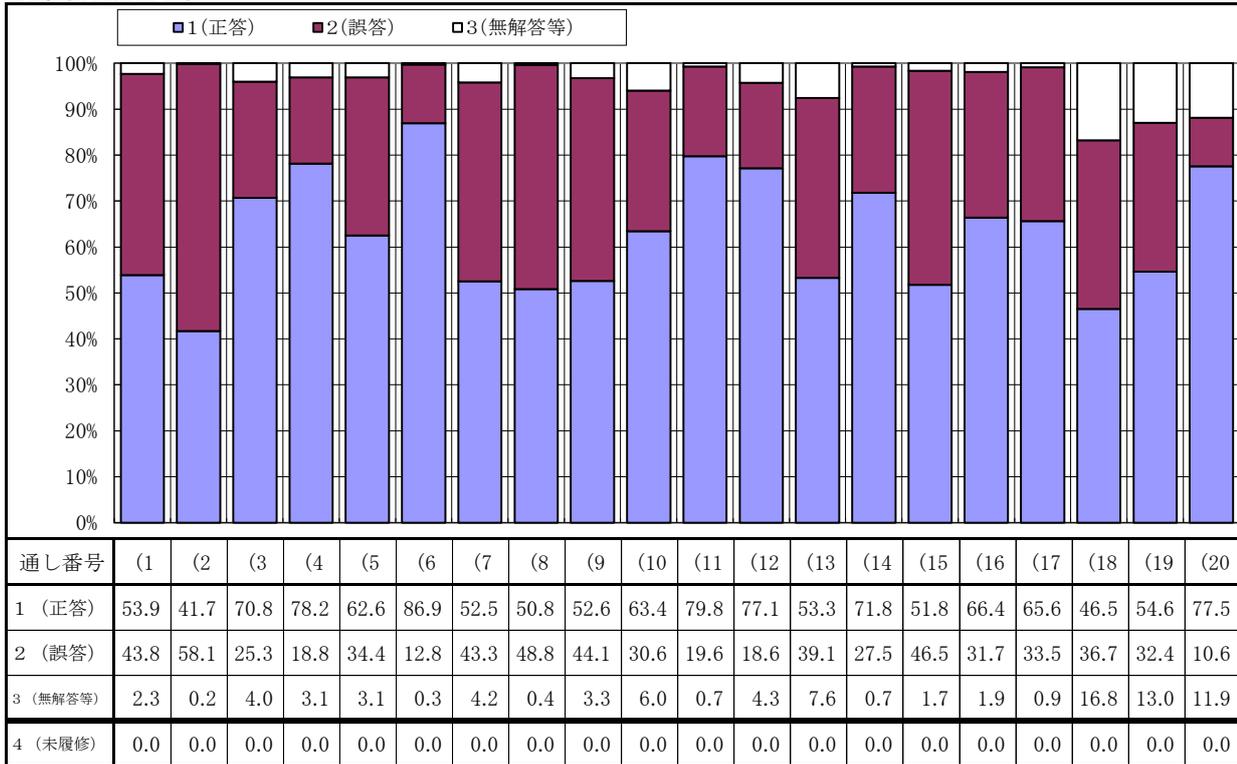
平均通過率 62.9%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	分数×小数の計算	53.9%	80.0%	
(2)	一次方程式の解の意味	41.7%	70.0%	
(3)	等式変形	70.8%	80.0%	
(4)	連立方程式の計算	78.2%	80.0%	
(5)	単項式の乗法・除法	62.6%	70.0%	
(6)	平面図形の移動	86.9%	85.0%	
(7)	球の表面積	52.5%	60.0%	
(8)	代表値の選択	50.8%	75.0%	
(9)	近似値のa × 10^nの形での表し方	52.6%	80.0%	
(10)	特定の大きさの角の作図	63.4%	70.0%	
(11)	比例のグラフ	79.8%	80.0%	
(12)	反比例のグラフの座標	77.1%	70.0%	
(13)	一次関数の式	53.3%	60.0%	
(14)	二元一次方程式の解	71.8%	60.0%	
(15)	空間における2直線の関係	51.8%	60.0%	
(16)	二元一次方程式が表す数量の関係	66.4%	75.0%	
(17)	一次関数のグラフの理解	65.6%	65.0%	
(18)	一次関数の利用 (解決方法の説明)	46.5%	60.0%	
(19)	文字式の証明	54.6%	60.0%	
(20)	数量の関係の説明	77.5%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 数学

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (115校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	1		3	8	1	9		2	1	1	2	4		6						3	
90%~100%	1		3	9	2	36	1		1	3	16	11		16		2			1	8	
80%~90%	5	1	20	33	7	56	7			13	46	39	4	27	1	9	19	1	5	49	2
70%~80%	11	3	35	49	23	13	18	9	7	31	35	41	5	22	8	28	27	9	14	37	20
60%~70%	20	3	37	13	38	1	23	20	14	29	12	13	22	19	19	46	38	17	20	12	59
50%~60%	32	19	14	1	32		25	29	47	25	3	6	40	14	37	23	18	27	38	3	29
40%~50%	35	32	1	2	10		23	34	33	6	1		25	7	32	3	9	20	23	3	4
30%~40%	9	38	1		1		7	15	11	5			13	4	13	3	4	28	11		1
20%~30%	1	15	1		1		5	5	1	2		1	4		5	1		11	3		
10%~20%		2					2	1					1					2			
0%~10%		2					4						1								

中学校 2 年 数学 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	見方・考え方	技能	知識・理解	数と式	図形	関数	資料の活用	
+10% より高い	0	0	1	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	4	6	4	6	4	4	0	14
-10% より低い	2	1	2	2	0	1	2	5
計	6	7	7	8	4	6	2	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 20問中15問が、設定通過率の「±10%の範囲内」又は「+10%より高い」でおおむね良好な状況であるが、基礎的・基本的な内容の定着について若干課題がある。
- ② 観点別では、「知識・理解」や「見方・考え方」にやや課題が見られる。領域別に見ると「数と式」や「資料の活用」に課題が見られる。

(2) 成果

- ① 二元一次方程式の解を座標とする点の集合が直線として表されることの理解について、昨年度と比べて改善が図られている。
- ② 一次関数のグラフの特徴の理解について、昨年度と比べて改善が図られている。

(3) 課題

- ① 目的に応じて、代表値や範囲のうち、どれを調べるべきかを考え、判断することに課題が見られる。
- ② 具体的な事象の問題をグラフを利用して解決する方法を説明することに課題が見られる。

3 今後の指導

代表値や範囲の必要性和意味を理解するとともに、資料の特徴や、代表値や範囲を用いる目的を明らかにし、どの値を用いるとよいかを考察する活動の充実を図る。

【参考 通し番号(8)】

あるくつメーカーが、来年、製造するくつのサイズについて考えています。一番多く製造するくつのサイズを決めるためには、次のア～エのうち、どれを調べればよいですか。最も適切なものを1つ選んで、その記号を書きなさい。

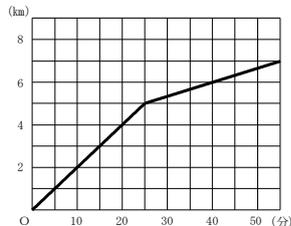
- ア 今年1年間に売れたくつのサイズの平均値
- イ 今年1年間に売れたくつのサイズの中央値(メジアン)
- ウ 今年1年間に売れたくつのサイズの最頻値(モード)
- エ 今年1年間に売れたくつのサイズの範囲

- ・ 平均値、中央値、最頻値が異なる値になる資料や、平均値は等しいが範囲が異なる資料を取り上げ、代表値や範囲を用いて資料の傾向を説明する活動を取り入れる。
- ・ 分布が非対称であったり、極端にかけ離れた値がある場合や、代表値を用いる目的から、平均値が代表値としてふさわしくない場合を取り上げ、代表値や範囲のうち、どれを用いるべきかを判断し、根拠を明らかにして説明する活動を取り入れる。

グラフを具体的な事象と関連付けて解釈することができるようにするとともに、グラフを利用して問題を解決する方法を説明し伝え合う学習活動の充実を図る。

【参考 通し番号(18)】

美穂さんは、家から駅まで行くのに、家から途中にある公園までは自転車で行き、公園から駅までは歩いて行きました。次のグラフは、美穂さんが家を出発してからの時間と家から進んだ道のりの関係を表したものです。



美穂さんが家を出発してから20分後に、美穂さんの忘れ物に気づいた弟の健太さんは、自転車に乗って家を出発し、時速18kmの速さで同じ道を追いかけました。

このとき、弟の健太さんが美穂さんに追いついたのが、美穂さんが家を出発してから何分後なのかは、上のグラフを利用すると求めることができます。求める方法を説明しなさい。ただし、実際に何分後なのかを求める必要はありません。

- ・ 「公園が家から何kmのところにあるか」や「美穂さんが公園から駅まで歩いたときの速さは時速何kmか」などをグラフから捉え、説明する活動を取り入れ、グラフ上の点やグラフの傾きが具体的な事象では何を表しているかを解釈することを大切にする。
- ・ 弟の健太さんが美穂さんに追いついたのが、美穂さんが家を出発してから何分後なのかを求めた後、グラフを利用して問題を解決する方法を説明し合い、それぞれの説明を比較・検討する活動を取り入れる。その際、表・式・グラフなどの「用いるもの」とその「用い方」について説明できるようにすることが大切である。活動を通して、美穂さんと弟の健太さんのグラフの交点の座標が何を意味するのかを確認するとともに、グラフを用いることのよさを感得することを大切にする。

4 結果と考察 (4)理科

平成28年度小学校学習状況調査 第4学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 3 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(1)ア	・物の形を変える前と変えた後の重さを比較したときの、物の形と重さの関係について考え、表現している。	(1)	○		
		(2)イ	・ゴムののびと物を動かす働きを考察し、表現している。	(3)	○		
		(4)ア	・磁石に引き付けられる物と引き付けられない物について、磁石を使って区別できる理由を考察し、表現している。	(4)	○		
	B 生 命 ・ 地 球	(1)イ	・身近な昆虫の体のつくりを理解している。	(2)			○
		(3)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(5)		○	
第 4 学 年	A 物 質 ・ エ ネ ル ギ ー	(3)ア	・回路に流れる電流を強くするために、電池を直列つなぎにして回路をつくっている。	(6)		○	
		(3)イ	・光電池に当てる光の強さと、回路を流れる電流の強さを関係付けて考察し、表現している。	(7)	○		
	B 生 命 ・ 地 球	(1)イ	・体を動かすための関節があることを理解している。	(8)			○
		(1)イ	・体を動かすための筋肉の動きを理解している。	(9)			○
		(3)ア	・1日の天気の様子から気温の変化を考え、表現している。	(10)	○		
		(4)ア	・月を観察し、適切に記録している。	(11)		○	
		(4)ア	・月が動く方向を理解している。	(12)			○

小学校 4年 理科 小問別通過率と設定通過率

平均通過率 82.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	物と重さ	98.5%	80.0%	
(2)	昆虫の体のつくり	93.2%	80.0%	
(3)	ゴムの働き	70.1%	70.0%	
(4)	磁石の性質	83.5%	70.0%	
(5)	方位磁針の使い方	79.6%	75.0%	
(6)	電気の働き	78.5%	70.0%	
(7)	光電池の働き	96.3%	75.0%	
(8)	関節の働き	97.6%	80.0%	
(9)	筋肉の動き	59.8%	70.0%	
(10)	天気と1日の気温の変化	82.6%	75.0%	
(11)	月の観察	71.2%	75.0%	
(12)	月の動き	82.1%	80.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

小学校 4年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (200校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	平均通過率
100%	129	77	30	31	22	23	78	120	3	22	14	36	2
90%~100%	66	80	40	42	26	27	104	75	7	27	23	36	35
80%~90%	5	35	36	63	73	58	18	5	17	86	39	62	110
70%~80%		5	19	37	40	52			27	51	41	37	49
60%~70%		2	19	24	28	25			42	14	50	15	4
50%~60%		1	13	3	8	8			60		11	10	
40%~50%			8		3	4			30		9	1	
30%~40%			12			1			11		10	3	
20%~30%			9			1			3		2		
10%~20%			10			1					1		
0%~10%			4										

小学校 4 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	3	0	2	3	2	5
±10% の範囲内	2	3	1	2	4	6
-10% より低い	0	0	1	0	1	1
計	5	3	4	5	7	12

2 考察

(1) 全体について

- ①12問中11問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②「観察・実験の技能」に関する設問(5、6、11の通過率の平均は76.4であり、他の観点に関する設問に比べて低く、指導の一層の充実を図る必要がある。

(2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、6問全てにおいて通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。特に、昨年度の課題であった電気回路に関する設問の通過率は、昨年度より20.9ポイント上昇し、78.5であった。
- ②観点が「科学的な思考・表現」の設問は、通過率の平均が86.2であり、他の観点に比べて高く、学習内容の定着が図られている。

(3) 課題

- ①過年度出題の類似問題(9「腕を伸ばすときの筋肉の働き」)についての設問の通過率は、59.8である。昨年度より1.2ポイント上昇しているものの、人の体のつくりと運動に関する内容については一層の定着を図る必要がある。
- ②月の観察についての設問(11の通過率は71.2で、他の内容より低い傾向にある。天体の観察に関する技能の定着については、指導の改善を図る必要がある。

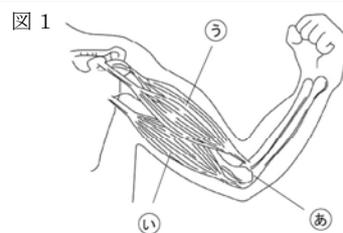
3 今後の指導

一人一人が問題解決の過程を通して学習内容を確実に身に付けることができるよう、指導の手立てを工夫する。

【参考 通し番号 (9)】

図1は、うでを曲げたときのほねと筋肉のようすを表したものです。うでを図2のようにのばすとき、図1の①と②の筋肉はそれぞれどのようなになりますか。次のア～エから正しい組み合わせを1つ選んで、□の中に記号を書きなさい。

- ア ①の筋肉はゆるみ、②の筋肉もゆるむ
 イ ①の筋肉はちぢみ、②の筋肉もちぢむ
 ウ ①の筋肉はちぢみ、②の筋肉はゆるむ
 エ ①の筋肉はゆるみ、②の筋肉はちぢむ



- ・児童が自分の体に直接触れることを手掛かりとして、骨の位置や筋肉の存在を調べるようにする。実際に調べる際には、腕や足で硬いところとやわらかいところが分布しているのか、これまでの経験を基にして予想させてから調べるようにする。
- ・腕を筒に入れるなどして肘の部分固定したままで水を飲めるか確かめてみるなど、体感を通して関節の存在に気付かせ、関節が体のつくりと動きの要であることを捉えられるようにする。
- ・腕を曲げたり伸ばしたりしたときに、筋肉の硬さが増している部分や緩んでいる部分があることに気付かせ、腕の曲げ伸ばしと筋肉の硬さの変化を関係付けて捉えられるようにする。
- ・他の動物の体のつくりや動きを観察したり、触れたりしながら、人の体のつくりと運動との関係を捉えられるようにする。
- ・実際に骨や筋肉を見ることはできないため、骨格標本や筋肉標本、映像資料などを提示し、自分の体と対比して骨や筋肉、関節の働きを捉えられるようにする。
- ・体のつくりと運動について、「骨」「筋肉」「関節」等の言葉を使用して説明する機会を繰り返し設定するなど、基礎的・基本的な知識を活用することを通して理解を深めるようにする。

平成28年度小学校学習状況調査 第5学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	区分	内容	評価規準	通し 番号	観 点		
					思考 表現	技能	知識 理解
第 4 学 年	B 生命・ 地球	(2)イ	・季節による植物の成長の様子を理解している。	(1)			○
		(2)ア	・季節による動物の活動の様子を理解している。	(2)			○
		(4)ウ	・星座早見の使い方を身に付けている。	(3)		○	
	A 物質・ エネルギー	(2)ウ	・水を冷やしたときの温度変化の様子を、測定した結果を基にしてグラフで表している。	(4)		○	
		(2)ウ	・実験の結果から、水が氷になるときの体積の変化について考え、表現している。	(5)	○		
		(2)ア	・温度の違いによる空気の体積変化を捉えるための実験の方法を考え、表現している。	(6)	○		
		(2)イ	・空気の温まり方についての仮説に対する結果の見通しをもち、表現している。	(7)	○		
		(2)イ	・空気の温まり方について、実験結果を基にして考え、仮説を修正している。	(8)	○		
		(1)ア	・実験結果を基にして、空気の性質について考え、表現している。	(9)	○		
		(1)イ	・閉じ込められた空気や水を圧したときの体積の変化について理解している。	(10)			○
		(2)イ	・金属は熱せられた部分から順に温まることを理解している。	(11)			○
第 5 学 年	B 生命・ 地球	(1)エ	・実験結果から、受粉の仕組みについて考え、表現している。	(12)	○		
		(4)ア	・方位磁針を適切に操作する技能を身に付けている。	(13)		○	
		(4)ア	・雲の量と天気の関係について理解している。	(14)			○
		(4)イ	・観察の結果を基にして、天気の変化について考察し、表現している。	(15)	○		
		(1)ア	・ヨウ素液は、デンプンがあると青紫色に変わることを理解している。	(16)			○
		(1)ア	・実験結果から、デンプンと発芽の関係について考え、表現している。	(17)	○		
		(1)ウ	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画し、表現している。	(18)	○		
		(2)ア	・ヒメダカの体の形の特徴を基にして、雌雄の区別がつくことを理解している。	(19)			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切に操作する技能を身に付けている。	(20)		○	

小学校 5年 理科 小問別通過率と設定通過率

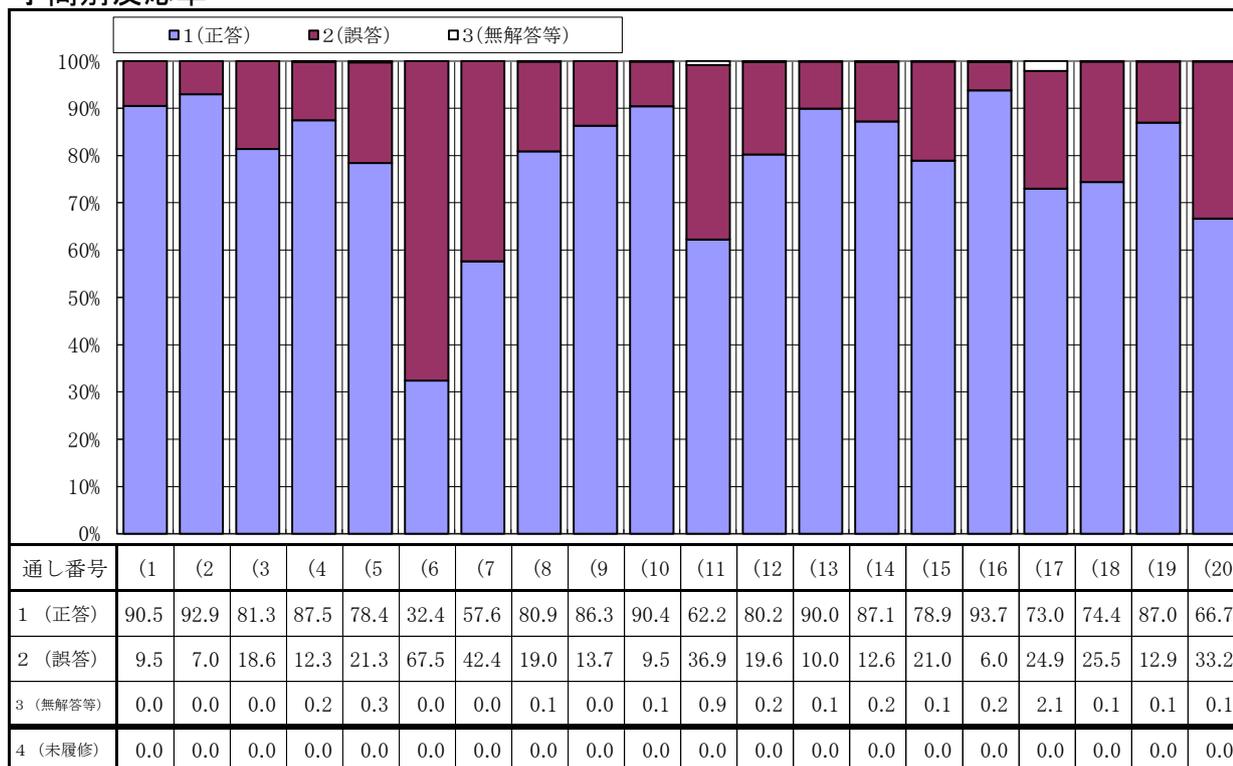
平均通過率 78.6%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	季節による植物の成長の違い	90.5%	85.0%	
(2)	季節による動物の様子	92.9%	85.0%	
(3)	星座早見の使い方	81.3%	70.0%	
(4)	水を冷やしたときの温度変化を表すグラフの作成	87.5%	80.0%	
(5)	水から氷への体積変化	78.4%	75.0%	
(6)	空気の温度による体積変化を調べる実験計画	32.4%	60.0%	
(7)	空気の温まり方についての仮説を基にした検証結果の予想	57.6%	70.0%	
(8)	空気の温まり方	80.9%	75.0%	
(9)	閉じ込めた空気の体積と押し返す力の関係	86.3%	75.0%	
(10)	空気と水の性質	90.4%	75.0%	
(11)	金属の熱の伝わり方	62.2%	60.0%	
(12)	受粉と結実に関する実験の考察	80.2%	70.0%	
(13)	方位磁針の使い方	90.0%	80.0%	
(14)	雲の量と天気	87.1%	80.0%	
(15)	雲の様子を記録を基にした考察	78.9%	75.0%	
(16)	ヨウ素液の性質	93.7%	85.0%	
(17)	種子の中のデンプンと発芽との関係	73.0%	70.0%	
(18)	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	74.4%	70.0%	
(19)	ヒメダカの雌雄の区別	87.0%	85.0%	
(20)	顕微鏡の使い方	66.7%	70.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 5年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (201校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	46	66	35	39	31	5	9	23	28	33	9	23	48	40	15	86	12	11	34	9	
90%~100%	74	84	44	62	23	3	4	27	53	93	7	30	76	60	22	77	12	12	82	11	12
80%~90%	68	42	51	69	58	1	16	73	86	59	31	68	55	70	68	26	46	54	42	31	87
70%~80%	9	7	36	24	44	2	20	53	29	14	32	48	15	15	59	7	57	63	26	51	87
60%~70%	3	2	19	6	34	3	42	18	4	2	34	21	5	13	28	3	46	37	9	45	14
50%~60%	1		10		8	15	54	6	1		42	6	1	3	7	1	20	22	4	36	
40%~50%			4		3	15	29				19	1			2		4	1	1	11	1
30%~40%			1			49	18				16	2					2		2	5	
20%~30%						65	5				8	2					1			2	
10%~20%						33	2														
0%~10%			1	1		10	2	1			3		1			1	1	1	1		

小学校 5年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	2	2	1	2	3	5
±10% の範囲内	5	2	6	4	9	13
-10% より低い	2	0	0	2	0	2
計	9	4	7	8	12	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②空気と温度との関係に関する設問(6、7の通過率が、他の設問に比べて低く、指導の改善を図る必要がある。

(2) 成果

- ①過年度の類似問題について、7問中6問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。
- ②観点が「観察・実験の技能」の設問は、通過率の平均が昨年度よりも22.5ポイント上昇した81.4であり、改善が見られる。

(3) 課題

- ①通し番号(6「空気の温度による体積変化を調べる実験」のように、予想の内容と実験の方法を結び付けて考え、表現することに課題が見られる。
- ②学習を通して身に付けた知識を、他の場面で適用することに課題が見られる。

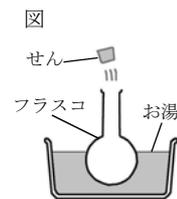
3 今後の指導

自分の予想の内容と実験の方法や結果を照らし合わせ、科学的に妥当な考えに改善できるような手立てを工夫する。

- ・問題を把握し、解決の方向性を構想するためには、予想が一致した場合に得られる結果を見通して、実験を計画することが大切である。
- ・実験の結果を、実験前の自分の予想と照らし合わせ、自分の予想が確認されたのか検討する場を設定する。
- ・通し番号(6)においては、フラスコのせんが飛び出す現象を、図や絵等を用いて説明する活動を取り入れた後、他者の考えを基に自分の考えを見直したり、再検討したりさせ、結果から適切に考察できるようにする。

[参考 通し番号(6)]

フラスコにせんをしてお湯にしばらく入れていたところ、図のようにせんが飛び出しました。このことから、太郎さんは次のように考えました。太郎さんの考えが正しいかどうかをたしかめるには、同じ実験器具を使ってどのような実験をすればよいですか。下のア〜エから1つ選んで、の中に記号を書きなさい。



[太郎さんの考え]

フラスコのせんが飛んだのは、空気が動いて上に集まってせんをおしたのではないかと考えた。

学習を通して獲得した知識を、実際の自然や日常生活に当てはめて考えることができるような手立てを工夫する。

- ・誰もが経験できる身近な現象を取り上げることで問題を見だし、理科で学習した知識や概念を活用しながら問題解決に取り組む場面を設定する。
- ・問題解決における思考の過程を、絵や図、言葉で整理し、説明する活動を設定する。
- ・例えば、単元の終末等において、身に付けた基礎的・基本的な知識や技能を活用して解決することができる、身近な事物・現象を提示し、主体的に問題解決に取り組むことができる場を設定する。

平成28年度小学校学習状況調査 第6学年 理科 評価規準と評価の観点

学 年	区 分	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 5 学 年	B	(3)ア	・流れる水には、土砂を堆積する働きがあることを理解している。	(1)			○
		(3)ウ	・川の曲がっている部分の外側と内側での侵食の違いから水流の速さの違いを推論し、表現している。	(2)	○		
		(2)ウ	・胎児は母体内で少しずつ成長して体ができていくことを理解している。	(4)			○
		(2)ウ	・母体内での胎盤の働きと子宮内での位置を理解している。	(5)			○
		(2)イ	・顕微鏡を適切に操作する技能を身に付けている。	(8)		○	
	A	(2)ア	・予想を基に、振り子の1往復する時間を調べるための実験の方法を考え、表現している。	(6)	○		
		(2)ア	・振り子の運動の規則性を他の現象に適用して考察し、表現している。	(7)	○		
		(1)イ	・物が水に溶ける量を、水の温度と関係付けて考察し、溶けたものが出てくる量を考え、表現している。	(3)	○		
		(3)ア	・電流の流れる向きと電磁石の極の向き関係を考察し、表現している。	(9)	○		
		(3)イ	・電磁石の強さは導線の巻き数、乾電池の数に関係していることを理解している。	(10)			○
第 6 学 年	A	(1)ア	・物が燃えた前後の物質の変化を推論し、表現している。	(11)	○		
		(1)ア	・バーベキューコンロのつくりを基に、物が燃え続ける仕組みを考察し、表現している。	(12)	○		
	B	(3)イ	・動物は他の生物を捕食することを理解している。	(13)			○
		(1)ア	・気体検知管の使い方を身に付けている。	(14)		○	
		(1)ア	・実験結果から、呼気の特徴について吸気と比較して考察し、表現している。	(15)	○		
		(1)エ	・肺の名称と体内における位置を理解している。	(16)			○
		(1)ウ ※	・植物の成長の条件を捉えるための観察や実験を計画し、表現している。	(19)	○		
		(2)イ	・実験結果から、植物の体内にある水の行方について考察し、表現している。	(20)	○		
	(5)ア	・月の形の見え方は、太陽と月の位置関係によって変わることを理解している。	(17)			○	
	(5)ア	・月の輝いている部分は太陽の光が反射していることを理解している。	(18)			○	

- ・領域のAは「物質・エネルギー」、Bは「生命・地球」を示している。
- ・内容の※は第5学年B区分(1)ウである。

小学校 6年 理科 小問別通過率と設定通過率

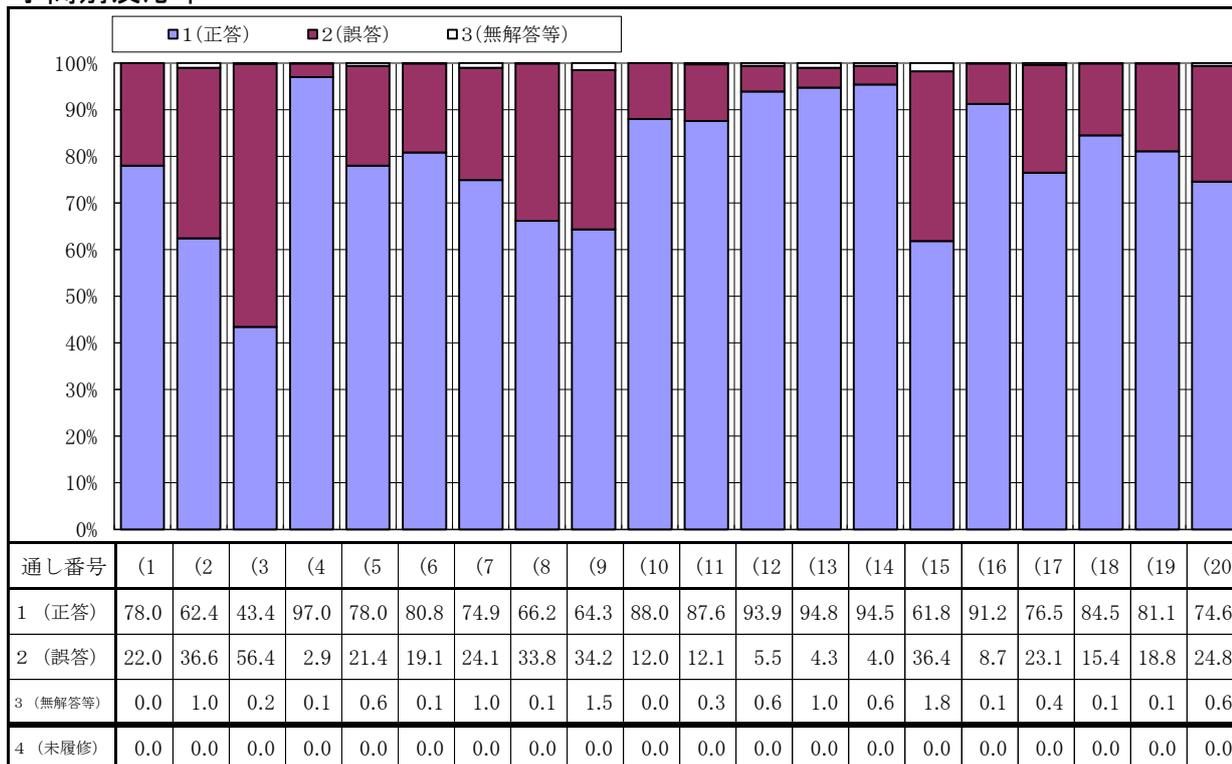
平均通過率 78.7%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	流れる水の働き	78.0%	85.0%	
(2)	川の場所による水の流れる速さの違い	62.4%	60.0%	
(3)	物の溶け方	43.4%	60.0%	
(4)	胎児の成長	97.0%	90.0%	
(5)	胎盤の働き	78.0%	80.0%	
(6)	振り子の1往復する時間の調べ方	80.8%	70.0%	
(7)	振り子の規則性を利用したおもちゃの仕組み	74.9%	65.0%	
(8)	顕微鏡の使い方	66.2%	80.0%	
(9)	電流の向きと電磁石の極の関係	64.3%	60.0%	
(10)	電磁石の強さを決める条件	88.0%	70.0%	
(11)	燃焼後の物質の割合	87.6%	80.0%	
(12)	バーベキューコンロで炭が燃え続ける理由	93.9%	80.0%	
(13)	生物の食べる・食べられるの関係	94.8%	85.0%	
(14)	気体検知管の使い方	94.5%	85.0%	
(15)	呼気の成分	61.8%	65.0%	
(16)	呼吸する器官の位置と名称	91.2%	75.0%	
(17)	月の形が日によって変わる理由	76.5%	65.0%	
(18)	新月の見える位置	84.5%	75.0%	
(19)	インゲンマメの成長に必要な条件を調べる実験計画	81.1%	75.0%	
(20)	蒸散の働き	74.6%	70.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

小学校 6年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (202校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	27	8	2	88	28	21	17	7	11	30	21	75	61	90	8	40	24	22	15	7	
90%~100%	27	12		108	41	38	21	6	8	66	72	90	116	82	10	94	41	30	33	16	8
80%~90%	56	22	9	6	61	61	53	22	26	88	87	25	23	23	19	61	54	91	75	49	95
70%~80%	45	41	6		35	44	41	49	40	16	19	8	2	5	34	6	29	46	50	63	82
60%~70%	32	46	15		14	27	40	55	49	1	2	3		2	49		16	9	25	40	15
50%~60%	8	31	32		13	9	23	41	33		1				41		13	3	3	21	1
40%~50%	2	28	53		3	1	4	15	18						24		8			5	
30%~40%	3	10	58		4		2	4	11						11		10				1
20%~30%	1	2	22		1			1	3						5		3				
10%~20%			4		1			1	1								2				
0%~10%	1	2	1		1	1	1	1	2	1		1			1	1	2	1	1	1	

小学校 6年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 区 分 別		計
	科学的な思考・表現	技 能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	
+10% より高い	2	0	3	3	2	5
±10% の範囲内	7	1	5	3	10	13
-10% より低い	1	1	0	1	1	2
計	10	2	8	7	13	20

2 考察

(1) 全体について

- ①20問中18問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。
- ②設問(2、(3、(9、(15のように、変化とその要因とを関係付けて考えたり、結果を比較して考察したりする設問の通過率の平均は58.0と低く、指導の改善を一層図る必要がある。

(2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、8問中5問で通過率が上昇しており、指導の改善が図られている。特に、昨年度の課題であった振り子の運動の規則性に関する設問の通過率は13.5ポイント上昇し74.9、月の見え方に関する設問の通過率は19.8ポイント上昇し76.5であった。
- ②ものの燃え方に関する設問の通過率の平均は90.8であり、学習内容の定着が図られている。

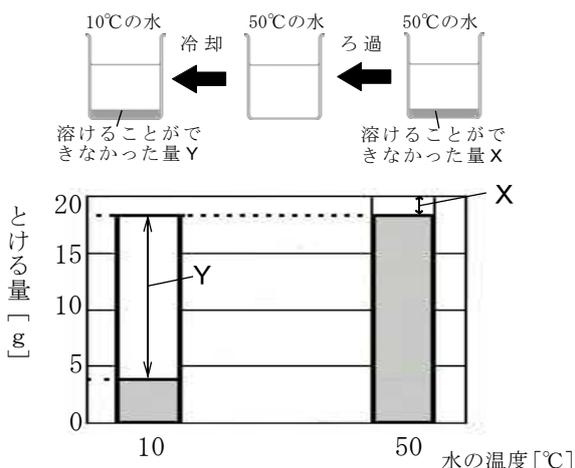
(3) 課題

- ①通し番号(3「物の溶け方」のように、温度により物がとける量が変化することを定量的に捉える設問の通過率が低いことから、グラフから必要な情報を読み取って考察させるための指導を充実させる必要がある。
- ②顕微鏡の操作に関する技能については、他の学年に比べ通過率が低い。顕微鏡は、中学校でも多用されることから、一層の定着を図る必要がある。

3 今後の指導

実験の結果をまとめたグラフを基に、規則性を考えて説明する学習活動を充実させる。

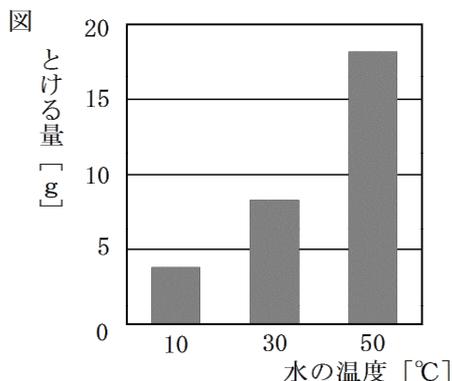
- 温度により溶ける量が変化したり、温度が下がることで溶けていた物質が析出したりすることを捉えられるようにするために、実験結果の違いを明確に示すことができるようなグラフを提示する。その際、実験結果を表した図やモデルと、グラフが示すことを関連付けて、説明できるようにする。



[参考 通し番号 (3)]

一度水にとけたミョウバンは取り出すことができるかどうかを調べるために実験しました。図は、水50mLにとけるミョウバンの量を表したものです。この実験で冷蔵庫で冷やしたあと、とけきれなくなって底にたまったミョウバンはおよそ何gだといえますか。図をもとに、考え、下のア～エから1つ選んで、の中に記号を書きなさい。

- ア およそ 20 g
- イ およそ 14 g
- ウ およそ 4 g
- エ およそ 2 g



顕微鏡の基本操作についての意味を捉えさせ、対象や目的に応じて適切に操作できるように指導の手立てを工夫する。

- 操作によってどのように見え方が変わってくるのか、目的に応じた操作方法で確認する。例えば、顕微鏡カメラを使用して対象物を映し出し、顕微鏡の操作によって見え方がどのように変わるのかを全員で確認したり、二人一組にして顕微鏡の操作を互いに見合い、相互評価したりする場を設定する。

平成28年度中学校学習状況調査 第1学年 理科 評価規準と評価の観点

学年	領域等	内容	評価規準	通し番号	観点		
					思考表現	技能	知識理解
小学校 第6学年	A 物質・エネルギー	(4)イ	・電気は運動に変えることができることを理解している。	(1)			○
		(4)ア	・コンデンサーに同じ量の電気をためるための条件に着目して実験を計画し、表現している。	(2)	○		
		(4)ア	・実験結果から、発光ダイオードと豆電球の明かりをつけるために使う電気の量について考察し、表現している。	(3)	○		
		(2)ア	・リトマス紙の使い方を身に付けている。	(4)		○	
		(2)ウ	・実験結果から、うすい塩酸の働きについて考察し、表現している。	(5)	○		
		(3)イ	・てこの規則性を基に、てこが水平につり合うときのおもりをつるす位置と数について推論し、表現している。	(8)	○		
	(3)イ	・てこの規則性を基に、くぎ抜きについて推論し、表現している。	(9)	○			
	B 生命・地球	(4)ア	・れき、砂、どろ、火山灰などの層が積み重なったものが地層であることを理解している。	(6)			○
		(4)イ	・火山の噴火によってできた地層の特徴を理解している。	(7)			○
	中学校 第1学年	化学的 領域	(2)ア (ア)	・物質の密度を求める方法を理解している。	(10)		
(2)ア (ア)			・金属の性質に基づいて、金属と非金属を区別している。	(11)	○		
(2)ア (イ)			・気体の捕集法について、基本操作を身に付けている。	(12)		○	
(2)ア (イ)			・実験方法や実験結果から、課題と正対した考察を行い、見いだした気体の性質について表現している。	(13)	○		
(2)イ (ア)			・質量パーセント濃度と水溶液の質量から、必要な溶媒の質量を求める方法を理解している。	(14)			○
(2)イ (ア)			・2層に分かれた水溶液の、濃度と密度の関係を推論し、表現している。	(15)	○		
生物的 領域		(1)ア (ア)	・顕微鏡を適切に操作して、生物を観察する技能を身に付けている。	(16)		○	
		(1)ウ (イ)	・シダ植物とコケ植物が孢子をつくってふえることを理解している。	(17)			○
		(1)ウ (ア)	・植物を体のつくりの特徴に基づいて分類している。	(18)	○		
		(1)イ (イ)	・葉で行われる光合成の働きを調べる実験の基本操作を身に付けている。	(19)		○	
(1)イ (イ)	・実験結果から、光合成に必要な条件と、光合成が行われる部分について考察し、表現している。	(20)	○				

中学校 1年 理科 小問別通過率と設定通過率

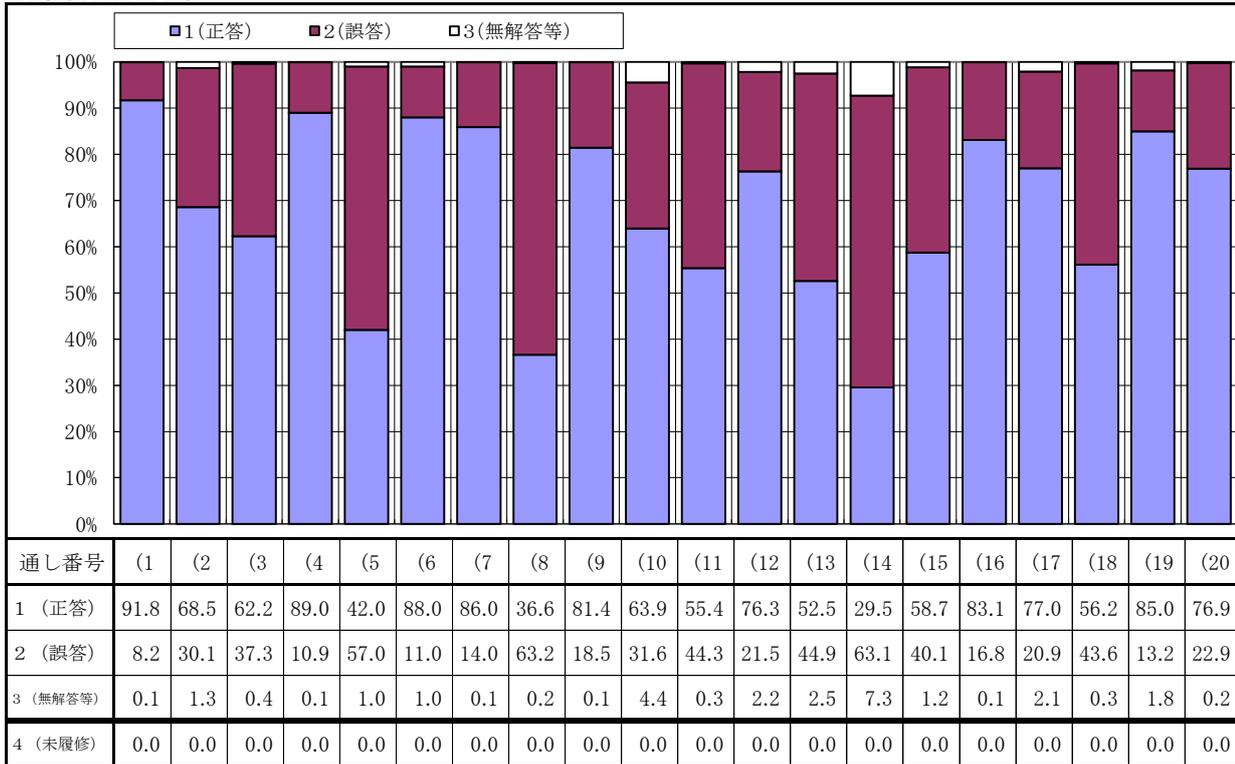
平均通過率 68.0%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	電気の利用	91.8%	90.0%	
(2)	同じ量の電気をためるための条件	68.5%	70.0%	
(3)	発光ダイオードの利点	62.2%	65.0%	
(4)	リトマス紙の使い方	89.0%	90.0%	
(5)	うすい塩酸の性質	42.0%	60.0%	
(6)	地層	88.0%	90.0%	
(7)	地層の成因	86.0%	85.0%	
(8)	てこが水平につり合うときのきまり	36.6%	60.0%	
(9)	てこの働き	81.4%	65.0%	
(10)	密度の求め方	63.9%	60.0%	
(11)	金属の性質	55.4%	60.0%	
(12)	気体の捕集方法	76.3%	70.0%	
(13)	気体の性質	52.5%	65.0%	
(14)	濃度の求め方	29.5%	60.0%	
(15)	水溶液の濃度と密度の関係	58.7%	60.0%	
(16)	顕微鏡の使い方	83.1%	80.0%	
(17)	シダ植物とコケ植物のふえ方	77.0%	70.0%	
(18)	植物の分類	56.2%	65.0%	
(19)	エタノールを湯煎で温める理由	85.0%	80.0%	
(20)	光合成に必要な条件	76.9%	70.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (116校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	12	1	3	12	1	18	15		3	1		4	2			2	3	2	12	2	
90%~100%	68	10	6	57	2	46	38		13	3	1	15	1		1	24	20		40	8	1
80%~90%	30	32	13	37	9	37	42		53	14	3	41	4	1	7	48	29	4	40	35	5
70%~80%	6	17	16	5	4	11	18	2	44	16	10	23	11		12	34	34	12	15	48	45
60%~70%		22	27	4	10	4	3		2	39	19	14	20	1	27	6	24	26	3	18	59
50%~60%		22	38	1	12			6	1	28	46	9	34	4	45	1	5	34	5	4	6
40%~50%		6	10		12			33		10	27	2	17	11	20	1	1	23	1		
30%~40%		4	3		39			48		5	8	8	17	26	3			12		1	
20%~30%		2			22			21			2		8	46	1			3			
10%~20%					4			6					2	22							
0%~10%					1									5							

中学校 1 年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			内 容 区 分 別 ・ 領 域 別				計
	科学的思想・表現	技能	知識・理解	物質・エネルギー	生命・地球	化学	生物	
+10% より高い	1	0	0	1	0	0	0	1
±10% の範囲内	6	4	5	4	2	4	5	15
-10% より低い	3	0	1	2	0	2	0	4
計	10	4	6	7	2	6	5	20

2 考察

(1) 全体について

20問中16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況はおおむね良好である。

(2) 成果

①昨年度までの課題の改善状況を捉えるために出題した(3、(5、(10、(12の4問については、全てで通過率が上昇した。

②観点が「観察・実験の技能」の設問は、通過率の平均が83.4であり、観察・実験で用いる器具の操作方法や、観察・実験における留意点等の理解について、定着が図られている。

(3) 課題

①通し番号(13「気体の性質」のように、課題と考察に共通する内容を考える設問の通過率が低いことから、科学的に探究する過程を踏まえた上で、思考したり表現したりする活動を授業に取り入れるなど、指導の手立てを工夫する必要がある。

②通し番号(18「植物の分類」のように、既習の概念を活用して考える設問の通過率が低いことから、既習の概念のつながりが見えるようにまとめ方を工夫したり、既習の概念を活用して新たな課題解決を目指す活動を授業に取り入れたりするなど、指導の手立てを工夫する必要がある。

3 今後の指導

科学的な探究の過程の中に、互いの考えを検討し改善する場を意図的に設定する。

- ・身の回りの事物・現象を用いて、生徒から疑問を引き出し、生徒の言葉を生かして学習課題を設定する。
- ・学習課題に対する仮説を立てさせ、共有する場を設定する。
- ・仮説を検証するための観察・実験計画を生徒自身に立案させたり、生徒と共に立案したりする。また、立案した計画については、実証性の視点から検討し改善する場を設定する。
- ・観察・実験の結果を一覧にして提示し、課題及び仮説を踏まえて考察させる。さらに、考察については、再現性と客観性の視点から検討し改善する場を設定する。

【参考 通し番号(13)】

【課題】二酸化炭素と酸素では、どちらが のだろうか。

図2



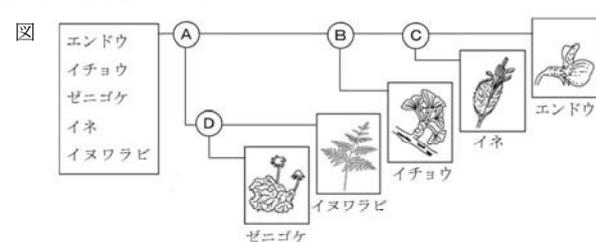
【考察】酸素より二酸化炭素のほうが ことがわかった。

(2) 洋さんが考えた【課題】のXと、【考察】のXには同じ内容が当てはまります。【実験】と【結果】をもとに、Xに当てはまる内容を書きなさい。

既習の概念が活用・発揮される場を意図的に設定する。

- ・植物の分類について学習する際には、植物のグループの名称と、既習の概念である植物のからだのつくりを関連付けてまとめさせたり、分類の観点を示してチャート図のようにまとめさせたりするなど、既習の概念とのつながりが意識できるような表現の仕方を工夫させるようにする。
- ・身近に見られる植物がどのグループに分類されるのかを調べる活動を取り入れるなど、既習の概念を活用して考える場を設定する。

【参考 通し番号(18)】



(2) 図のB、C、Dは、それぞれどのような観点ですか。次から1つずつ選んで、記号を書きなさい。

ア 子葉が1枚か、2枚か

イ 根・茎・葉の区別があるか、ないか

ウ 胚珠が子房に包まれているか、いないか

平成28年度中学校学習状況調査 第2学年 理科 評価規準と評価の観点

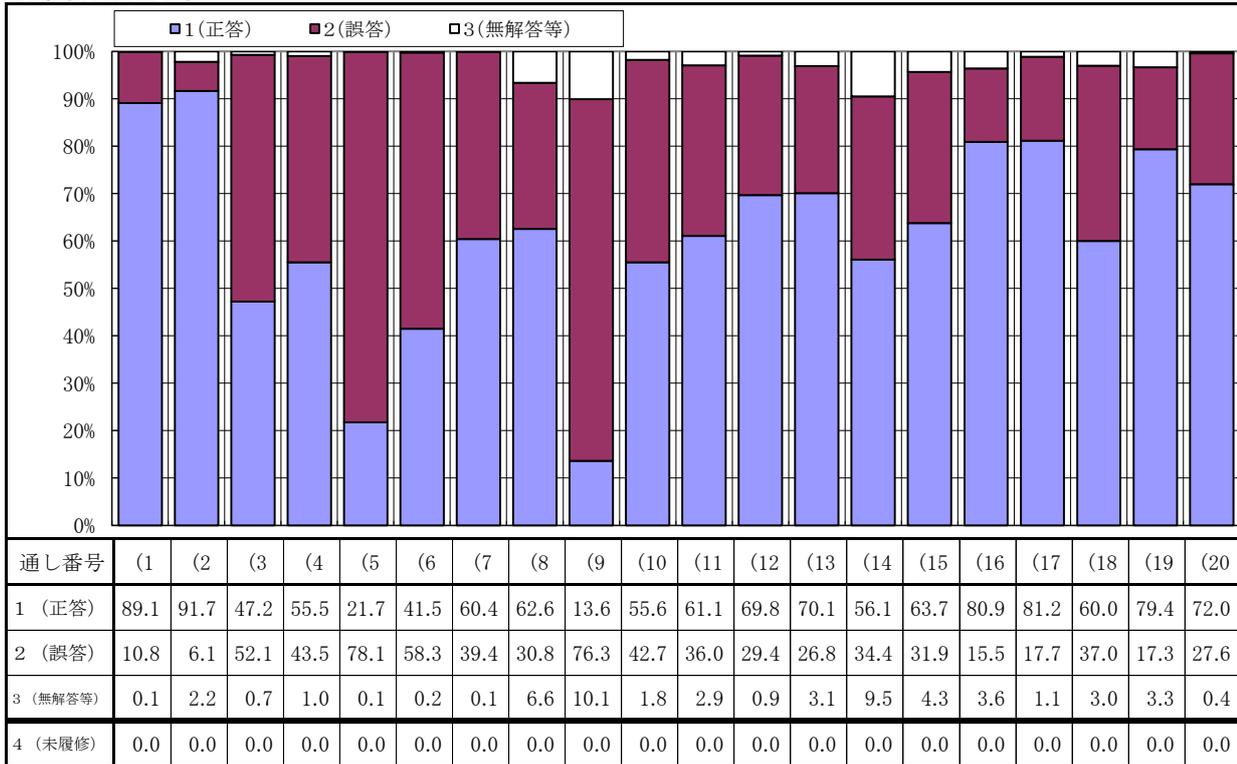
学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					思 考 表 現	技 能	知 識 理 解
第 1 学 年	地 学 的 領 域	(2)ア (ア)	・火山灰を観察する際の基本操作を身に付けている。	(1)		○	
		(2)ア (ア)	・火山灰に含まれる鉱物の割合の違いから、マグマの粘性と無色鉱物の割合を関連付けて考察し、表現している。	(2)	○		
		(2)ア (イ)	・地震の揺れの伝わる速さを記録から推定し、求めることができる。	(3)			○
		(2)ア (イ)	・地震の揺れの記録から、地震が発生した時刻を読み取る技能を身に付けている。	(4)		○	
		(2)イ (ア)	・示準化石の定義を理解し、知識を身に付けている。	(5)			○
	物 理 的 領 域	(1)ア (イ)	・凸レンズによる実像の位置や大きさの変化について考察し、表現している。	(6)	○		
		(1)ア (イ)	・物体を凸レンズと焦点の間に置き、凸レンズを通して物体を見ると拡大した虚像が見えることを理解している。	(7)			○
		(2)ア (ア)	・物質の密度を求める方法を理解している。	(8)			○
		(1)イ (オ)	・浮力の大きさを決める要素について考察し、表現している。	(9)	○		
		(1)ア (ウ)	・音の大小と振幅、音の高低と振動数を関係付けて考え、表現している。	(10)	○		
第 2 学 年	化 学 的 領 域	(4)イ (ウ)	・化学変化と熱に関する実験の基本操作を身に付けている。	(11)		○	
		(4)イ (ウ)	・化学変化に伴う熱の出入りについて、結果を基に考え、仮説を見直している。	(12)	○		
		(4)イ (ア)	・実験結果の整理の仕方を身に付け、グラフに表している。	(13)		○	
		(4)イ (ア)	・銅と酸素が一定の割合で結び付くことを利用して、酸化銅の質量から銅の質量を求めることができる。	(14)	○		
		(4)イ (ア)	・銅が酸化する化学反応式について、知識を身に付けている。	(15)			○
	生 物 的 領 域	(3)イ (イ)	・反射の反応について理解し、知識を身に付けている。	(16)			○
		(3)イ (イ)	・ヒトが外界の刺激を受けとってから反応するまでの、信号が伝わる経路について考察し、表現している。	(17)	○		
		(3)イ (ア)	・ヒトが効率的に栄養分や酸素を吸収する仕組みについて理解し、知識を身に付けている。	(18)			○
		(3)エ (ア)	・相同器官について理解し、知識を身に付けている。	(19)			○
		(3)エ (ア)	・動物の進化について、生活環境の変化と関連付けて考え、表現している。	(20)	○		

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	火山灰の観察	89.1%	90.0%	
(2)	火山の形状と無色鉱物の割合	91.7%	85.0%	
(3)	S波の伝わる速さの求め方	47.2%	60.0%	
(4)	地震発生時刻の読み取り	55.5%	70.0%	
(5)	示準化石になる条件	21.7%	65.0%	
(6)	凸レンズによる実像の位置と大きさ	41.5%	60.0%	
(7)	凸レンズによる虚像の見え方	60.4%	65.0%	
(8)	密度の求め方	62.6%	60.0%	
(9)	浮力の変化	13.6%	60.0%	
(10)	音の波形の分析	55.6%	65.0%	
(11)	アンモニアの性質	61.1%	75.0%	
(12)	化学変化における熱の出入り	69.8%	70.0%	
(13)	銅の質量と化合した酸素の質量との関係を表すグラフの作成	70.1%	65.0%	
(14)	銅の質量の算出	56.1%	60.0%	
(15)	銅の酸化の化学反応式	63.7%	65.0%	
(16)	反射の反応	80.9%	85.0%	
(17)	反応の経路	81.2%	75.0%	
(18)	肺胞と柔毛の共通点	60.0%	60.0%	
(19)	相同器官	79.4%	85.0%	
(20)	生活環境と進化の関係	72.0%	80.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 理科

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (115校)

は県平均通過率

	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	19	12		1							2		3		1	5	5	1	7	1	
90%~100%	58	71					1	1		1	8	2	4		8	22	23	1	29	4	
80%~90%	28	28		3			9	6		3	15	12	27	3	15	42	51	5	34	17	
70%~80%	4	2	2	12		2	20	23		12	18	43	33	9	25	25	24	22	11	42	13
60%~70%	4	2	8	28	1	9	31	40		26	21	43	24	32	26	13	9	35	11	36	60
50%~60%			32	32	4	15	32	32		34	12	15	14	44	19	6	2	24	6	12	37
40%~50%	2		50	27	3	37	17	12	2	25	19		5	19	13	1	1	20	12	3	5
30%~40%			16	7	16	27	5	1	5	8	7		4	6	3	1		4	2		
20%~30%			5	4	34	20			18	6	7		1	2	4			3	3		
10%~20%			1	1	45	4			39		5										
0%~10%			1		12	1			51		1				1						

中学校 2年 理科 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別				計
	科学的思考・表現	技 能	知識・理解	物理	化学	生物	地学	
+10% より高い	0	0	0	0	0	0	0	0
±10% の範囲内	6	2	6	3	4	5	2	14
-10% より低い	2	2	2	2	1	0	3	6
計	8	4	8	5	5	5	5	20

2 考察

(1) 全体について

20問中6問が設定通過率の「-10%より低い」状況である。全体の通過率は61.7であり、学習内容の定着状況にやや課題が見られる。

(2) 成果

- ①過年度出題の類似問題については、6問全てで通過率が上昇した。それらの設問の通過率の平均は、17.4ポイント上昇した76.0であり、指導の改善が図られている。
- ②生物分野の設問の通過率の平均は74.7であり、他の分野に比べて定着が図られている。

(3) 課題

- ①実験の結果を数値で示した表について分析し解釈して、規則性を見いだすことに課題が見られる。
- ②観点が「科学的な思考・表現」の設問のうち、凸レンズによる実像の見え方と、浮力の変化に関する設問の通過率は、他の設問に比べて低い。生徒が目的意識をもって主体的に観察・実験に取り組み、科学的な概念を用いて考えたり説明したりすることを通して、定着を図る必要がある。

3 今後の指導

観察・実験によって得られた数値について、表を基に対比して規則性を説明したり、互いの思考の過程を交流したりする場面における指導の手立てを工夫する。

- 表に示された2つの要素について、数値を比べて読み取らせ、グラフに示した場合にはどうなるかということと併せて規則性を捉えさせるようにする。
- 通し番号(14)においては、下のように比例関係を利用して何倍になっているかを考えさせるなどし、どの数値を用いても等しい結果が得られることを実感を通して理解させる。また、生徒が酸化銅の質量について任意の数値を設定し、見いだした規則性を基に銅の質量がどうなるかを考えさせるなど、他の場面に適用して思考させる場の設定が効果的である。

例)

銅の質量 [g]	0.40	0.80	1.20	?
酸化銅の質量 [g]	0.50	1.00	1.50	・・・3.00

「①が3倍になるから、①も3倍になるはずだね。②と②でも同じ考え方ができるのかな。」

【参考 通し番号 (14)】

図のように銅の粉末0.40gをステンレス皿にうすく広げ、加熱後の質量が変化しなくなるまで十分に加熱して酸化銅をつくった。次に、銅の粉末の質量を0.80g、1.20gと変え、同様に行い、銅の質量と加熱後にできた酸化銅の質量を表にまとめた。表から、酸化銅を3.00gつくるために必要な銅の質量は何gですか、求めなさい。また、求める過程も書きなさい。



表

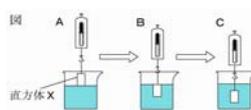
銅の質量 [g]	0	0.40	0.80	1.20
酸化銅の質量 [g]	0	0.50	1.00	1.50

身近な体験の想起や事象提示等から生徒自身に問題を見いださせ、学習課題に対する予想や解決の見通しをもたせるための手立てを工夫する。

- 浮力の概念について、身近な体験等から問題を見いだせるように発問を工夫し、一人一人が予想をもとに実験方法を考えたり、解決の見通しをもって実験に取り組んだりできるようにする。
- 通し番号(9)において、物体をニュートンはかりにつるして水に沈めていくときの値の変化を調べた結果等と、生徒が体感した重さの変化等に関連付けて考えさせ、物体が受ける浮力は水中にある物体の体積によって決まることを見いださせるようにする。

【参考 通し番号 (9)】

図のように、直方体Xをニュートンはかりにつるし、A、B、Cの順に、少しずつ水の中に沈めていきました。このとき、ニュートンはかりが示す値 [N] の変化について説明した下の文が正しくなるように、ア、イに当てはまる語句をそれぞれ書きなさい。ただし、直方体Xはビーカーの底には着かず、直方体Xをつり下げている糸の質量や体積は考えないものとします。



ニュートンはかりが示す値 [N] は、AからBまでの間は (ア)、BからCまでの間は (イ)。

4 結果と考察 (5) 英語

平成28年度中学校学習状況調査 第1学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点		
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解
中 学 校 第 1 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な聞き取り] ・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (オ)	[適切な聞き取り] ・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア (イ)	[正確な聞き取り] ・会話を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な聞き取り] ・質問や提案を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な読み取り] ・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8 (9 (10		○	
		ウ (エ)	[適切な読み取り] ・書かれた内容について大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ (ウ)	[正確な読み取り] ・話の流れを理解し、文章を的確に読み取ることができる。	(12 (13		○	
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記] ・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、正しく書くことができる。	(14 (15	○		
		エ (エ)	[適切な筆記] ・自分のことについて、相手に伝わるように書くことができる。	(16	○		
		エ (ウ)	[適切な筆記] ・読んだ内容についての質問を、相手に伝わるように書くことができる。	(17	○		
エ (イ)		[言語についての知識・理解] ・正しい語順を用いて文を構成する知識を身に付けている。	(18 (19 (20			○	

中学校 1年 英語 小問別通過率と設定通過率

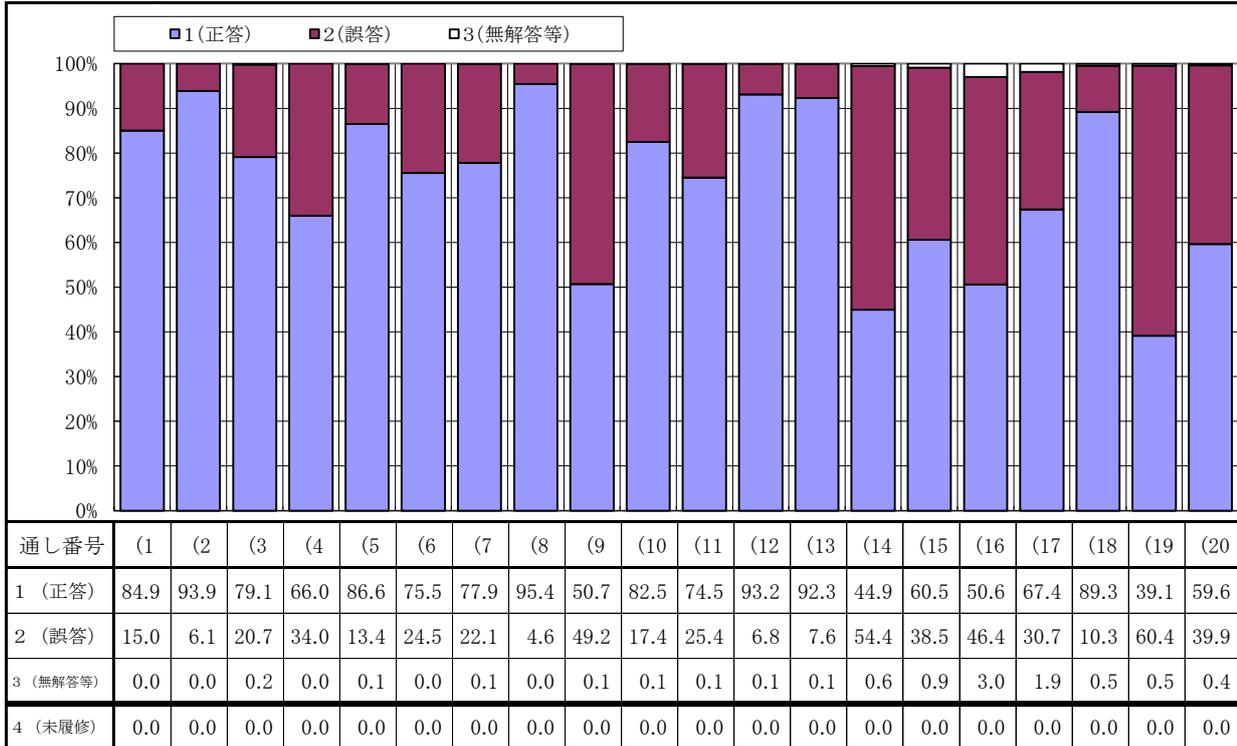
平均通過率 73.2%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 日付の聞き取り	84.9%	85.0%	
(2)	(聞) スポーツ名の聞き取り	93.9%	80.0%	
(3)	(聞) イチローを好きな人の聞き取り	79.1%	80.0%	
(4)	(聞) ペットを飼っているかどうかの聞き取り	66.0%	80.0%	
(5)	(聞) 演奏する楽器についての聞き取り	86.6%	80.0%	
(6)	(聞) 持ち物に関する質問への適切な応答	75.5%	75.0%	
(7)	(聞) テニスに誘われた時の適切な応答	77.9%	75.0%	
(8)	(読) 行ってみたい秋田の祭りについての読み取り	95.4%	85.0%	
(9)	(読) 時間割についての読み取り	50.7%	65.0%	
(10)	(読) 絵はがきの内容についての読み取り	82.5%	75.0%	
(11)	(読) メールの内容についての読み取り	74.5%	70.0%	
(12)	(読) 適切な会話の構成	93.2%	85.0%	
(13)	(読) 適切な会話の構成	92.3%	85.0%	
(14)	(書) 三単現を用いた英文の作成	44.9%	60.0%	
(15)	(書) be動詞を用いた疑問文の作成	60.5%	60.0%	
(16)	(書) ふだん日曜日にすることについての英文の作成	50.6%	60.0%	
(17)	(書) メールの内容に関する質問文の作成	67.4%	75.0%	
(18)	(書) How many を含む疑問文の構造	89.3%	75.0%	
(19)	(書) doesn't を含む文の構造	39.1%	60.0%	
(20)	(書) be動詞の疑問文の構造	59.6%	70.0%	

※ は設定通過率±10%を示している。

中学校 1年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (116校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	3	13	1	3	6	2	2	24	2	6		17	19				2	11			
90%~100%	26	88	6	5	34	7	7	82		18	3	73	62		3	3	5	51	1	2	1
80%~90%	61	13	43	16	57	31	39	10		48	21	24	29	2	9	4	20	42	1	9	12
70%~80%	14	2	43	28	16	36	44		4	33	62	2	6	5	15	13	29	8	5	15	71
60%~70%	10		17	28	2	30	17		10	8	19			10	37	12	27	1	1	28	27
50%~60%	2		4	15		7	4		43	3	8			19	23	23	21	3	16	29	5
40%~50%				12	1	2	2		36		1			35	17	33	7		21	18	
30%~40%			1	6		1			11		1			26	7	18	3		34	10	
20%~30%				2					9					17	4	7	2		25	5	
10%~20%									1						1	1			9		
0%~10%			1	1			1				1			2		2			3		

中学校 1 年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

分類 設定通過率の	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	2	1	1	1	1	3
±10% の範囲内	3	9	0	5	4	3	12
-10% より低い	1	2	2	1	1	3	5
計	4	13	3	7	6	7	20

2 考察

(1) 全体について

- ① 設定通過率を見ると、15問が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は、おおむね良好である。
- ② 「理解の能力」においては、13問中11問が「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、「聞くこと」と「読むこと」に関して指導の成果が見られる。
- ③ 「表現の能力」においては「正確な筆記」、「知識・理解」においては「正しい語順で文を構成すること」に課題が見られる。

(2) 成果

- ① 経年比較している10問中6問において通過率が上昇している。
- ② 「聞くこと」に関してはおおむね良好であり、話された内容を正確に聞き取ったり、適切に応じたりすることについて指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ① 「読むこと」の中で、書かれた内容の要点を正しく読み取ることによって課題が見られる。
- ② 「書くこと」の中で、会話や英文等の内容から読み取ったことを、文法事項（三人称単数現在形）を活用しながら正しく書くことに課題が見られる。また、正しい語順（三人称単数現在形の否定文やbe動詞の疑問文）で文を構成する知識が不十分である。

3 今後の指導

「読むこと」に関して、まとまりのある英文を読む活動や図表と関連付けながら英文を読む活動を推進する。

- ・ 一語一語の意味や一文一文の解釈など、内容の特定の部分にのみとられることなく、書き手の伝えようとしていることを適切に読み取る指導を行う。
- ・ 設問(9のような、図表の情報を関連付けながら英文を読む活動を設定し、文の流れや文と文のつながりを意識して読ませながら、内容の要点を正しく捉える指導を行う。

「書くこと」に関して、習得した言語材料を活用できる活動を推進する。

- ・ 習得した言語材料を言語活動の中で活用させながら定着を図る。
- ・ 三人称単数現在形の文は、一般動詞の変化にいくつかの種類があるため、定着に時間を要する傾向にある (likes, goes, studies 等)。一人称、二人称の文やbe動詞の文との違いに気付かせながら指導する。
- ・ 言語活動を通して活用する場面を意図的・継続的に設定し、正しく書くことや正しい語順で文を構成することの確実な定着を図る。
- ・ 具体的な場面や状況に応じた適切な表現を自ら考えたり、選択したりできるよう配慮して言語活動を行う。

※ 「書くこと」における実際の指導例：(14)、(19)

一般動詞の三人称単数現在形の定着が図られるよう、話したり書いたりして活用する言語活動を取り入れた指導例

新しいALTの情報を教師から聞き取る

- ・ 名前は、アン・グリーン
- ・ イングランド出身
- ・ テニスが好きで、毎週日曜日に兄とテニスをする
- ・ 日本の食べ物が好きだが、料理はしない

得た情報を基に、空欄に適切な語を書く

Our new ALT is Ms. Ann Green.
She () () England. She () tennis and she () it with her brother on Sunday. She () Japanese food, but she () () it.

ALTへの質問を準備する(例)

- ・ I like tennis, too. I'm a Nishikori Kei fan. Do you know him?
- ・ I like *sushi*. What Japanese food do you like?

ALTによる自己紹介や質疑応答を通して分かったことを紹介文にまとめる(例)

Our new ALT is Ms. Ann Green.
She is from England. She likes tennis and she plays it with her brother on Sunday. She knows Nishikori Kei. He is famous in England, too. Ms. Green likes Japanese food, but she doesn't cook it. She likes tempura very much.

平成28年度中学校学習状況調査 第2学年 英語 評価規準と評価の観点

学 年	領 域	内 容	評 価 規 準	通 し 番 号	観 点			
					表 現	理 解	知 識 ・ 理 解	
中 学 校 第 2 学 年	聞 く こ と	ア (イ)	[正確な聞き取り]	・短い英文を聞いて正しく内容を聞き取ることができる。	(1		○	
		ア (イ)	[正確な聞き取り]	・対話を聞いて情報を正しく聞き取ることができる。	(2 (3		○	
		ア (オ)	[適切な聞き取り]	・まとまりのある英語を聞いて、概要や要点を聞き取ることができる。	(4 (5		○	
		ア (ウ)	[適切な聞き取り]	・指示や質問を聞いて適切に応じることができる。	(6 (7		○	
	読 む こ と	ウ (ウ)	[正確な読み取り]	・書かれた内容について正しく読み取ることができる。	(8 (9 (10		○	
		ウ (エ)	[適切な読み取り]	・書かれた内容について大切な部分を読み取り、適切に応じることができる。	(11		○	
		ウ (ウ)	[正確な読み取り]	・話の流れを理解し、文章を的確に読み取ることができる。	(12 (13		○	
	書 く こ と	エ (イ)	[正確な筆記]	・語句や表現、文法事項などの知識を活用して、正しく書くことができる。	(14 (15	○		
		エ (オ)	[適切な筆記]	・自分の考えや事実などが読み手に正しく伝わるように書くことができる。	(16 (17	○		
エ (イ)		[言語についての知識・理解]	・正しい語順を用いて文を構成する知識を身に付けている。	(18 (19 (20			○	

中学校2年 英語 小問別通過率と設定通過率

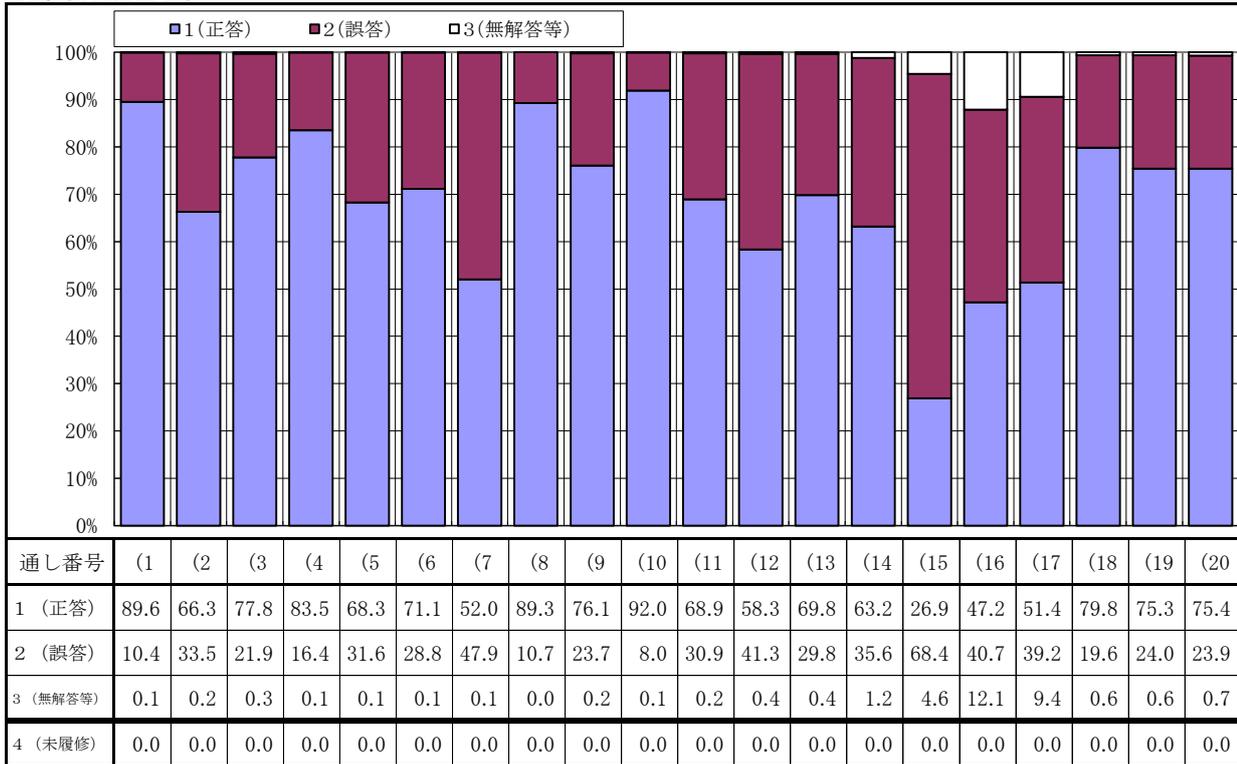
平均通過率 69.1%

通し番号	出題内容	通過率 (%)	設定通過率 (%)	0% 100%
(1)	(聞) 日付の聞き取り	89.6%	90.0%	
(2)	(聞) 図書館に何時間いたのかの聞き取り	66.3%	80.0%	
(3)	(聞) 図書館に行った目的についての聞き取り	77.8%	80.0%	
(4)	(聞) 時系列に沿った内容の聞き取り	83.5%	80.0%	
(5)	(聞) 話している話題についての聞き取り	68.3%	70.0%	
(6)	(聞) 指示に対する適切な応答	71.1%	70.0%	
(7)	(聞) Can I ~? に対する適切な応答	52.0%	65.0%	
(8)	(読) 家での決まりごとについての読み取り	89.3%	85.0%	
(9)	(読) HPによる宣伝の読み取り	76.1%	70.0%	
(10)	(読) パンフレットの内容についての読み取り	92.0%	80.0%	
(11)	(読) メール文とその返信の読み取り	68.9%	60.0%	
(12)	(読) 適切な文章の構成	58.3%	60.0%	
(13)	(読) 適切な文章の構成	69.8%	60.0%	
(14)	(書) 三単現を用いた英文の作成	63.2%	70.0%	
(15)	(書) Why don't you ~? を用いた疑問文の作成	26.9%	60.0%	
(16)	(書) メール文に対する適切な返事	47.2%	60.0%	
(17)	(書) 来年したいことについての英文の作成	51.5%	60.0%	
(18)	(書) be going to を含む疑問文の構造	79.8%	75.0%	
(19)	(書) 不定詞の形容詞的用法を含む文の構造	75.4%	70.0%	
(20)	(書) 助動詞willを含む文の構造	75.4%	70.0%	

※|——| は設定通過率±10%を示している。

中学校 2年 英語

小問別反応率



小問別通過率度数分布表 (115校)

は県平均通過率

通し番号	(1)	(2)	(3)	(4)	(5)	(6)	(7)	(8)	(9)	(10)	(11)	(12)	(13)	(14)	(15)	(16)	(17)	(18)	(19)	(20)	平均通過率
100%	6		2	4	1	2	1	11	3	8	1		3				1	4	3	4	
90%~100%	47	1	5	22	4	3		49	4	73	2	1	1	1				21	17	15	
80%~90%	51	8	45	59	15	16	1	48	39	31	10	1	18	13	1	2	4	41	29	36	8
70%~80%	7	24	41	22	34	40	7	5	43	3	45	12	39	22	2	8	18	30	32	24	49
60%~70%	2	60	20	4	34	43	21	2	19		37	35	39	37	1	12	21	15	21	20	46
50%~60%	2	18	2	3	19	9	35		7		16	50	13	30	10	31	28	3	10	11	12
40%~50%		2			7	1	34				3	8	1	9	11	32	19		1	4	
30%~40%		2				1	10				1	6	1	2	19	17	9	1	2		
20%~30%				1	1		6								21	11	10			1	
10%~20%															31	2	4				
0%~10%															19		1				

中学校2年 英語 調査結果の考察

1 設定通過率との比較

※表中の数値は設問数

設定通過率の分類	観 点 別			領 域 別			計
	表現の能力	理解の能力	知識・理解	聞くこと	読むこと	書くこと	
+10% より高い	0	1	0	0	1	0	1
±10% の範囲内	2	10	3	5	5	5	15
-10% より低い	2	2	0	2	0	2	4
計	4	13	3	7	6	7	20

2 考察

(1) 全体について

- ①設問の80%にあたる16問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」であり、学習内容の定着状況は、おおむね良好である。
- ②「読むこと」の学習状況はおおむね良好であり、全ての設問が設定通過率の「+10%より高い」又は「±10%の範囲内」にある。
- ③「書くこと」及び「聞くこと」に関して、設定通過率の「-10%より低い」問題が4問あり、課題が見られる。

(2) 成果

- ①経年比較している9問中7問において通過率が上昇している。また、「読むこと」に関しては、ほぼ全ての問題で設定通過率を上回る結果となった。
- ②比較的短い英文を読んで、概要や要点を読み取ることについて、指導の成果が見られる。

(3) 課題

- ①「聞くこと」の中で、聞いた内容について、必要な情報を正確に聞き取ったり、相手からの質問の意図を正しく理解し、適切に応じたりすることに課題が見られる。
- ②「書くこと」の中で、文脈に合う適切な英文を書いたり、自分の考えを読み手に伝わるように書いたりすることに課題が見られる。

3 今後の指導

聞いた内容について必要な情報を理解したり、話し手の意向を理解し、質問や指示、依頼や提案などに適切に応じたりする言語活動を推進する。

- ・自然な口調で話される英語を聞いて、必要な情報を聞き取るとともに、聞き取った情報を整理して活用する能力を育成する。
- ・型どおりのやり取りだけでなく、場面や状況に応じて、その場で適切な応答を考えて表現する活動を充実させる。

聞いたり読んだりしたことについて、自分の考えや事実などが読み手に正しく伝わるように英文を書く学習活動を推進する。

- ・聞いたり読んだりしたことについて、その内容を的確に理解した上で、自分の考えをまとまりのある英文で書く技能統合型の活動を行う。また、その際に、家庭や学校などの日常生活の中で起こったことや、旅行や行事の体験など、生徒にとって身近なものを題材として選び、自分の考えや気持ちを書いて表現しやすくなるように工夫する。
- ・文と文の順序や相互の関連に注意を払い、全体として一貫性のある英文を書くために、接続詞や副詞、代名詞などが、教科書でどのように扱われているか確認し、活用させながら定着を図る。

※「書くこと」における実際の指導例：(16)

対話文全体の流れを的確に理解した上で、自分の考えをまとまりのある英文で書く技能統合型の問題の作成例

<p>A: Some students from America will visit our school next week. Let's sing a song to welcome them. B: That's nice! What song shall we sing for them? A: How about "We Are The World?" We practiced that in our English class. B: I think a Japanese song is better. A: Why do you think so? B: A: I see. I agree with your idea.</p>	<p>【ポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・解答する内容は登場人物の立場から自身自身で考えさせるなど、実際のコミュニケーションを想定した場面を設定する。 <p>※解答例</p> <p>Because listening to a Japanese song will be a good experience. We can also teach it to the students.</p>
--	---